

オホシマツバメガ

Pseudomicronis oppositata Snell.
(Coelata Moor.)

體翅白色、少しく灰色を帯ぶ。翅の紋條は暗灰色。前翅に約十條ありて、その内、中央にあるものは大部前縁にて分支す。後翅にあるものは分支せず。兩翅の外縁は黒色、後翅の尾角突起前の一紋及び其下方の一紋は黒色。開張一寸八分。これは本州、九州及び臺灣に産するも少なし。

色を帯ぶ。後翅の外縁は黒色、小黑紋を列ね、第四脈の處にて尾狀突起を出し、その紋條は黒色。兩翅の斜條及び波狀線は灰色。頭は黒色。開張一寸五分。これは臺灣に少なからず。
分布—臺灣、支那、印度。

一九 双尾蛾科

Epiplemidae

前翅は二個の二縁脈を具へ、外方にあるものは短かく、恰も内方の基部にて分支したるが如し、第五脈は横脈中央の上より出で、第七脈は第八脈と廣く相隔離す。後翅には普通二個の尾狀突起ありて、これは第四及び第七脈の延長したるものなり、第五脈は横脈の中央若くは以上より出づ。本州に産するも二十數種あれども、何れも小形なり。幼蟲は八足の脚を具へ、短毛を密生す。農作物に有害なるものなし。

アリサンフタタ

Epiplemis arizana Mats.

體翅灰黄、褐紋條及び小短線は暗色。前翅底に細き四横線ありて、稍々相平行し、中横線は中室にて外曲す、尙、其外二三の細線あるも判然せず、後横線は一双にして、前縁にて合し、稍々楕圓紋と成り、細き波狀をなして後角に近く開口す、後縁三分の一の處に楕圓紋ありて判然す、第三、四、五、六室に渡りて外縁に

中央にては灰黄の雲狀紋となす。翅の紋條は暗色、角を二分す。後翅の紋條は前翅の延長なるも、前半にて判然せず、但し後横線の一線のみ前縁に達す。開張七分。これは札幌地方に稀ならず。
分布—北海道、本州、ウスリ、アムール、西比利亞。

シマツバメガ

Strophidia fasciata
Cram.

體翅は白色。前翅の外縁は細く暗色、縁毛は少しく黄

黒紋を具へ、合して弦月形紋となす。後翅の底縁は前翅前横線の延長、波狀、後横線は第三脈の處に高く鋭角をなして外折し、その外側は淡色線にて縁取らる、外縁線は白色、内側は黒色。開張九分五厘。これは阿里山にて捕獲せられたるが稀なり。
分布—臺灣。

Epiplemis erisocera Hult.

體翅白色、少しく灰黄を帯ぶ。翅の紋條は暗色、前横線は點狀を呈し、前縁及び後縁には小短線を散在す、後横線は波狀、第四、五室の處にて紋狀をなして判然す。亞外縁線少しく外曲し、外縁の中央に大紋ありて、第四、五、六室に一黑點を列ぬ。後翅の紋條は前翅の延長、中央に二黑點を具へ、後縁は鋭角をなして外折し、外側は白線にて縁取らる、第二室の末端紋及び第三、四室の外縁は黒色。開張八分九分。これは札幌地方に少なからず。
分布—北海道、本州、九州、臺灣。

クロホシフタタ

Epiplemis noza Hult.

體翅暗色、紋條は黒色。前翅に亞底線あれども判然せず、前横線は深く外曲し、後横線は第四室の處にて鋭角をなして外折し、これは後縁の黒紋に終る、外縁に黒紋を列ぬるも、第一、二室にはなし。後翅の帯は前翅の延長、但し亞底線は判然し、後横線外側の白線は前翅のものよりも判然す、外縁に三白紋ありて、黒紋にて堺せらる、中央に灰色の縦條ありて、これに黒紋を散在す。開張九分。これは中國地方には普通なり。
分布—北海道、本州、九州。

オキナハフタタ

Epiplemis noza Hult.

體翅暗色、紋條は黒色。前翅に亞底線あれども判然せず、前横線は深く外曲し、後横線は第四室の處にて鋭角をなして外折し、これは後縁の黒紋に終る、外縁に黒紋を列ぬるも、第一、二室にはなし。後翅の帯は前翅の延長、但し亞底線は判然し、後横線外側の白線は前翅のものよりも判然す、外縁に三白紋ありて、黒紋にて堺せらる、中央に灰色の縦條ありて、これに黒紋を散在す。開張九分。これは中國地方には普通なり。
分布—北海道、本州、九州。

ツマジロフタタ

Epiplemis azela Hult.

前翅暗色、末端の三分の一は白色、亞外縁線の處及び外縁に黒紋を列ぬ、後縁の中央の四角紋は灰黄、暗色部には黒色の三、四帯ありて、何れも波狀を呈し、鉛色鱗を散在す。後翅は黄白、帯は暗色、其脈は黒色、外縁に暗色紋を列ぬ。開張七分。これは京都鞍馬地方に稀ならず。
分布—本州(鞍馬)。

附言—これは近來波尺亞科に編入せられ、*Maipha* 屬に歸せしめられあるも、右は便宜上従前の如く假に双尾蛾科に入れ置きたり。

スチシロフタタ

Epiplemis noza Hult.

體翅暗色、紋條は黒色。前翅に亞底線あれども判然せず、前横線は深く外曲し、後横線は第四室の處にて鋭角をなして外折し、これは後縁の黒紋に終る、外縁に黒紋を列ぬるも、第一、二室にはなし。後翅の帯は前翅の延長、但し亞底線は判然し、後横線外側の白線は前翅のものよりも判然す、外縁に三白紋ありて、黒紋にて堺せらる、中央に灰色の縦條ありて、これに黒紋を散在す。開張九分。これは中國地方には普通なり。
分布—北海道、本州、九州。

Euphema okinawana Mats.

體翅灰白、紋條は暗色。前翅の前縁に小點を散在し、その内中央の二個は大、中横線及び後横線は白色、横脈點は黒色、第六室の基部に一黒紋ありて、その外側に灰黄紋あり、中室の外側紋暗色、亞外縁線の處に黒紋を列ね、第三、四、五、六室の四紋は判然す。後翅は暗色、前半は白色、後横線は黒色、外側は灰黄を帯び、第五室の末端に半環紋を具へ、その外側は灰黄、内縁にも灰黄の部分あり、第二室の末端に黒點を裝ふ。開張六分五厘。これは沖縄に産するも少なし。

♀



分布—沖縄。

オホヤマフタヲ *Euphema oyamaia* Mats. (一五〇四)

體翅灰白色、紋條は褐色。前横線は前縁の一紋にて代表せられ、中央にて點紋となる、中横線も斷續し、後縁の兩側にて大紋となる、後横線は淡色、内側は褐色線にて縁取られ、後縁にては黒色となる、外縁の中央に弓状の眉溝あり。後翅の



♀

分布—本州、臺灣、支那、印度。

クロフタヲ *Euphema nixa* Hant. (一五〇六)

紋條は前翅の延長、中横線は二紋より成り、後横線は第二室に褐色の大紋を有す、外縁線は褐色。開張八分五厘。これは丹波大山にて捕獲せられたり。

分布—本州(大山)。

クロオビシロフタヲ *Euphema spouza* Swinh. (一五〇五)

體翅灰白、紋條は暗色、少しく鉛色を帯ぶ。前翅の前縁は暗色、前横線は中脈の處にて外折し、その外側に環状紋あり、中横線は細く判然せず、横脈紋は黒色、その前方の一圓は暗色、後横線は少しく彎曲し、外側に灰白線あり、外縁の中央は暗色、第三、四、五、六室に黒點あり、外縁線は黒色。後翅の後半は暗色、前縁の基部に一大紋を具へ、後横線の外側は白線にて縁取らる、第三、四室の末端に黒色の新月紋あり。開張六分。これは信州高山地帯に少なからず。

♀



分布—本州、臺灣、支那、印度。

キマヘホソバ *Agyla coliboides* Hant. (一五〇九)

體翅は暗色。前翅の前縁は橙黄色。後翅は少しく淡色。頭、前胸背、體下及び尾端は橙黄色。開張一寸三分内外。本邦餘り多からざる種類なるが、暗んで燈火に飛來す。幼蟲は地衣を食するもの如し。

110 燈蛾科 Arctiidae

口吻を缺く。脚に軟毛を密生す。觸角に羽狀、櫛齒狀、鞭狀等あり。前翅の内縁脈は二個、外方にあるものは短、第五脈は中室の下角に近く出づ。後翅に二個の内縁脈ありて、抱刺を有す、第七脈は第八脈より分支す。幼蟲は長毛を具へ、潤葉樹を食害すれども、時に蘆荻を食するものあり。雌は普通尾端に毛塊を裝ひ、卵塊を蔽ふ。本邦學名を有するもの二百數十種あり。

附言—これは夜蛾科に酷似すれども、後翅第七脈の第八脈より分支して出づるを以て容易に區別し得。又夜蛾科にて第七脈の第八脈より分支して出づるが如く見ゆるものあれども、基部にて判然分離するを以て區別し得べし。

イチジクヒトリモドキ *Agrius leuis* F. (一五〇三)

これはキシタヒトリモドキに酷似すれども其異なる所は、翅細く、前翅の基部は橙黄色にして、六黄白紋を具へ、何れも黒線にて縁どらる、横脈上及び中室の中央に一黒點あり。後翅の横脈紋及び亞外縁線の紋列は黒色、他に黒紋を缺く。

分布—本州、臺灣、支那、印度。



開張一寸八分。これは臺灣地方に産すれども稀なり。幼蟲はイチジクの葉を食す。

分布—臺灣、印度。

附言—從來ヒトリモドキは擬燈蛾科

として獨立せしも、近代はこれを燈蛾科の亞科となすに至れり。

ゴマフオホソバ *Agrius fuliginosus* Moor. (一五〇八)

ヤボニクス形 ♀

E. japonicus Leach

體翅は暗灰色。前翅底に近く黒紋を散在し、中横線の處に黒點列ありて、中室の處にて外方に彎曲す、縱脈は暗色。後翅に斑紋を缺き、脈は淡色。腹部に三黒紋列を具へ、胸部



♀

體翅暗色。前翅中央の弓狀帯は灰白、前横線、中横線及び後横線は濃色、波狀、後者の外縁は細き白線にて縁取らる、後縁角に近く一白紋あり。後翅の紋條は前翅の延長なるも一層判然し、後横線はW字形をなし、その外側は白紋にて縁取らる、後縁の一圓は灰白なるも少しく青色を帯ぶ、外縁は黒色、その内側は白線にて縁取らる。開張七分。これは秩父地方に稀ならず。

分布—北海道、本州。

キマヘホソバ *Agyla coliboides* Hant. (一五〇九)

體翅は暗色。前翅の前縁は橙黄色。後翅は少しく淡色。頭、前胸背、體下及び尾端は橙黄色。開張一寸三分内外。本邦餘り多からざる種類なるが、暗んで燈火に飛來す。幼蟲は地衣を食するもの如し。

分布—北海道、本州。

アトクロホソバ *Agyla divisa* Moor. (一五〇〇)

體翅は灰黄。前翅後縁の半部は黒色、前縁の基部暗色を帯ぶ。裏面は前縁を除き黒色。胸背は黒色。開張一寸三分五厘。臺灣バイバラ地方に産するも少なし。



♀

分布—北海道、本州。

アトクロホソバ *Agyla divisa* Moor. (一五〇〇)

體翅は灰黄。前翅後縁の半部は黒色、前縁の基部暗色を帯ぶ。裏面は前縁を除き黒色。胸背は黒色。開張一寸三分五厘。臺灣バイバラ地方に産するも少なし。



♀

分布—臺灣、印度。

オホホソバ *Agylla gigantea Oberth.* (一五二)

Agylla gigantea Oberth.



前翅は暗灰色、前縁は廣く黄色。後翅は灰色。體は暗灰色、頭、頸板は黄色。腹部は後翅と同色。開張一寸三分。これは燈火に飛來するも、餘り多からず。幼蟲は地衣を食するが如し。

分布—北海道、本州、アムール、ウスリ。

キシタホソバ *Agylla rufifrons Moor.* (一五三)

Agylla rufifrons Moor.



前翅は黒色、前縁、縁毛及び後縁は橙黄色。後翅は橙黄色にして、斑紋を缺く。前翅の裏面は中央にて黒色。頭及び頸板は黄褐。翅底鱗は黒色。腹部は黄色。

ウキラーゴ形 合

f. virago Rothsch.

開張一寸六分。これはバイバラ地方に産するも少なし。

分布—臺灣、印度。

ムラサキホソバ *Agylla subpurpurea Mats.* (一五三)

Agylla subpurpurea Mats.



マヘキホソバに酷似するも前翅は細く、青藍色を帯び、光線の工合によりて紫色を帯ぶ、前縁は一層淡色にして、細し。開張一寸二分—一寸六分。これは新高山に近きタマホにて發見せられたり。少なきが如し。

分布—臺灣。

モンシロホソバ *Agylla virilis Rothsch.* (一五四)

Agylla virilis Rothsch.



雄、前翅白色、雌にては前翅の黒紋後半にて太く、後翅少しく黄色を帯ぶ。雌にありては前翅の帯同幅にして、時に第三室の處にて外

方に突出するものあり。後翅の一紋は黒色、稍々圓形を呈す。開張一寸四分—一寸八分。これはバイバラ地方に産すれども餘り多からず。

分布—臺灣。

マヘアカヒトリ *Amuseta (Alca) laticincta Grun.* (一五五)

Amuseta (Alca) laticincta Grun.



體翅は白色。前翅の前縁は紅色、横脈上に一黒點を有するものと、有せざるものとあり。後翅の斑紋は黒色。頭頂の横紋、前胸背の周縁、基節及び腿節の内側は紅色。腹部は第一及び尾節を除き橙黄色、縦條は黒色。開張一寸九分内外。これは暖國に稀ならず。北日本には稀なるが如し。幼蟲は玉蜀黍、大豆其他、千屈菜の如き植物を食す。

分布—本州、四國、九州、琉球、臺灣、朝鮮、支那、印度。

タイワンキハラヒトリ (一五六)

Amuseta (Alca) laticincta Grun.

體翅暗褐。前翅脈は淡色、中室紋は圓形にして、濃色。後翅は半透明、外縁は廣く黒色。觸角は暗褐、末端の四分の一は白色、但し末端は褐色。腹部は橙黄色、各節に黒輪あり。開張一寸三分。これは恒春地方に稀ならず。

分布—臺灣。

キバラヒトリ *Arctia caesarea Goewa* (一五七)

Arctia caesarea Goewa



體翅は暗色。前翅の脈は濃色。後翅は前翅よりも淡色、肛角の一紋は黄色。腹部は橙黄色、黒紋を縦列す。開張一寸一分内外。これは中國地方に少なからざるも、北海道には産せず。幼蟲はヤナギ、タンポポ、オホバ

コ、トラノヲ等の葉を食す。

分布—本州、九州、歐洲。

ナミヒトリ (ヒトリガ) *Arctia carya L.* (一五八)

Arctia carya L.



前翅は暗褐、紋條は白色。後翅は紅色、斑紋は黒色。觸角は灰白、頭に紅色部あり。頭及び胸

部は黒褐。前胸の前縁は白色、周圍紅色。翅底鱗は灰白。腹部は紅色、各節の長紋は黒色。開張二寸五分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲は雜草を食す。

分布—北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

ヘニコマダラヒトリモドキ *Argina argus Koll.* (一五九)

Argina argus Koll.



體翅は淡紅色。翅の斑紋は黒色、其周圍は灰白。體の斑紋は黒色。開張一寸六分内外。これは臺灣地方に稀ならず。幼蟲はタヌキマメの如き豆科植物の葉を食す。

分布—臺灣、支那、印度、亞弗利加。

キゴマダラヒトリモドキ *Argina cribraria Clerck* (一六〇)

Argina cribraria Clerck



體翅は橙黄色。翅紋は黒色、其周圍は淡色。前胸の二紋、翅底鱗及び中胸背の一紋は黒色。腹部に六條の黒紋を縦列す。開張一寸三分内外。これは臺灣地方には稀ならず。

分布—臺灣、支那、印度。

キシタヒトリモドキ (一五三二)

Asota curvata F. (*Clippia atrophana* Gram.)



外。これは臺灣に普通なり。幼蟲はタヌキマメの如き豆科植物の葉を食す。



ホシヒトリモドキ (一五三三) *Asota (Hypsa)*

分布—臺灣、支那、印度、臺灣。

complanata Wlk.

體は橙黄色、紋列は黒色。翅は白色、前翅の基部は黄色、これに約五個の黒紋を裝ひ、前縁中室の二紋、外縁及び後縁は暗色、後翅の外縁及び四紋は暗黒色。開張二寸一分内外。これは臺灣には少なからず。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

キイロヒトリモドキ (一五三三)

Asota spizis Wlk.



これは臺灣に普通なり。其飛性なるもよく燈火にも飛來す。

分布—臺灣、支那、印度。

シロスチヒトリモドキ (一五三四)

Asota laticornis F. (*Hypsa nanyea* Gram.)



體翅は暗黒。前翅基部の六紋は黒褐、中脈上の縦條は白色。後翅は白色、外縁は暗色、横脈上の一紋は灰暗色。腹部は橙黄色、各節の前縁に黒帯あり。開張二寸内外。これは臺灣には普通なり。幼蟲はカンコウモドキの葉を食す。

分布—臺灣、支那、印度。

アトシロモノコケガ (一五三五)

Asura albidorsalis Wilem.



前翅は暗褐、後横線は波状を呈し灰白、後縁は灰白にして、これに三黒紋を裝

ふ。後翅は灰黄、第二脈下の外縁に、暗色紋を裝ふ。開張一寸一分。これはバイバラ地方に産すれども餘り多からず。

分布—臺灣。

ジフジヘニコケガ (一五三六)

Asura eructata Mats.



雄、ホリシヤヘニコケガに似るも、前翅前縁の基部に暗色の縦線を缺き、前縁は細く黒色、前横線及び後横線と合して十字形の斑紋を現はし、横脈點は黒色、後横線は第六脈の處にて彎曲す、縦脈は黒色、外縁に黄紋を缺く。後翅の翅端に二黒紋あり。開張七分半。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

ホリシヤヘニコケガ (一五三九)

Asura horistalanelia Mats.



前翅は紅色、斑紋は暗色、前縁の基部に一縦條を具へ、前横線は中脈の處にて膝狀を呈

第六 鱗翅目(蛾亞目)

し、中横線と相合して人字形を現はす、後横線は第四脈の處にて外方に曲折し、その外方の縦脈は暗色(但し外縁に達せず)、外縁に近く二個の橙黄紋、前縁の基部に黒點あり、縁毛は黒色。後翅は赤色、縁毛は暗色、翅端は灰色を帯ぶ。開張六分半。一寸。これは埔里に捕獲せられたるも少なし。

分布—臺灣。

タイワンキマタラコケガ (一五三八)

Asura olivacea Moor.



中横線及び外縁は暗色。前翅の前横線、中横線及び外縁は齒狀、中室外にて鋭角をなして外折し、外縁線は細し。開張八分内外。これは臺灣に産するも少なし。

分布—臺灣、印度。

ミツイロコケガ (一五三九)

Asura tricolor Wilem.

前翅は黄色、前縁及び外縁の紋列は紅色、前横線、中横線、後横線及び外縁線は暗色、後者は犬牙狀を呈し、第三、五及び七室にて突出

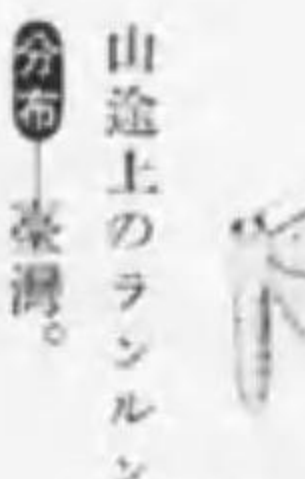


す。胸、中室、横脈上及び第二室の基部に紅色紋を裝ふ。後翅は桃色、少しく暗色を帯ぶ。開張一寸。これは埔里に稀ならず。

分布—臺灣。

ランルンキコケガ (一五四〇)

Asuraeis rufurana Mats.



前翅は橙黄色。紋條は黒色、前横線は遮断せられて三片となり、中横線は直、外縁には約十三紋を三列に排列す。後翅は前翅より淡色。開張六分半。これは新高山途上のランルンにて發見せられたり。

分布—臺灣。

ホシカラスヒトリ (一五四一)

Callionerpha albipuncta Wilem.

翅は黒色、少しく青色を帯ぶ、斑紋は白色。後翅底の小半は青色を帯びず。體は紅色、黒紋を裝ふ。開張二寸九分内外。これは臺灣に産するが稀なるが如し。

分布—臺灣(阿里山)。



全斑紋は黒色。體は黄色、翅底鱗は黒色、頸板の二紋及び腹部の紋列は黒色。開張二寸四分。これは朝鮮元山地方に産するも稀なり。
分布 朝鮮。

黄色、暗色部の八紋は黄白。後翅は橙黄、斑紋は黒色、外縁は黒色、橙黄紋を横列す。開張一寸内外。これは臺灣にては少なし。
分布 臺灣、支那。
フラウオマツクラータ形 ♀
F. flavomaculata Mats.



テウセントラガモドキ
Callimorpha coreana Mats. (一五三二)



雄、前翅は暗褐色、斑紋は淡黄色、但し横脈上の梨形紋は橙黄色。後翅は橙黄色、その

キホシトラガモドキ(キボンヒトリ) (一五三三)
Callimorpha histrio Wk.
體は橙黄、斑紋は黒色。前翅は黒色。外縁の半部は暗色、中室の小紋は黄色、黒色部の斑紋はフォルモサーナ形 ♀ *f. formosana* Miyake



フォルモサーナ形と異なる所は前翅第一室(1)に四個の橙黄紋を有するにあり。
分布 臺灣(埔里)。
タカムクトラガモドキ (一五三四)



Calpodana takamotui Mats.

雌、體は黄色、下唇鬚末端の二節、頸板の一紋、肩紋、翅底鱗の一縱條、中胸背の縱紋、稜狀部の一紋、各腹部背側の兩紋等は黒色。前翅白色、前縁は橙黄色、斑紋は黒色、外縁は大部



黒色、黄色紋を列ね、白色部に約四列の黒紋ありて、横脈上にあるものは弓状をなす。後翅は白色、外縁は橙黄色、白色部に二列、黄色部に三列の黒紋あり。開張三寸四分。これは埔里にて故高橋梯吉氏の採集せるものなるが稀なり。

臺灣。

サラサヒトリ
Gampelona interoptatum Wk. (一五三五)



體翅は橙黄色。前翅の條紋黒色、外縁角に三黒紋を具へ、その上の一紋は朱色。後翅は濃色。觸角は黒褐。翅底鱗の縱條は黒色。腹部は濃色、尾端は淡紅。開張一寸一分内外。これは東京地方に普通なり。幼蟲は樺、樺、其他樺斗科植物の葉を食す。
分布 本州、九州、支那。

ヒメコブガ
Celama confusalis Hb. (一五三六)



體翅灰白。前翅前縁の一短線、前横線(波状、中央にて紋状となる)、前縁中央の半環紋、後横線(一雙、波状、第四室にて外折す)及び亜外縁線(波状、外側は白線にて縁取らる)等は暗色、中室の基部及び中央に瘤状突起あり。後翅の横脈紋は暗色。開張七

分。これは蘇交地方に普通なり。
分布 本州、滿洲、アムール、支那。

ツマグロコブガ
Celama cristatilis Hb. (一五三七)



體翅白色、紋條は黒色、少しく青白鱗を混す。ミニユタリス形 各 前翅前縁に二紋ありて、内方ものは少しく外曲し、後方のものは稍々三角形、外縁に楕圓形の二紋ありて、上方のものは曲玉状をなす。後翅の前縁及び外縁は暗灰色。開張四分七厘。これは東京地方に稀ならず。
分布 本州、歐洲。

マヘモンコブガ
Celama innocua Butl. (一五三八)



體は白色、腹部灰白。翅は暗灰色、翅底の二帯、後横線及び亜外縁(三個のスカラとなる)、前縁及び縁毛は白色、前縁には暗色點を列ぬ。後翅暗色、縁毛は白色。開張七分。これは札幌地方に普通なり。
分布 樺太、北海道、本州、九州、臺灣、アム

ール。

カレンアカスチコケガ……………(一五三九)

Chionomena efracta Wk.

雄、體翅白色、少しく黄色を帯ぶ。前翅の紋條は紅色、底線は波狀、前横線は中室にて深く彎曲し、その外側の一紋は大、中横線の中央にて外

カレンコーニス形 *f. karenikonis* Mats.



♀



曲し、横脈上に二紋あり、雌にては第六室の基部に一紋あり、後横線は弓狀に外曲し、亞外縁線に紋列あり、外縁線は斷續せず。後翅は黄白。裏面、前翅の姓標及び後翅の横脈紋は暗色。開張八分。これは花蓮港にて捕獲せられたるも少なし。

分布 臺灣、印度。

タイワンアカスチコケガ……………(一五四〇)

Chionomena formosana Hamp.

これはオホアカスチコケガに類似すれども翅底

く朱色を帯ぶ。開張一寸五分。これは阿里山にて捕へたるも少なし。

分布 臺灣。

シタベニアカスチコケガ……………(一五四四)

Chionomena quadrifartia Motsch.

體翅白色。前翅は少しく紅色を帯び、亞底線、前横線、後横線及び外縁線

は紅色、前横線は副前縁脈にて外折し、後横線は同脈にて内折す、中室に一個、横脈上に二個の黒紋あり。後翅は淡紅色、縁毛は兩翅とも白色。脛板の後縁、翅底鱗の後端及び中胸背は淡紅。開張一寸一分。これは埔里地方に稀ならず。

分布 臺灣。

ホソアカスチコケガ……………(一五四五)

Chionomena sanguinea Wlsm.

前翅は白色、少しく赤味を帯ぶ、翅底のY字形紋、く字形をなせる後横線、外縁に於けるバラボラ形紋は紅色、中央の二紋は黒色。後翅は朱色、前縁、



♂

第六 鱗翅目(蛾亞目)



♂

の二帯は合してY字形紋を現はし、後横線はY字形を呈し、その前縁にも一紅色紋を帯ぶ。後翅は全部朱色、縁毛は白色。開張一寸一分。バイバラ地方に産すれども少なし。

分布 臺灣。

アカスチ(シロ)コケガ……………(一五四二)

Chionomena lanata Wlsm.

體翅は白色。後翅は淡紅色を帯ぶ。雌の前翅底のY字形紋は赤色、斜帯は赤色、中室紋は黒色、雄の中室を横貫する赤條の外側に同色の枝

♂

♀



狀突起あり、中室紋は黒色、其外側に赤條あり。前胸、翅底鱗及び後翅部の末端は淡紅色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は地衣を食す。

翅底及び縁毛は灰白。開張一寸。これは臺灣埔里地方に普通なり。

分布 臺灣、印度。

ナガモンアカスチコケガ……………(一五四六)

Chionomena subaham Wlsm.

前翅白色、四横線は朱色、前横線は前縁下に

て、後横線は中脈下にて少しく外方に彎曲す、中央に二黒紋ありて外方のものは長し、尙後横線の外側に當り前縁に近く黒紋あり。後翅は少しく紅色を帯び、横脈紋は暗色、縁毛は白色。開張一寸四分。これはバイバラ地方に稀ならず。

分布 臺灣。

ヒトテンアカスチコケガ……………(一五四七)

Chionomena unipunctata Ktw.

雄、ホソアカスチコケガに類似すれど、横脈に一黒紋を具へ、底線は前縁の紅色部に癒合す、中脈下に長毛を有する性標あ



♂

分布 日本全土、沖縄、臺灣、支那。

オキナハアカスチコケガ……………(一五四三)

Chionomena okinawana Mats.

雌、體翅白色。前翅の底線、前横線、後横線及び亞外縁線紅色、後横線は前縁三分の一の處より斜走し、第二室の處にて外折し、後縁四分の三の處に出づ、横脈紋は暗紅色、尙、前縁の

♀



三分の一は細く紅色。後翅の外縁は淡紅色。開張八分五厘。これは沖縄に産するも少なし。

分布 沖縄。

オホアカスチコケガ……………(一五四三)

Chionomena protinqua Wlsm.

體翅白色、翅底線、前横線、後横線及び外縁線は朱色、前横線は前半に於て半圓形を呈し、後端直となりて後縁に達す、後横線は中室の外方にて内方に屈折し、中央に三黒紋あり。後翅の外縁は少し

♀



り、開張一寸一分。これは沖縄に産するも多からず。

分布 沖縄。

ルリモンホソバ……………(一五四八)

Chrysoglia magnifica Wk.

タイワナ形 雌

體翅は橙黄色。前翅の斑紋及び外縁は黒線、光線の具合に依り紫藍色を現はし、紋の周縁は紫色を帯ぶ。開張一寸六分内外。これは埔里地方にては普通ならざるが如し。

分布 臺灣、支那、印度。

アラフタスチホソバ……………(一五四九)

Chrysorhadin wilemani Hamp.

體翅灰黄、前翅の二縦帯は黒線、但し後



♀

帯は外縁に達せず。頭、頸板、腹部は灰黄。翅底縁は黒縁、その外側は灰黄。觸角は黒褐。開張一寸七分。これはバイバラ地方に産すれども稀なり。

分布—臺灣。

クロスチヒトリ……………(一五五〇)

Cretonotus tauikei Grun.

雌
體翅は暗黄、少しく赤味を帯ぶ。前翅の縦條は黒褐。後翅は暗色。前頭は暗色。胸背上の紡錘狀紋は黒褐。腹背は紅色、紋列は黒色。開張一寸四分内外。これは九州に稀なるも、臺灣には普通なり。幼蟲は甘蔗その他茶、大豆、珈琲等の葉を食す。

分布—九州、沖縄、臺灣、支那。

セスチハヒロヒトリ……………(一五五一)

Cretonotus nigrovittatus Mats.

體翅は灰黄。前翅の前角内方の小紋列は暗色、第三及び五室に列然せざる暗黒紋を具へ、前角よりの列然せざる計條は暗色、脈は淡色。後翅は

タマキハシロモドキ……………(一五五二)

Delimera arcuata Mats.

雌
は黒色。體は黄色。頭及び胸部の斑紋並に腹部の帯は黒色。開張一寸八分内外。これは臺灣に稀ならず。甚飛性にして、モンシロテフと見紛ふことあり。分布—臺灣、支那、印度。



テハリモンシロモドキ……………(一五五三)

Delimera curvissima Swinh.

オビモンシロモドキに酷似すれども、その異なる所は、前翅の翅端に近く稍々四角形の白紋を具へ、腹背の各節に一黒紋を有し、肛角の延長して突出せるにあり。開張一寸七分。これは臺灣に産するも少なし。

分布—臺灣、印度。

ホツボヒトリ……………(一五五三)

Cretonotus vivida Wilm.

雌
體翅は灰白、少しく赤味を帯ぶ。前翅の斑紋は黒色。後翅は淡紅色、前縁は灰黄色。第一腹節

分布—臺灣。



及び尾端を除く腹背は紅色、紋列は黒色。雌の前翅及び胸背は黄褐。開張一寸五分内外。これは臺灣に稀ならず。暗んで燈火に飛來す。

オビモンシロモドキ……………(一五五四)

Delimera arcuata Wk.

前翅は暗色、翅底は橙黄色、これに二黒紋を装ひ、中室の基部下方に長白紋ありて、更に其基部に一黒紋を装ふ、中室に近き一紋は暗色、外縁下方の三紋は白色。後翅は白色、外縁の紋列

フオルモナーナ形……………(一五五五)

E. formosana Swinh.



ハラベニシロヒトリ……………(一五五六)

Diaperis alba Breun.

雌、體翅白色、腹背紅色。前翅前縁の基半部は黒色、翅底紋、横脈上の一、前縁室中央の一、第二、三室の基部紋、第四室の中央紋等は黒色。後翅横脈兩側の各一紋、第一室の二紋及び第五室の一紋は黒色。腹部の一紋列は黒色。下唇盤の末端及び頭の前縁は黒色。開張一寸七分。これは朝鮮に少なからず。臺灣奮起湖にても捕獲せられたり。

分布—朝鮮、臺灣。

バイバラシロヒトリ……………(一五五七)

アルビバルバータ形……………(一五五八)

E. albipalpa Mats.



の中央に二乃至四黒紋を装ふ。後翅は肛角に黒紋を缺く。後脛節の末端(雌)乃至末端の半部(雌)は白色。開張一寸五分—六分。これは埔里に稀ならず。

分布—臺灣。

フタスチヒトリ……………(一五五九)

Diaperis bifasciata Bntt.

體翅は黄白乃至黄褐色。前翅の二帯及び後翅の二紋は黒褐、前頭は二黒紋あり。觸角及び脚は黒色。脛節に紅色毛を密生す。前胸背に二黒紋あり。腹部は淡紅、第三乃至第七腹節、腹側及



♂
び腹面に黒紋あり。開張一寸九分内外。これは中國地方に産するも餘り多からず。幼蟲は桑葉を食す。
分布 本州。

スチモンヒトリ

Dierisia casigneta Koll.

(一五五九)

セリアトプンクタータ形

I. aristopunctata Motsch.

胸部は黄白、腹部は紅色、中央及び



♀
は紅色、中央及び兩側の紋列は黒色。翅は淡黄褐色、前翅の基部は淡色、中央及び後翅の内縁は少しく紅色を帯び、紋列は黒色。開張一寸二

分内外。これは燈火に飛來する最も普通種なり。幼蟲は桑其他果樹の葉を食す。

分布 日本全土、朝鮮、支那。

コンボウヒトリ

Dierisia elava Wilem.

(一五六〇)

體翅黄褐色、紋列は黒色。腹部は紅色。前翅は少しく赤味を帯び、前縁に沿ひ基部に棍棒状の線を具へ、後縁の中央に長紋ありて、その兩側は突出す、前横線の處に三紋あり、前縁の中央に一紋を具へ、横脈の前方に一點あり、前縁角を二分する斜條は



♀
點紋より成り、不明瞭となりて後縁紋に達す。後翅に暗色の五紋あり、内縁は紅色を帯ぶ。腹部の基部に一大紋を具へ、各節の後縁は黒色。開張一寸七分。これは臺灣埔里地方に少なからず。

分布 臺灣。

シタヘニホシヒトリ

(一五六一)

Dierisia confusa Wilem.

體翅灰褐色、紋列は黒色。後翅及び腹部は紅色。前翅の後黄線は點紋となり、後縁の中央に開口す。後翅の横脈紋、第一、二、三、六室の各一紋は判然し、第二室にあるもの最大。腹部に紋列を具へ、各節の後縁は暗色。開張一寸七分。これは臺灣に産するも少なし。



♀
は暗色。開張一寸七分。これは臺灣に産するも少なし。

分布 臺灣。

ホソバアカヒトリ

Dierisia contaminata Wilem.

(一五六二)

前翅は暗灰色、少しく赤味を帯び、前縁、第三室、後縁並に脈は黄色。後翅は灰黄、縁紋及び亜外縁線の三紋は暗色、内縁は紅色を帯ぶ。體は灰黄、腹背は紅色、紋列は黒色。開張一寸四分。これは埔里地方に稀



♂
の紋列は黒色、翅端より後縁にY字形の斜條を帯ぶ。後翅は少しく赤味を帯び、斑紋は暗色、第一室にあるもの最大。腹部は紅色、黒點を列ね、開張一寸七分。これは埔里に少なからざるが如し。

ならず。

分布 臺灣。

タイトウコマダラヒトリ

Dierisia dittonensis Mats.

(一五六三)

體翅は灰黄白、少しく赤味を帯び、斑紋は黒色。前翅翅底の一紋、前横線の五紋、中横線の六紋、横脈の二紋及びその外側の三點、後横線の二紋列、亜外縁線紋及び外縁の二、三紋は黒色。後翅の横脈紋及び亜外縁線列は黒色。下唇鬚及び觸角は暗色。前肢は紅色。腹背は紅色、第二及び尾節紋は最大。開張一寸二分。これは花蓮港にて捕獲せるが稀なり。



♂
びその外側の三點、後横線の二紋列、亜外縁線紋及び外縁の二、三紋は黒色。後翅の横脈紋及び亜外縁線列は黒色。下唇鬚及び觸角は暗色。前肢は紅色。腹背は紅色、第二及び尾節紋は最大。開張一寸二分。これは花蓮港にて捕獲せるが稀なり。

分布 臺灣。

タイワンチャイロヒトリ

Dierisia fulvaesosa Mats.

(一五六四)

チャイロヒトリに酷似するも、前翅は灰褐色、翅端より後縁の中央に達する斜紋列は翅端前に始まり、外縁の紋列を缺く。後翅に四黒紋あり



♀
て、肛角の紋は大きく、開張九分。これは埔里にて捕獲せられたるが少なきが如し。

分布 臺灣。

アカヒトリ

Dierisia humicola Moor.

(一五六五)

體翅淡紅色。頭、觸角及び體下は淡黄褐色。翅の紋列は暗色。腹部の紋列は黒色。下唇鬚及び前肢の前方は暗色。開張一寸二分内外。本邦に餘り多からざる種類なり。



♀
らざる種類なり。

支那。

分布 本州、九州、



♀
ウスグロヒトリ

Dierisia fumida Wilem.

(一五六六)



♀
體翅暗黄褐色。前翅

分布 臺灣。

ネグロヒトリ

Dierisia fuscolasialis Mats.

(一五六七)

雌、體翅白色。前翅の前縁は細く、後縁の基部は暗色。後翅底内縁及び斑紋は暗色、横脈紋は淡色脈にて二分せらる、亜外縁に五紋ありて、第一室のもの最大。後翅の裏面は表翅と同様なれども、前翅の前縁は廣く暗色、外縁脈も暗色なるもの多し。腹面は紅色、兩側紋及び尾端前の一紋は黒色。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せられたるも少なし。



♂
の裏面は表翅と同様なれども、前翅の前縁は廣く暗色、外縁脈も暗色なるもの多し。腹面は紅色、兩側紋及び尾端前の一紋は黒色。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せられたるも少なし。

分布 臺灣。

ヒラヤマシロヒトリ

(一五六八)

Diacrisia litayamae Mats.

フトスチモンヒトリに似れども、その異なる所は、前翅前縁に黒紋を缺き、横脈上に二黒紋を具へ、翅端より後縁の中央に連する黒紋列は第四室にて遮断せられ、後縁三分の一の處に一黒紋を装ふ。後翅に二紋ありて、第一室及び第五室の末端に近位す。腹背に三黒紋ありて、これは第二、三、四節にあり。開張一寸五分。東京地方にて捕獲せられたるも少なし。



分布—本州。

クハゴマダラヒトリ……………(一五六)

Diacrisia imparilis Bantl.



雌の體翅は黄白、頸に黄毛環あり、翅底鱗の一紋は褐色、腹部は橙黄、基部



は黄白、第二節以下各節に三黒紋を装ひ、尾節の毛塊は黄色、前翅の斑紋は暗色、前縁の五個は黒色、後翅に一暗色紋あり。雄の體翅は暗黒、腹部及び前胸は橙黄色、觸角黒色。開張一寸六分内外。幼蟲は桑、栗樹、梨、梅、李、杏等に有害なり。
分布—北海道、本州、四國、九州。

カクモンヒトリ……………(一五七)

Diacrisia inaequalis Wk.



體翅は灰黄。前翅端に近き前縁は少しく紅色を帯び、兩翅の紋列は暗色。腹部は淡紅色、紋列は黒色。雄はクロバネヒトリの雌に酷似す。開張一寸二分内外。これは北海道に産せざるが如し。中國地方に産するもその數少なし。
分布—本州、四國、九州。

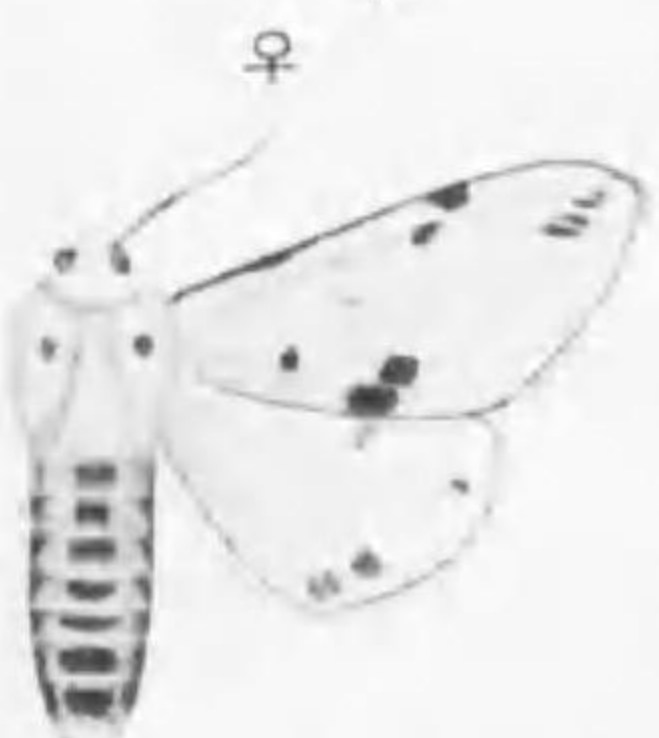
クロバネヒトリ……………(一五七)

Diacrisia infernalis Bantl.

雌の體翅は黄白、翅の斑紋は暗色、腿節の後方

キクチヒトリ……………(一五七)

Diacrisia kikuchi Mats.



前翅は黄白、前縁基部の一縱條、中室外角の一點、前縁三分の二の處にある楕圓形紋、第一室(II)の基部紋、後縁の二紋、その他第四、六、七、八室の小紋等は黒色。後翅の三紋は黒色。腹部は紅色、斑紋は黒色、腹面は黄白。脚黒色、腿

節は紅色。開張一寸六分。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

クロフシロヒトリ……………(一五三)

Diacrisia lewisii Bantl.



體翅は白色。前翅の紋條は黒色、脈は黄色。後翅外縁の五紋及び横脈上の二紋は黒褐。頭は暗色。前胸背の二紋は黒色、前縁は紅色。胸背は暗色。腹部は黄赤、中央及び兩側に黒紋を縱列す。開張一寸一分内外。これは信州追分地方に稀ならず。

分布—本州、四國、九州、支那。

雌、原種と異なる所は形大、斑紋暗色にして、稍々鼠地を呈し、後翅の肛角に近き二紋は大、外縁に判然せざる暗色紋を



第六鱗翅目(蛾亞目)

列ぬるにあり。開張一寸六分。これは稀なり。

分布—臺灣。

キマダラヒトリ……………(一五七)

Diacrisia indutripeda L.



體翅は黄白、紋條は黒色。後翅の中室紋は暗色。腹背は淡紅又は黄色、中央及び兩側に黒紋を縱列す。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は灰褐にして、黄褐毛を装ひ、桑其他果樹の葉を食害す。

分布—日本全土、臺灣、朝鮮、支那、印度。

マシウヒトリ……………(一五七)

Diacrisia mushuensis Mats.



體翅白色、少しく暗色を帯び、斑紋は黒色。前翅の後縁は黄色、翅

底の一紋、前横脈の二紋、横脈の兩筋紋、後横脈の紋列、亜外縁線及び外縁は判然す。後翅の横脈紋及び亜外縁線は判然し、第三及び第六室にこれを缺く。腹部は黄色、紋列は黒色。開張一寸二分。これは銅路摩周湖地方にて捕獲せられたり。

分布—北海道。

ヒメゴマダラヒトリ……………(一五七)

Diacrisia menthuetri Esq.



體翅は白色。翅の翅紋は黒色。腹背は紅色、尾端は白色、中央兩側及び腹面に黒紋列あり。前腿節の内方は紅色、脛節及び跗節は黒色。開張一寸三分内外。これも亦普通なる一種にして、

幼蟲はタデ、ハクカ、テンサイ等の葉を食す。

分布—日本全土、朝鮮、臺灣、支那、歐洲。

チャイロヒトリ……………(一五七)

Diacrisia moltrachi Miyake

體翅は淡紅色。兩翅の紋條は暗色。腹背、腹側及

九五七



腹面両側の縦紋列は黒色、尾端は灰黄。脚は灰黄、紋列は黒色。開張一寸二分内外。本種は臺灣に産すれども餘り多からず。

タイワンゴマダラヒトリ

Diaperis centrographa Hampy.

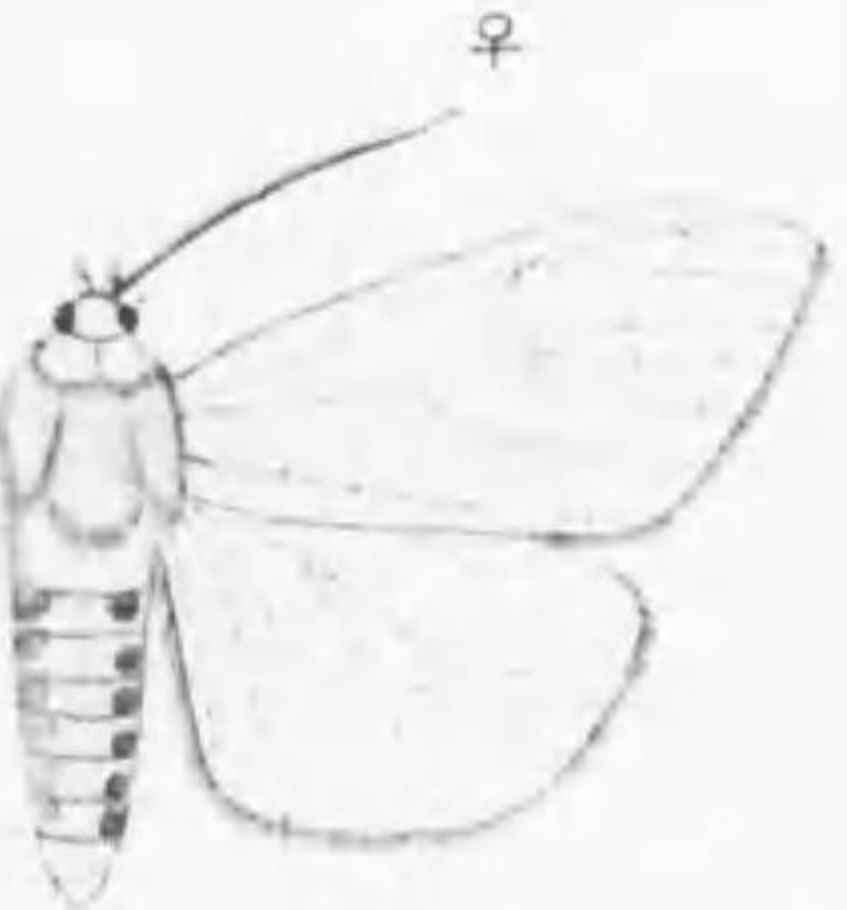


前翅は灰黄、少しく赤味を帯び、斑紋は黒色、外縁に約三條の紋列ありて、前縁紋は大、翅底に約三紋ありて、長く、前横線に六紋ありて斜列す。後翅は桃色、外縁及び縁毛は灰黄、横脈紋及び亜外縁線の紋列は黒色、第三室のものは小。體は灰黄、腹部は紅色、側紋列は黒色。開張一寸四分。これは埔里にて捕獲せるが少なからず。

シロヒトリ

Diaperis niva Men.

體翅は雪白、觸角の下面及び下唇鬚外側の末端は暗色、後者の基部は紅色。腹側の紋列は黒色及び紅色。觸節の前方及び前基部は紅色、末端は黒色。開張二寸三分内



外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はオホバコ、タンボウ、其他の雜草を食す。



ウズスヂモンヒトリ Diaperis obliqua Wlk. 體翅は黄白。前翅

に黒斑を有するものと有せざるものとあり、翅端の小紋は黒色、これに連続せる斜條は濃色、雄の後翅肛角に三黒褐紋あり。腹背は紅色又黄色、中央及び兩側に黒紋を列ぬ。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は桑葉を喰害す。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那、印度。イオーネ形 ♀ f. japon. Bail.



原種と異なる所は、主として後翅の桃色を呈するにあり。本州。



フトスヂモンヒトリ Diaperis obliqua fasciata Miyake. 體翅は灰黄、紋列は黒褐。腹背は紅色、紋列は黒色。

ウスミヤクヒトリ

Diaperis pallivona Mats.



脚は暗色。觸節及び基部は紅色、前方は灰黄、觸節の末端並に基部紋は黒色。開張一寸八分内外。本邦餘り多からざる種類なり。幼蟲は桑の葉を食す。

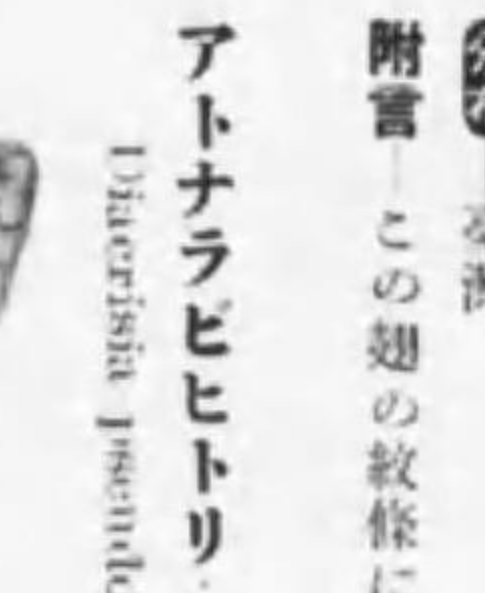
アトアカヒトリ

Diaperis postrubida Wilem.

體翅黄色、斑紋は黒色。前翅後縁の基部に近く一紋を具へ、後横線の後半の四紋は判然すれども、前半にては消失す、横脈の前端に一點あり。

アトナラヒヒトリ

Diaperis pseudolutesca Kertész.



後翅は紅色、横脈の二紋の内、前縁にあるものは大、後縁に二黒點を有するものあり。腹部は黄色、少しく紅色を帯び、紋列は黒色。開張一寸四分—一寸七分。これは埔里に少なからず。

アカハラシロモンヒトリ

Diaperis pseudolutesca Kertész. 體翅黄褐。前翅の中央及び後翅は淡色、紋列は褐色、第三室にあるものは最も大。後翅の後縁に近く五紋を列ぬ、横脈紋は小なり。開張一寸二分。これは本州に産するも少なし。



體翅白色、少しく灰黄色を帯び、斑紋は黒色。ロッドフイリデス形。腹部は桃色。Rhodoptoides Kertész. 前翅の中室紋及び横脈紋は小、斜紋列は判然し、後縁に當りその内側に二點あり。後翅の横脈紋は判然し、亜外縁線の紋は第一室(lb)にて大形となり、第二、三室に缺く。腹部は紅色、紋は黒色、尾端は黄色。開張一寸三分。これは臺灣に産するも多からず。

分布 臺灣 附言 腹部の白色なるものあり、これをシローニス形 f. zhirovis Mats. と云ふ。

サカグチヒトリ

Diaperis sakaguchii Mats.



體翅白色、少しく黄赤を帯び、紋列は黒色。兩翅横脈の前端紋は黒色。後翅の第一室に暗色の二紋あり。開張一寸三分—一寸四分。こ

これは沖縄に産するも少なし。
分布—沖縄。

ヘリモンアカヒトリ……………(一五六七)

Diacrisia sannio L.

ニフオニカ形 ♀

f. nipponica Mats.

雌の體翅は赤黄、前翅の前縁、脈及び横脈上の斑紋は黄赤。後翅底半、横脈上の一紋及び外縁の二帯は黒色。雄にては體翅黄色、前翅黄脈上の一紋は黄赤、後翅底は灰色、縁毛は黄赤。開張一寸五分内外。これは高山地帯に産する燈蛾なるが餘り多からず。幼蟲はタンゴボ、イレーネ形。オオホバコ等の雜草を食す。



分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲。原種と異なる所は、前翅は橙黄色、後翅淡色、暗色部を缺く、横脈紋は二個あり。

りて、暗色。これは稀なり。

分布—北海道、本州。

リシリアーナ形 各 *f. risiriana* Mats.

原種と異なる所は前翅の横脈上に暗色の二紋を具へ、前翅は判然せず、後翅の横脈紋小、各室に暗色の一紋ありて帯状をなし、後翅底は暗色を帯びず。これは利尻島にて捕獲せらる。



分布—北海道(利尻)。

シヤクワウジシロヒトリ……………(一五六八)

Diacrisia shakojiana Mats.



タカムクシロヒトリに似れども、その異なる所は、前翅に亜外縁紋列を缺き、中室前角に小形なる暗色紋を装ふ。後翅の横脈紋は弦月形を呈す。頭頂に黒縦條あり。開張一寸六分。これは朝鮮。

鮮釋王寺にて捕獲せられたるが稀なり。
分布—朝鮮。

クロホシヒトリ……………(一五六九)

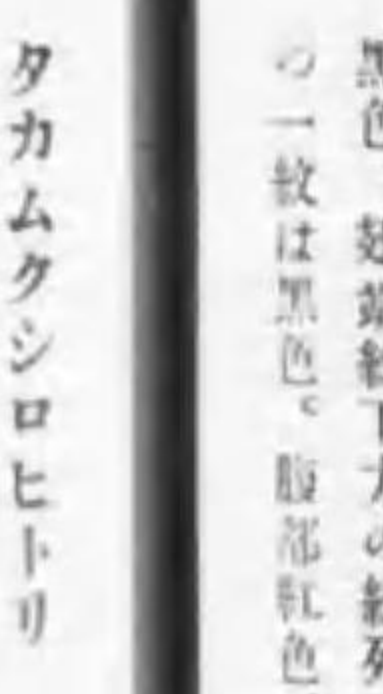
Diacrisia solitaria Wlem.



體翅灰色、少しく褐色を帯ぶ。前翅の前横線及び後横線の處に黒紋列ありて、前者は中央にて紋を缺き、後者の中央紋は小形なり。後翅は少しく暗色、半透明、外縁に黒紋を列ぬ。觸角は黒色、末端の三分の一は白色。腹部は橙黄色、各節の後縁に黒帯あり、但し第二節にては黒點となる。開張一寸六分。これは臺灣に産すれども少し。
分布—臺灣。

オビヒトリ……………(一五九〇)

Diacrisia subaernea Wlk.

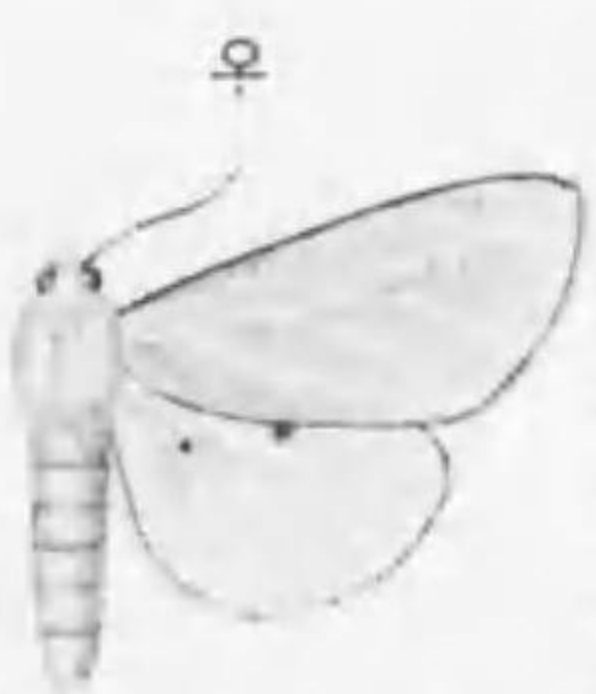


體翅は灰白、少しく黄色を帯ぶ。前翅の斑紋は黒色、翅端紋下方の紋列は灰黄。後翅横脈上端の一紋は黒色。腹部紅色、第一節は白色、兩側

分布—臺灣。

タカムクシロヒトリ

Diacrisia takamukiana Mats.



雌、前翅は灰黄、外縁線の處に小なる三黒紋を列ね、一は三脈上方、一は四脈の下方、一は六脈の下方にあり。第一室(1b)にも小形なる同様紋あり、尙、横脈の上方にも不明なる暗色紋を装ふ。後翅は前翅よりも淡色、横脈紋は黒色にして、稍々四角形を呈す。腹部は橙黄、三列の黒紋あり。開張一寸五分。これは埔里にて捕獲せられたり。
分布—臺灣。

ウコンヒトリ……………(一五九四)

Diacrisia ukona Mats.



雌、體翅橙黄色。下唇鬚及び前肢は暗色。觸角は暗褐、櫛齒狀の枝は長し。前翅底及び中室の一紋并に横脈の兩側は暗色。後翅底の上下紋及び外側の一紋は暗色。腹背



に淡紅の一紋を具へ、第二節以下各節に五紋を装ふ。開張一寸八分内外。これは本邦餘り多からざるの種類なり。幼蟲は桑の葉を食す。
分布—北海道、本州、沖縄、支那、滿洲。
シフロンヌ形 ♀ *f. lifrons* Wlk.



原種と異なる所は、後翅は淡紅色にして横脈紋を缺き、前翅の翅端にも黒點を缺く。
分布—本州、臺灣、支那。

ウスチヤキバラヒトリ……………(一五九二)

Diacrisia subaernea Rohdseh.

體翅灰黄、斑紋は暗色。前翅の横脈紋は判然し、後横線及び亜外縁線の處に紋列ありて、前者は前半にて稍々判然するも、後半にて不明

タイワンシロヒトリ……………(一五九三)

Diacrisia taiwanensis Mats.



雌、前翅は黄白、少しく紅色を帯ぶ、斑紋は黒色、二列をなし、更に後縁の中央に近く一紋あり。後翅の横脈紋は黒色にして、大、亜外縁線の處に黒紋列あれども、第一、五、六室にて判然せり。腹部紅褐、黒紋列を装ふ。開張一寸五分。
分布—臺灣。

及び兩側紋は黒色。開張一寸。これは恒春にて捕獲せるが稀なるが如し。

分布 臺灣。

タイワンウスグロヒトリ

Diaeris usugrota Mats.

體翅暗黄褐色、紋は暗色。前翅の前角より後縁に向つて斜走せる紋列(後横線)は判然せざるも認め得べし、第五脈以上は脈の兩側に小紋を具へ、第四脈以下は棒状となり、後縁にて紋となり、後縁の紋列は第三、四、五室にて判然す。後翅の亜外縁紋列は第三、四室にて紋を缺き、第一室(1e)のもの最も大。腹背は紅色、背紋を缺き、側紋は黒色。開張一寸二分。これは埔里にて捕獲せるも稀なり。



分布 臺灣。

ワイルマンヒトリ

Diaeris wilmanni Kothsch.

體翅紅色、斑紋は黒色。前翅は紅褐色、横脈の後縁に一點あり、後横線は前半にて點列、中央に線及び中横線の四紋、後横線の八紋(中室外にて外曲す)、亜外縁線の六紋及び外縁の五紋は黒色、横脈紋は黒色にして、最大。後翅は前翅よりも少しく暗色を帯び、横脈紋は黒色。脛節及び跗節に黒紋あり。開張六分五厘。これは四月恒春にて捕獲せられたるが稀なり。



分布 臺灣。

フジヒトリ

Korela maerpoera Oberth.

體翅は灰白。前翅底は褐色、雌にては三條の横線となる、横脈上の弦月紋及び外縁に近き横紋列は黒色、後者外側の横紋は褐色、翅端は紫褐色、全面に紫褐色點紋を散在す。後翅は灰白。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。



分布 北海道、本州。

ホシホシヒトリ

第六 鱗翅目(蛾亞目)

て斜條、第一脈の處にて一點となり、尙、第一脈の中央にも一點あり。後翅に斑紋を缺く。開張一寸七分。これは臺灣に産するも稀なり。

分布 臺灣。

コマバシロコフガ

Dactyloptera stollata Willem.

體翅は白色、胸背は少しく暗色を帯ぶ。前翅の紋は暗色、中央に三角紋ありて、これに銀色鱗を散在す。後横線は一雙、後縁の間に一紋あり、亜外縁は淡色の脈にて遮断せられ、縁毛に暗色紋を列ぬ、外半に銀色鱗を散在す。後翅は暗灰色、中室白色。開張八分半。これは札幌地方に普通なり。



分布 北海道、本州。

附言 蛾蛾科は目下燈蛾科の一亞科となれり。

フタオヒソバ

Eugoa lapineta Wlk.

前翅は灰色、斑紋は黒色、後横線は廣く、前縁及び下端にて更に擴がり、縦線の處にて中脈に對して直角をなす。後翅は灰黄、末端は灰色。開張八分半。これは埔里にて捕獲せられたるが、稀なるが如し。

分布 臺灣。

リシリヒトリ

Elyptoria amba L.

リシリエンシス形 前翅は栗色、斑紋は黄色、中室を縦貫する一線は少しく暗色を帯ぶ。後翅は橙黄、斑紋は黒色。體は栗色、頸紋は黄色。開張一寸二分。これは初め北海道利尻島にて發見せられたり。



分布 北海道(利尻島、十勝)。

ヒメコマコケガ

Hypostoea junctifera Leach

體翅灰白。前翅の翅底紋、亜底線の二紋、前横線は橙黄色、前翅に於ける前縁中央の一紋は黒色。後翅は前翅よりも少しく淡色なり。觸角及び脚は暗色、脛節及び跗節に灰黄色の縦條あり。各腹面節に細き暗黒帯を裝ふ。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は地衣を食すものの如し。



分布 臺灣、支那、印度。

シロソバ

Lithosia degenerella Wlk.

體翅白色。前翅は少しく灰色を帯び、銀色の光澤を放ち、前縁の基部は細く暗色、縁毛は白色。後翅は白色、少しく赤味を帯ぶ。裏面、前翅は暗色、縁毛は白色。後翅は白色。後肢は暗色を帯ぶ。開張八分。これは朝鮮には稀ならず。



分布 本州、朝鮮、支那。

ムチホソバ (一六〇六)

Lithostia deplanata Espl.

雌、體翅橙黄。下唇鬚の末端並に觸角(基部を除き)は暗色。後翅は前翅より淡色。裏面の外縁は鉛色の光澤を帯ぶ。開張一寸一分。これは埔里地方にて捕獲せられたるが稀なるが如し。



分布 樺太、北海道、本州、アムール、歐洲。附言 キンタホソバに酷似するも、前後兩翅の表裏稍々同色なるを以て、容易に區別し得べし。

タイワンホソバ (一六〇九)

Lithostia formosicola Mats.

雌、體翅橙黄。下唇鬚の末端並に觸角(基部を除き)は暗色。後翅は前翅より淡色。裏面の外縁は鉛色の光澤を帯ぶ。開張一寸一分。これは埔里地方にて捕獲せられたるが稀なるが如し。



分布 臺灣。

ハラクロホソバ (一六〇八)

Lithostia fuscolobialis Mats.

翅は灰白、少しく黄色を帯ぶ。前翅は絹様の光澤を帯び、前縁の基部は暗灰色、縁毛は少しく淡色。後翅の外縁は廣く灰色、内縁及び縁毛は淡色。裏面は前翅暗色、前縁及び外縁(廣く)は黄色。後翅は黄色、前縁は暗色を帯ぶ。頭、胸は淡黄褐。腹部は暗色。開張一寸。これは福岡柳河地方に少なからず。



分布 九州。

キンタホソバ (一六〇九)

Lithostia griseola Hb.

ムチホソバに酷似すれども、その異なる所は、後翅は前翅よりも遙に淡色にして、稍々黄色、前翅の裏面は前縁及び外縁(廣く)を除き暗灰色。開張一寸一分。これは何れ地方にも普通なり。幼蟲は鮮苔を食す。



分布 日本全土、朝鮮、アムール、歐洲。

ハキホソバ (一六一〇)

Lithostia hakensis Mats.

雄、前翅灰白、少しく紫色を放ち、光澤を缺き、粉末にて蔽はれたるの觀あり、翅端は少しく黄色を帯ぶ、前縁の基部は暗色。後翅は前翅よりも淡色、外縁及び内縁は黄色を帯ぶ。裏面黄色、前縁及び脈は少しく暗色を帯ぶ。



雌は暗黄。前頭は暗色、頭頂及び頸板は橙黄色。脚は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸一分。これは熊本熊本にて捕獲せるが少なし。

ホリマヘキホソバ (一六一一)

Lithostia horishanella Mats.

前翅は暗色、前縁は暗黄、第十脈は小室の末端より出づ。後翅の脈は多く暗色。頭、頸板及び翅底鱗の基部は橙黄色。胸部は暗灰色。開張九分、これは埔里にて捕獲せられたるも少なし。



分布 臺灣。

マヘキホソバ (一六一二)

Lithostia japonica Leach.

體翅灰暗色。前翅の前縁は黄色、但し黄色部は翅端の方に次第に細まる。縁毛は黄色、基部暗色を帯ぶ。後翅は前翅よりも少しく淡色、縁毛は淡黄。裏面は表面と稍々同色、前翅前縁の外半及び縁毛は黄色。開張八分五厘。これは東京駒場地方に普通なり。



分布 本州。

カレンカウホソバ (一六一三)

Lithostia karenkouis Mats.

體翅は淡灰褐。觸角は長く、前翅の半以上に達す。前翅は細長、中室の基部に鱗毛を縱列し、その後方は深き溝をなし、全面に粉末を散布したるが如き觀を呈し、外縁は縮緬様の素地を有す、前縁及び外縁は少しく黄色を帯ぶ。後翅は少しく暗色を帯ぶ。表面、前翅は暗色を帯び、前縁及び外縁は黄色。下唇鬚の末端は暗色。開張一寸一分。これは花蓮港に

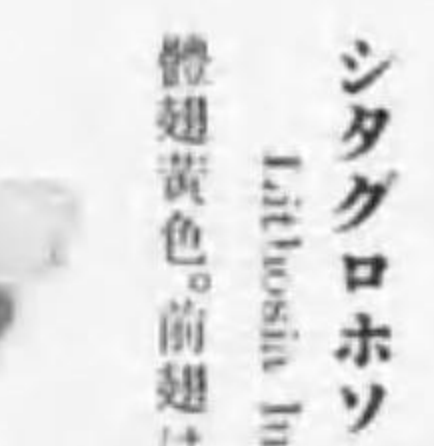


第六 鱗翅目(蛾亞目)

シタクロホソバ (一六一四)

Lithostia hirtella L.

體翅黄色。前翅は金光を放ち、少しく暗色を帯ぶ。外縁は淡色。後翅の前半は暗色、後半は淡色。裏面は兩翅とも暗色、前翅の外前縁、縁毛並に後翅の後半及び縁毛は黄色。頭及び腹基部は暗色。開張七分内外。これは北樺太に稀ならず。



分布 樺太、歐洲。

タイワンオホホソバ (一六一五)

Lithostia magna Mats.

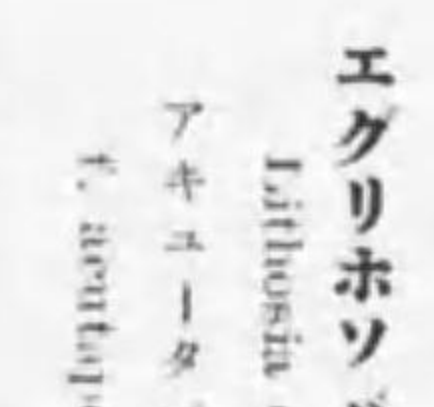
タイワンホソバに似れども、その異なる所は、體は大、前翅の裏面に三分の二は紫灰色を帯び、下唇鬚は末端にて暗色、前腿節、中後腿節の上半は暗色。開張一寸六分半。これは



エクリホソバ (一六一六)

Lithostia obliquiteria Hamp.

アキニータベツクス形。雄、體翅暗黄の基部は列られ、その部分に暗褐の半楕圓紋あり、前縁の中央は突出す、横脈紋はく字形を呈し、暗褐、中室は鱗毛を簇生し、後横線及び外縁は少しく暗色を帯び、縁毛は淡色。後翅は灰黄にして、翅端少しく暗色を帯ぶ。腹部は基部と末端を除き暗色。開張八分。これは阿里山にて捕獲せらるるが少なし。



分布 臺灣。

ヤマカタホソバ (一六一七)

Lithostia obliquens Feld.

雄、體翅灰黄。前翅の後横線は中央にて山高帽様の暗色紋を有するも餘り判然せず、縦脈は少しく褐色を帯ぶ。後翅



九六五

は淡灰黄、外縁及び横脈は褐色を帯ぶ。雌にては兩翅の脈及び外縁は翅と同色。開張一寸内外。これは埔里に稀ならず。

分布 臺灣、支那、印度。

アトモンホソバ

Lithosia posthumana Mats. (一六二八)

雌、前翅は灰褐、少しく紫色を帯ぶ、前縁は細く橙黄色。後翅は暗黄、翅底は淡色、中央に近く黒紋を具へ、縁毛の末端は淡色。觸角末端の三分の二は暗色。頭は橙黄。腹部は暗灰色、末端及び腹面は橙黄色。開張一寸弱。これはパイバラにて捕獲せられたるも少なし。

分布 臺灣。

オホテバリホソバ

Lithosia prothieranus Moore. (一六二九)

雌、前翅は暗黄、前縁の中央に稍々三角形の大突起を出し、その内側に一黒紋を具へ、その下方に黄色の一

縦條あり、後横線は暗色、横脈紋と相近接す、亞外縁線は廣く、波狀、外縁線及び縁毛は暗色。後翅淡黄。體は灰色、少しく紫褐色を帯ぶ。開張一寸一分。これは埔里地方に産するも少なし。

分布 臺灣、印度。

ウスクロホソバ

Lithosia pulchra Wilem. (一六三〇)

體翅は暗灰色、少しく緑色を帯ぶ。腹部と後翅は灰色。前翅に灰白の鱗毛を散在す、縁毛は灰色、絹光を放ち、基部は暗色。後翅第四室の縁毛は絹光を放つ。裏面灰色。開張一寸三分。これは埔里地方に普通なり。

分布 臺灣。

ランルンホソバ

Lithosia ruanrenensis Mats. (一六三一)

前翅灰褐、前縁は稍々端直、翅端前にて少しく弓狀に曲る、後縁は内縁に近く突起し、外縁にて少しく弓狀に突出す。後翅は前翅よりも淡



色、鱗毛は粗なり。開張九分。これは新高の途上に捕獲せられたるか稀なるが如し。

分布 臺灣。

ラトウヒメホソバ

Lithosia ratonilla Mats. (一六三二)

雌、前翅は灰白、翅端は暗色、第六、七、八脈は共通脈より出づ。後翅は前翅と同色、翅底にて淡色。腹部の末端は黄色。開張七分。これはライトウにて捕獲せられたるか稀なるが如し。

分布 臺灣。

ラトウホソバ

Lithosia ratonis Mats. (一六三三)

前翅は暗灰色、前縁淡灰黄、前縁の基半部は細く黒色、翅端に近く前縁に暗色紋を具へ、中室外の前縁に楕圓形の暗色紋を裝ふ。後翅は灰色、雌にては灰黄。頭部は灰白、前頭は暗色、腹端は黄色。開張八分一分。これはラトウにて発見せられたるか少なし。

分布 臺灣。

カラフトホソバ

Lithosia sachalinensis Mats. (一六三四)

前翅は灰色、少しく紫黄色を帯び、絹絲の光澤を有す、前縁の基部は細く暗色、翅底及び前縁の基部は灰白。後翅は灰黄白。體は後翅と同色。雄の抱握器は後端に鈎狀突起を有す。開張一寸。これは北樺太ルイコフにて捕獲せり。

分布 樺太。

サイトウホソバ

Lithosia satonis Mats. (一六三五)

前翅は赤褐、少しく金色を帯ぶ、前縁は翅端に向つて弓狀を呈し、縁毛は淡色、その基部は暗色、第六脈は中室の前角より出づ。後翅は淡灰黄、外縁は細く濃色。開張八分。これは二月下旬パイバラにて捕獲せられたるか、稀なるが如し。

分布 臺灣。

分布 臺灣。

サキホソバ

Lithosia saku Mats. (一六三六)

サイトウホソバに似れども、前翅は細長、裏面は表面と同色、下唇鬚は黄色、末端は暗色を帯びず、腹部の下面及び末端は橙黄色。開張九分。これは新高の途上タマホにて発見せられたり、稀なるが如し。

分布 臺灣。

フタモンホソバ

Lithosia sinensis Leach. (一六三七)

アサクラナ形。體翅灰黄褐。前翅前縁の基部に黒縱條を具へ、中央に二暗色紋ありて、一は横脈上、他は縱線の中央にあり、縦脈は褐色を帯ぶ。後翅は黄色。裏面、前翅前縁の外半及び翅端の三分の一を除き暗色、後翅は表面と同色、前縁少しく濃色。開張九分五厘。これは埔里にて捕獲せるも少なし。

分布 臺灣、支那。



雌、前翅は暗灰色、前縁の基半部は細く黒色、翅端に近く前縁に暗色紋を具へ、中室外の前縁に楕圓形の暗色紋を裝ふ。後翅は灰色、雌にては灰黄。頭部は灰白、前頭は暗色、腹端は黄色。開張八分一分。これはラトウにて発見せられたるか少なし。

分布 臺灣。

ラトウホソバ

Lithosia ratonis Mats. (一六三三)

前翅は暗灰色、前縁淡灰黄、前縁の基半部は細く黒色、翅端に近く前縁に暗色紋を具へ、中室外の前縁に楕圓形の暗色紋を裝ふ。後翅は灰色、雌にては灰黄。頭部は灰白、前頭は暗色、腹端は黄色。開張八分一分。これはラトウにて発見せられたるか少なし。

分布 臺灣。

ラトウホソバ

Lithosia ratonis Mats. (一六三三)

前翅は暗灰色、前縁淡灰黄、前縁の基半部は細く黒色、翅端に近く前縁に暗色紋を具へ、中室外の前縁に楕圓形の暗色紋を裝ふ。後翅は灰色、雌にては灰黄。頭部は灰白、前頭は暗色、腹端は黄色。開張八分一分。これはラトウにて発見せられたるか少なし。

分布 臺灣。

ヒロウトモンホソバ

Lithosia (Thysanopteryx) tetragona Wlk. (一六三八)

體翅は淡黄褐。前翅の二紋は天鵝絨様の黒色、前縁の末端並に縁毛は暗色。後翅の廣帯は暗色、少しく緑色を帯ぶ。前頭、胸背の中央、翅底鱗の内方及び前肢の前方は黒色。腹部は灰色、尾端の簇毛は黄色。開張一寸五分内外。これは臺灣にては少なからず。

分布 臺灣、支那、印度。

トンホソバ

Lithosia tonjonis Mats. (一六三九)

雌、タイワンホソバに似るもその異なる所は、體翅は灰黄、下唇鬚の初二節は暗色、前翅の脈に暗色部を有し、裏面の外縁に鉛色の光澤を缺く、後翅は淡色、生殖節は暗褐。開張一寸六分。これは新高途上のトンボにて發

見せられたるも稀なるが如し。

分布—臺灣。

テバリホソバ.....(一六三〇)

Lithosia tumida Wk.

バイバラシス形 ♀ 前翅は暗灰褐、前縁の中央は少しく



突出す、翅底は灰白、前縁突起の前方に黒紋を具へ、後横線の部分に褐色帯あり。後翅は淡黄、外縁少しく暗色。雌にては中室の後角に一黒点を有す。開張八分。これはバイバラにて発見せられたるも少なし。

分布—臺灣。

ウスグロホソバ.....(一六三二)

Lithosia usugurosis Mats.

ランレンホソバに似るも、前翅は灰黄色、前縁の外半は橙黄色、翅底及び縁



毛の末端は淡色。後翅は灰黄色、縁毛は淡色。體は暗色。腹端は黄色、腹面は橙黄色。開張九分。これは埔里地方にて捕獲せるが稀なるが如し。

タイワンマヘキホソバ.....(一六三三)

Lithosia yarua Wk.

頭、頸板、前翅の前縁、後翅及び翅底鱗の基部は黄色。前翅暗灰色、前縁の



黄色部は中央にて廣く、翅端にて細まる、縁毛は黄色。後翅は淡黄、外縁及び内縁は金色を放つ。開張九分。これは埔里にて捕獲せるも少なし。

分布—臺灣、支那、印度。

ヒメホシキホソバ.....(一六三三)

Lycene (Lithosia) thurua Moor.

體翅橙黄色、斑紋は黒色。前翅底の一紋、前横線の上の三紋、横脈上の一紋及び後横線の紋列(第二、三、五、七室にあるもの及び第一、四室にあるもの)は一直線上に



あり)は黒色。後翅は前翅よりも少しく淡色。開張七分五厘。これは沖繩に稀ならず。

分布—本州、九州、沖縄、印度。

ゴマタラヒトリ.....(一六三四)

Macrobrotis gigas Wk.

體翅は黒藍色。前翅の斑紋は白色。後翅底の大半は白色、



外半は黒色、これに數個の白紋を裝ふ。頭、前胸、中胸背の前縁、胸下及び腹面は橙黄色。腹面

の兩側に三角形の黒紋を縱列す。開張二寸三分内外。これは臺灣には少なし。

分布—臺灣、印度。

オホヘニヘリコケガ.....(一六三五)

Melipotis ventra Burt.

體翅は灰黄。前翅の前縁及び外縁は黄赤色、脈は



暗色。翅底紋及び後翅の第三乃至第七脈は暗色。中胸背に二個の暗色紋あり。

れども別格せず。開張一寸一分内外。これは種々に最も普通なる種類にして、幼蟲はトドマツの地衣を食す。

分布—日本全土、滿洲。

タイワンゴマダラコケガ.....(一六三六)

Mitochrista arcuata Moor.

雌、體翅は淡紅色。前翅底の一紋、前横線の五



紋、中横線、横脈紋、後横線の處にある七短縦線並に外縁の點列は黒色。後翅は少しく淡色、外翅及び翅端は濃色。翅底鱗の二紋は黒色。尾端は褐色。開張八分。これはバイバラ地方に稀ならず。

分布—臺灣。

ミスヂヘニコケガ.....(一六三七)

Mitochrista Asurida yuenjijeta Burt.

體翅淡紅色、少しく暗色を帯ぶ。前翅底の一



紋、前縁の兩端、波状の前横線及び後横線、横脈紋、中室外にて膝状をなせる後横線、外縁の八縦脈並に縁毛は黒色。後翅は前翅より少しく淡色、斑紋を缺く。肩部の一紋

第六 鱗 翅 目(蛾亞目)

は黒色。開張七分。これは阿甲山に稀ならず。

分布—本州、九州、臺灣、支那。

エツクスヘニコケガ.....(一六三八)

Mitochrista connexa Whinn.

體翅淡紅色。前翅底前縁の一紋、第六室基部の



二紋、横脈の一紋、亞外縁の七紋は黒色、前横線と後横線は合してX字形の黒紋を現はす、縁毛は暗色。後翅端の縁毛は暗灰色。翅底鱗の一紋は黒色。腹部暗色、兩端は淡色。開張七分。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

アミメヘニコケガ.....(一六三九)

Mitochrista convexa Whinn.

體翅紅色。前翅の前縁、外縁及び縁毛は暗褐、



縁毛は絹光を放つ、翅底の一紋、縫線基部の一紋、W字形の前横線、斜走せる中横線、横脈紋及び波状の後横線(縦脈の處にて黒線を横線より少しく淡色、翅端

の外縁は暗色、斜走せる中横線と前横線は暗色、前横線は點列より成り、中横線は少しく内方に斜走し、後横線は點列より成り、第三脈の處にて外方に曲る、亞外縁線の處にて縦脈は黒色、他の脈は黄色。後翅は淡紅色、翅底は更に淡色。頭胸は前翅と同色、黒點を散在す。腹部は後翅と同色。

分布—臺灣。

タイワンハガタヘニコケガ.....(一六四〇)

Mitochrista dentata Whinn.

體翅は淡紅色。前翅底の一紋、前縁、波状の前



横線、中横線、犬牙状の後横線及び外縁の縦脈は黒色、縁毛は暗色。後翅は前翅よりも少しく淡色。肩部の一紋は黒色。開張六分五厘。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

ゴマダラヘニコケガ.....(一六四一)

Mitochrista gratiosa Guér.

雌、體翅紅色。前翅の紋條は黒色、前横線は點

列より成り、中横線は少しく内方に斜走し、後横線は點列より成り、第三脈の處にて外方に曲る、亞外縁線の處にて縦脈は黒色、他の脈は黄色。後翅は淡紅色、翅底は更に淡色。頭胸は前翅と同色、黒點を散在す。腹部は後翅と同色。



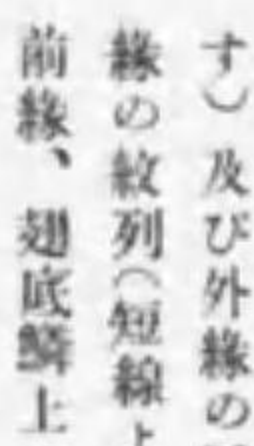
フスコソナータ形 *Mitohorista fuscovittata* Mats. (一六四二)
 開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は地衣を食とす。
分布 北海道、本州、四國九州、朝鮮、臺灣、支那、アムール、印度。
附言 この前翅の紋状には變化多し。

カレンカウシロコケガ *Mitohorista karenkensis* Mats. (一六四三)

雌、體翅白色、前翅は少しく黄色を帯び、前縁の基部、翅底の一紋、前横線の三紋、その外側の一斜帯(中室外にて少しく外曲す)、後横線(甚だ高き大牙状を呈す)及び外縁の脈線は黒色。後翅の中帯及び外縁の紋列(短線より成る)は黒色。頭頂、頸板の前縁、翅底鱗上の各一紋及び腹面(各節の後縁を除き)は黒色。開張一寸一分。これは花蓮港にて捕獲せるも少なし。
分布 臺灣。



オキナハベニコケガ *Mitohorista okinawana* Mats. (一六四四)
 體翅淡紅色。前翅は紅色、前縁の基部、く字形に外折する前横線、同様に内折せる中横線、これに直角をなせる前縁の斜線、大牙状をなせる後横線、第五及び第六脈上の一紋并に縁毛は黒色。後翅の外縁は地色より少しく濃色。脚に黒斑あり。開張六分五厘。これは沖縄に産するも稀なり。
分布 臺灣。



キベリコケガ *Mitohorista pallida* Brem. (一六四五)
 體翅白色。前翅の前縁及び外縁(廣く)は黄色、斑紋は黒色、亜外縁線の處にある紋列は弓状を呈し、横脈紋及び翅底紋は判然す。後翅は少しく暗色を帯び、外縁は黄色、縁毛は兩翅とも白色。開張七分五厘。これは水原にて捕獲せるが、少なからざるが如し。
分布 朝鮮、アムール。



カレンカウキコケガ *Mitohorista karenkensis* Mats. (一六四三)
 雌、體翅黄色、紋線は暗色。前翅底の一紋、前横線(三紋より成る)及び後横線(縫線及び中室にて遮断せらる)は判然す、外半の各室に各一縦條ありて、第七、八、九室のものは短かく、横脈上にも二短線あり。後翅は前翅よりも淡色、第六、七室に暗色の短線あり。縁毛は兩翅とも絹光を放つ。開張一寸。これは花蓮港にて捕獲せるが少なし。
分布 臺灣。

オキナハベニコケガ *Mitohorista okinawana* Mats. (一六四四)

雌、體翅淡紅色。前翅は紅色、前縁の基部、く字形に外折する前横線、同様に内折せる中横線、これに直角をなせる前縁の斜線、大牙状をなせる後横線、第五及び第六脈上の一紋并に縁毛は黒色。後翅の外縁は地色より少しく濃色。脚に黒斑あり。開張六分五厘。これは沖縄に産するも稀なり。
分布 臺灣。

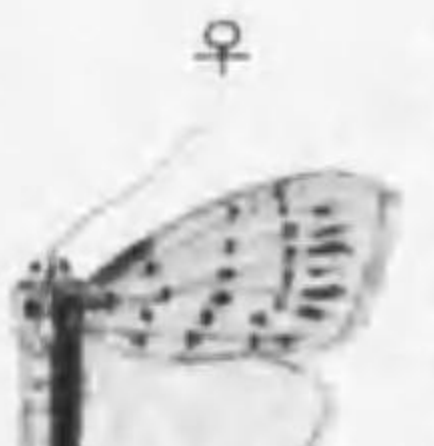


ゴマタラベニコケガ *Mitohorista pulchra* Bartl. (一六四六)
 前翅は黄色、紋線は黒色、前縁の六條は紅色。後翅及び體は淡紅色、斑紋は黒色。腹部は黄色にして、少しく赤味を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は蘚苔を食とす。
分布 北海道、本州、九州。



サツホロキコケガ *Mitohorista sapyronensis* Mats. (一六四七)

雌、體翅黄色、斑紋は黒色。前翅は橙黄色、翅底の三紋は三角形に排列し、前縁の基部は細く黒色、前横線の五紋は弓状に、中横線の七紋は一直線上に、後横線の九紋は弓状に排列す、亜外縁線上にある短線は黒色、第三脈及び第五脈上にあるもの最も長し。後翅は前翅よりも淡色、外縁は少しく濃色。頭頂、翅底鱗の各一紋并に胸背の二紋は黒色。開張一寸二分。これは札幌に産するも少なし。
分布 北海道。



タカムクコケガ *Mitohorista takamuki* Mats. (一六四八)

前翅は暗黄、紋線は暗色、翅底の一紋、前横線内側の四紋、前横線(外方に曲る)、中横線(少しく斜傾す)、後横線(前後の兩縁にて判然す)、外縁脈(廣く)及び前縁の基部は細く黒色。後翅は前翅より淡色、亜外縁線は暗色。開張七分半—八分。これは埔里にて發見せ



リンゴコケガ *Minerastris mandschurica* Obach. (一六四九)

體翅は灰白。前翅の前縁に暗色の三角形紋を具へ、その中に二、三の黒紋を裝ひ、少しく青白鱗を散在し、その外側に當り後縁に近く黄褐の一紋あり、後横線及び亜外縁線は暗色、少しく鉛色を帯び、何れも波状、外縁線及び縁毛は褐色、縁毛の中央に暗色線を貫く。後翅は暗灰色、前半には絹光を放つ、縁毛の基部は淡色。開張七分五厘内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は華樹の害蟲なり。
分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、アムール、ウスリ。



ヨスチコケガ *Miturna quadriflagra* Moor. (一六五〇)

體翅灰黄。前翅に暗色の二斜條ありて、前者は波状をな



キヨチホソバ *Nyasura gyochiana* Mats. (一六五一)

前翅は橙黄、前縁の基部紋及び前縁は細く暗褐色、前後の兩縁は濃色。後翅は淡黄、脈は濃色。體は橙黄、尾端は黒色。開張六分半。これは魚池地方にて捕獲せるが稀なるが如し。
分布 臺灣。



ヲクロホソバ *Nyasura nigripennis* Mats. (一六五二)

雌、前翅は黄褐色、翅底及び横脈紋は黒色、前者は二分す、縁毛は橙黄色。後翅は淡黄、半透明、縁毛は橙黄。雌は雄よりも淡色。腹部橙黄、



末端は暗色、但し雌には尾端に暗色毛を缺く。開張(雄)六分半、(雌)八分。これは埔里にて捕獲せられたるが少なし。

分布 臺灣。

アサクラホソバ *Neauroides asakuraii* Mats. (一六五七)

Neauroides asakuraii Mats.

前翅は黄色、外縁には暗色帯を缺き、第十脈は中室の前角より遠く離る。後翅は淡黄、半透明、光線の工合にて少しく紅色を帯ぶ。開張七分。これは埔里にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布 臺灣。

ルリモンヒトリモドキ *Neocleria dominia* Gram. (一六五四)

Neocleria dominia Gram.

體は橙黄色。前頭の兩側は白色。體の斑紋は黒色。前翅は灰白色、鉛色様の光澤を帯ぶ、翅底は黄色、二黒紋あり。脈、その周縁、中室及び第一脈下の縦條は白色、縁毛は灰色と白色の斑をなす。後翅は白色、横脈上の一紋は黒色、その上方の一紋は灰黄、外縁の紋列は黒藍色。開張二寸三分内外。これは臺灣に産するも稀なり。

ラチアータ形 *L. radiata* Mats.



分布 臺灣、印度。

トラガモドキ *Nitaea longipennis* Wk. (一六五五)

Nitaea longipennis Wk.

前翅は黒色、白紋を散在す、但し中横線及び後横線の線上にある紋列は大なり。後翅は橙黄色、翅底の二紋、中央の三紋、後角に近き二紋及び

外 此は阿里山にて捕獲せらるが、稀なるが如し。

分布 臺灣(阿里山)。

ツマブトホソバ *Nisula formosola* Mats. (一六五七)

Nisula formosola Mats.

雄、頭及び下唇鬚は暗褐、觸角は黄褐、末端は灰黄。前翅暗灰色、暗褐の鱗毛を散在す、縁毛は灰黄、基部は暗色。後翅灰黄、外縁線は褐色。開張一寸餘。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布 臺灣。

フンキホソバ *Nudaria pinkkonis* Mats. (一六五八)

Nudaria pinkkonis Mats.

前翅は灰白、半透明、斑紋は黄色、亞底線、前横線、後横線及び亞外縁線は波状、前横線は中脈の處にて外方に曲り、中室の中央には雄にては黄紋、雌にては黒紋を裝ひ、亞外縁線は四紋に分離す、翅端脈は黄色、前縁の基部は暗色。後翅は白色、半透明。開張六分



第六 鱗翅目(蛾亞目)

半七分。これは臺灣奮風湖畔にて發見せられたり。

分布 臺灣。

ランロンヒメホソバ *Nudaria ranruna* Mats. (一六五九)

Nudaria ranruna Mats.

前翅は白色、半透明、斑紋は淡褐なれども餘り判然せず、前横線は外曲し、中室にて不明、前縁にて一點となる、中脈の下方には暗色の不明紋あり、横脈紋は楕圓形、中横線は波状となり、後縁三分の二の處に開口し、前縁に於て褐色點に終る。亞外縁線はW字形をなす。後翅は半透明。開張五分半。これは臺灣人倫にて捕獲せられたるが稀なり。

分布 臺灣。

シラキホソバ *Nudaria shiraki* Mats. (一六六〇)

Nudaria shiraki Mats.

前翅は暗灰色、半透明、五白紋を裝ひ、その一は前縁の中央にありて大、前縁の末端にあるものは長形、他の三紋は外縁にあり、縁毛は白色、中央及び翅端に黒鱗毛を裝ふ。後翅は



翅端は廣く黒色、第六室の末端に近く白紋あり。頭胸は黒色、黄紋を裝ふ。腹部は橙黄色、黒紋を列ぬ。開張一寸七分。これは埔里地方に産するも稀なり。

分布 臺灣、支那、印度。

カラスヒトリ *Nikaoides arizana* Mats. (一六六一)

Nikaoides arizana Mats.

前翅は天鵝絨様の黒色、脈及び其兩側は黒縁色。後翅は紺色、前縁は増暗色。體は黒色。頭



頂の二紋、前胸、腹側及び脚の基部毛は紅色。前胸背及び腹側の斑紋は黒色。開張二寸七分内

前翅と同様、翅底の處に黄斑あり。これは奮風湖畔にて捕獲せられたるが稀なり。

分布 臺灣。

フタホシキコケガ *Nudina arfaxiina* Butl. (一六六一)

Nudina arfaxiina Butl.

體翅黄色。前翅の中室紋及び後横線部にある廣き帯は暗色、但し後者は前縁にて細まる。後翅は黄色、外縁は少しく濃色。前翅の裏面に暗色の一大紋あり。開張七分。これは京都にて捕獲せられたるも稀なり。

分布 本州、朝鮮、浦鹽。

アマガルモンシロモドキ *Nyctemoria angourensis* Mats. (一六六二)

Nyctemoria angourensis Mats.

前翅は暗色、白紋を散在す、翅底の二紋、下方のものは長楕圓形にして大、その外方に三小紋ありて、一斜線上に位す、中帯は斜傾し、内側に一紋を出す、その外側の前縁に一紋、



九七三

第五室の基部に一紋、外縁に二紋ありて、上方のものは稍々四角形。後翅は白色、肛角及び翅端の大紋は黒色、第六室に二白紋あり。體は淡黄。下唇鬚、頭頂の一點、頸板の一紋、翅底鱗の二紋等は黒色。腹部は灰白、尾端に二暗色紋あり。開張一寸二分。これは南洋アンゴールにて捕獲せられたり。



體は白色、頭及び前胸背は黄色、紋條は黒色。前翅は黒色、斑紋は白色。後翅は白色、外縁は黒色。開張一寸五分内外。これは表飛性にして、臺灣には普通なり。幼蟲はヨブスマサウの如

モンシロモドキ

Nyeonemia laetiflora Wk.

體翅は白色。前翅外縁の三分の二は黒色、これに白紋を裝ひ、外縁角の一紋は黒色、残りの紋條も赤黒色。頭は黄白、斑紋は黒色。腹部にも黒紋列あり。

ツグロモンシロモドキ

Nyeonemia ovata Wk.

翅は白色、斑紋は黒色。頭は暗色、前頭は黄色、一黒紋を裝ふ。體は橙黄色、紋條は黒色。脚は暗赤、縦條は灰白。開張一寸四分内外。これは臺灣に稀ならず、表飛性なり。

フトオビモンシロモドキ

Nyeonemia latistriga Wk.

コウトウシヨウニス形。雄、ミツボシモンシロモドキに酷似すれども、その異なる所は、前翅底に於ける白條は細く、外縁に白紋を缺き、縁毛は中央を除き白色、後翅の外縁に白紋を缺き、黒帯の内側に短かき齒状突起あり、縁毛は白色。腹背線は黒色、開張一寸五分内外。



色、頭及び胸は少しく黄色を帯び、斑紋は黒色。開張一寸六分内外。これは臺灣には稀ならず、表飛性なり。



雌、ミツボシモンシロモドキに酷似すれども、その異なる所は、前翅底に於ける白條は細く、外縁に白紋を缺き、縁毛は中央を除き白色、後翅の外縁に白紋を缺き、黒帯の内側に短かき齒状突起あり、縁毛は白色。腹背線は黒色、開張一寸五分内外。

シロハラモンシロモドキ

Nyeonemia sellecta Wk.

翅は暗色。前翅に數多の白紋を裝ひ、翅底の二點は黒色。後翅は白色、後縁に太き黒條あり。



開張一寸七分内外。これは表間飛翔性にして、廣く東洋に分布す。幼蟲はサハフグルマの如き菊科植物を食す。

ツマキモンシロモドキ

Nyeonemia lactiflora Gram.



色、頭及び胸は少しく黄色を帯び、斑紋は黒色。開張一寸六分内外。これは臺灣には稀ならず、表飛性なり。

キバラモンシロモドキ

Nyeonemia varians Wk.

前翅は暗色と白色と相半す、翅底は黄色、二黒紋を具へ、翅底の三分の一は暗色。其中央は白色、第二及び三室の二紋並に翅端は暗色。外縁の上方に一白紋あり。後翅は白色、外縁の紋列は暗色。體は黄色、斑紋は黒色。開張一寸五分内外。これも臺灣に普通なる種類にして、表飛性なり。



開張一寸五分内外。これも臺灣に普通なる種類にして、表飛性なり。

マヘグロホソバ

Oenistis nigricosta Jaech

前翅は灰色、絹様の光澤を帯び、縮縮様の素地をなす、前縁は黒色、外縁に至るに隨ひ細し。後翅は淡黄色、體と同色。裏面、前翅の末端は淡色。腹背に長毛を密生す。開張一寸三分。これは京都に産するも少なし。



は京都に産するも少なし。

ヨツボシホソバ

Oenistis quadra Ja.

雌の體翅は橙黄色、前翅の二紋は黒色、後翅は前翅よりも淡色、尾端に二褐色紋あり。雄の前翅は灰色、翅底は橙黄色、其上の前縁は黒線、後翅は黄色、前縁は灰色、頭は黒色、後頭及び



ふ。脚は白色、黒縦條を具ふ。開張一寸七分内外。これは表間飛翔性にして、臺灣にては普通

ミツボシモンシロモドキ

Nyeonemia tripunctaria Ja.

頭及び前胸は黄色、紋條は黒色。前翅は黒色、紋條は白色。後翅は白色、外縁は黒色、脈に沿ひ放線狀に黒線を内側より出し、第六室の外縁に白紋を裝

テウニス形 ♀
F. dives Burtl.



胸部は橙黄色、腹背は暗黄。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來する普通種にして、雌雄その色澤を異にするを以て別種なるが如し。幼蟲は地衣を食するも、時に松の葉を食す。

分布—北海道、支那。

ダイセツヒトリ……………(一六七三)

Orelenchus quenslii Payk.



ダイセツザナ形 ♀ 前翅は天鷲絨様の *F. daiseitsuzana* Mats. 黒色、外縁、翅脈に添へる縦帯、中室中央の一紋、横脈紋及び外縁に於けるR字形の大紋は黄色、縁毛は黄白。後翅は暗褐、外半に大なる黄紋ありて、その中に二

黒紋を列ぬ。體は黄色、黒紋を列ぬ。開張一寸三分。これは大雪山頂附近に産するも少なし。

分布—北海道。

モンヘリアカヒトリ……………(一六七四)

Parasemia phantaginis L.



體翅は黒色。前翅前縁の基部、前胸背、腹部及び尾毛は橙黄色、紋條は白色。後翅は白色、紋條及び外縁は黒色、種類に依り後翅の紅色なるものあり。前胸背の一紋は黒色。翅底縁の外側並に脚の一部は白色。腹側の紋列は黒色。開張一寸五分内外。これは地方的種類にして、高原地帯に多しと雖も、樺太にては平地に産す。幼蟲はオホバコ、マンテマの如き植物葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

ホシオヒコケガ……………(一六七五)

Parasema albaea Led.



オビコマコケガ……………(一六七九)

Parasema punctilinea Wlsm.



體翅暗灰色。前翅底前縁の一紋、前横線の二紋、中横線の三紋、後横線の廣帯及び亜外縁線は暗色、横脈紋及び外縁の紋列は黒色。後翅の横脈紋は暗色。開張一寸。これは阿里山に稀ならず。

分布—臺灣。

クロミヤクホソバ……………(一六八二)

Polosia noctic Burtl.



體翅は淡灰褐色。前翅の中央に黒色の點列ありて、中室の外方にて外方に彎曲す、脈は少しく濃色。開張九分。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、アムール。

アミメヒトリ……………(一六八三)

Pericallia galactina Hoew.

分布—樺太、北海道、本州、アムール、ウス

テウニス形 ♀
F. dives Burtl.



胸部は橙黄色、腹背は暗黄。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來する普通種にして、雌雄その色澤を異にするを以て別種なるが如し。幼蟲は地衣を食するも、時に松の葉を食す。

分布—北海道、支那。

ダイセツヒトリ……………(一六七三)

Orelenchus quenslii Payk.



ダイセツザナ形 ♀ 前翅は天鷲絨様の *F. daiseitsuzana* Mats. 黒色、外縁、翅脈に添へる縦帯、中室中央の一紋、横脈紋及び外縁に於けるR字形の大紋は黄色、縁毛は黄白。後翅は暗褐、外半に大なる黄紋ありて、その中に二

黒紋を列ぬ。體は黄色、黒紋を列ぬ。開張一寸三分。これは大雪山頂附近に産するも少なし。

分布—北海道。

モンヘリアカヒトリ……………(一六七四)

Parasemia phantaginis L.



體翅は黒色。前翅前縁の基部、前胸背、腹部及び尾毛は橙黄色、紋條は白色。後翅は白色、紋條及び外縁は黒色、種類に依り後翅の紅色なるものあり。前胸背の一紋は黒色。翅底縁の外側並に脚の一部は白色。腹側の紋列は黒色。開張一寸五分内外。これは地方的種類にして、高原地帯に多しと雖も、樺太にては平地に産す。幼蟲はオホバコ、マンテマの如き植物葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

ホシオヒコケガ……………(一六七五)

Parasema albaea Led.



オビコマコケガ……………(一六七九)

Parasema punctilinea Wlsm.



體翅暗灰色。前翅底前縁の一紋、前横線の二紋、中横線の三紋、後横線の廣帯及び亜外縁線は暗色、横脈紋及び外縁の紋列は黒色。後翅の横脈紋は暗色。開張一寸。これは阿里山に稀ならず。

分布—臺灣。

クロミヤクホソバ……………(一六八二)

Polosia noctic Burtl.



體翅は淡灰褐色。前翅の中央に黒色の點列ありて、中室の外方にて外方に彎曲す、脈は少しく濃色。開張九分。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、アムール。

アミメヒトリ……………(一六八三)

Pericallia galactina Hoew.

分布—樺太、北海道、本州、アムール、ウス

前翅は黄白、細目様の斑紋及び脈は黒褐、横脈及び第六脈の基部は黄白。後翅は黄白、斑紋は黒褐、前頭は黒褐、頭頂は淡紅色、胸背は白色、胸背の周圍は紅色、これに二黒紋あり。翅底鱗の二紋及び中胸背の中央は黒褐。腹部は紅色、紋列は黒色。開張二寸七分内外。これは臺灣には稀ならず。



分布—臺灣、支那、印度。

タテキスチトリ

Pericallia magna Wilem.



前翅は黒褐、前縁帯(前縁の外半は暗褐)、中室下に於けるく字形帯及び外縁の中央にある一紋は黄色、但し雄にありては横脈紋は暗褐。後翅は黄色、横脈紋、後角の二紋、翅端に近き三紋は暗褐。頭に紅毛あり。頸部に黒紋ありて、その後縁は紅色。腹部は白色。頭及び胸部は黒色、黄紋を裝ふ。腹部は橙黄色、各節に黒帯を列ね、腹面及び尾端は黒色。開張一寸内外。臺灣バイバラ近傍にて捕獲せるが稀なるが如し。

分布—臺灣、印度。

チャウサンヒトリ

Pericallia matronula L.

部は紅色、背面に黒紋を列ね。開張二寸三分—二寸五分。これは埔里地方に産すれども稀なるが如し。

分布—臺灣。

シロタテスチトリ

Pericallia integra Wlk.

前翅は黒色、翅底より前縁角に縦走せる紋列は白色、但し第一室の第二脈下にあるものは微小なり、縁毛は灰白。後翅は黄色、前縁及び外縁は黒色、翅端に近き三紋は暗褐。頭に紅毛あり。頸部に黒紋ありて、その後縁は紅色。腹部は白色。頭及び胸部は黒色、黄紋を裝ふ。腹部は橙黄色、各節に黒帯を列ね、腹面及び尾端は黒色。開張一寸内外。これは臺灣には稀ならず。

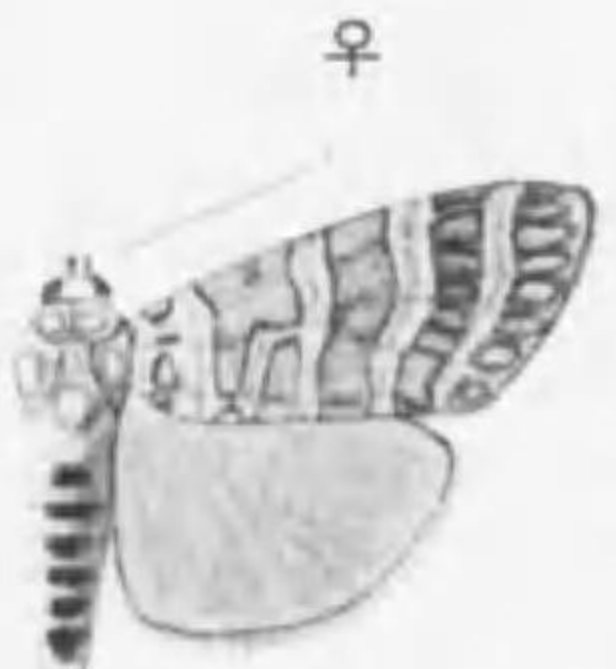


分布—臺灣、支那、印度。

黄色。後翅は橙黄色、斑紋は黒色。開張二寸七分内外。これは札幌定山溪地方に稀ならず。幼蟲はヤナギ、タンボボ、オホバコ、スイカヅラ、エゾワハミヅの如き諸種の植物を食す。

アカスチヒトリ

Pericallia picta Wlk.



前翅は灰色、條帯は灰白、其中央は紅色、兩側は黒色、脈の兩側は白帯の部分を除き大部暗色。後翅は紅色、前縁の二紋並に第一乃至第三室の小紋は暗色。頭は黄色、前頭は淡紅色。前胸背の二紋は暗色。翅底に同色の一環帯形紋を裝ふ。腹部は黄色、三黒紋列あり。開張一寸七分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。

分布—臺灣、支那。

アマヒトリ

Phragmatobia fuliginosa L.



體翅は紅褐。前翅横脈上の二紋は黒色、脈及び第一室の中央紋は暗色。後翅は淡紅色、斑紋は黒褐。腹背は基部を除き紅色。背及び腹側の縦紋列は黒色。開張一寸内外。これは札幌には餘り多からず。幼蟲は亞麻、其他蒲公英の如き雜草を食す。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

ツマグロスカシヒトリ

Alucagastria aspera Drury.

前翅は灰白、半透明、前縁、後縁、翅端(廣く)、横脈は暗色。後翅は半透明、灰白、翅端は暗



色。頭、胸は灰白、黒紋を散在す。腹背は朱色、兩側に黒紋を列ぬ。腹面は灰白。開張一寸七分。これは恒春地方に産すれども少なし。

分布—臺灣、印度、支那。

ゴマベニシタヒトリ

Rhyarata purpurata L.
t. atronaenulata Galy.



體翅は橙黄色。前翅の紋列は暗色。後翅は紅色、斑紋は黒色。開張一寸七分内外。これは稀なり。

カラフトキコケガ

Philea frerella Clark.

翅は橙黄色。體は黒色。顔黄色。頸板、翅底鱗及び尾端は橙黄色。前翅の前縁後縁濃色、前横線及び後横線の處に黒點列あるも、判然せず、前者には三個、後者には五個あるも、第二脈のもの

るが如し。幼蟲はオホバコ、ヤブムグラ、ノコギリサウ、ヨモギキダの如き種々の植物を食す。
分布 本州、支那、満洲、歐洲。

ホシベニシタヒトリ……………(一六九)

Rhyarctoides amurensis Bremer.

體翅は橙黄色。前翅前縁の二紋及び後縁中央の一紋は黒色、横脈下より後縁中央に向つて黄褐色の不明線を斜走す。後翅は紅色、斑紋は黒色、腹背及び腹側の紋列は黒色。開張一寸五分内外。これは何れの地方にも餘り多からず。幼蟲はタンポポの葉を食するが如し。



分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲。

コベニシタヒトリ……………(一六九)

Rhyarctoides

metakana Luth. 體翅は橙黄色。前翅中脈上の縦線は褐色、斑紋は黒色。後翅は紅色、斑紋は黒色。腹背及び腹側に黒紋を縦列す。開張一寸五分内外。これは何れの地方にも少なし。
分布 北海道、本州、琉球、朝鮮、支那、滿洲。

ベニシタヒトリ……………(一六九)

Rhyarctoides rubrus Luth.

體翅は黄橙色。前翅の斑紋は黄褐色。後翅は紅色、斑紋は黒色。腹背及び腹側には黒紋を縦列す。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はオホバコ、タンポポ其他の雜草を食す。
分布 北海道、本州、支那、朝鮮、滿洲。



オキナハベニシタヒトリ……………(一六九五)

Rhyarctoides okinawana Mats.

前翅は黄褐色、六個の判然せざる褐色紋を裝ふ。後翅は紅色、六黒紋ありて、第一紋は横脈上、其他の四紋は各室にありて、その内、翅端に近き二紋は小なり。これはコベニシタヒトリに似るも、翅細く、後翅の黒紋の稍々一直線上に配置せらるゝを以て、容易に區別し得べし。本種は沖繩に産するも少なきが如し。
分布 沖繩。



トビモンシロコブガ……………(一六六)

Koeselia albula Hb.

體翅白色、紋條は暗色、少しく銀色鱗を混ぜず。前翅の前横線は一双、これは前縁の一紋と合す、中央に太き一帯ありて、その内の後横線は黒色、波状、その外側は褐色線にて縁取らる、亞外縁線は三個のユカラより成り、前縁にて内折す、外縁線に紋列あり。後翅は白色、外縁線は暗色。開張五分。これは東京地方



方に稀ならず

分布 本州、九州、朝鮮、アムール、歐洲。

クロスチコブガ……………(一六九七)

Koeselia fumosa Hbst.

體翅暗灰色、紋條は暗色。前翅の底線は一双、前横線は弓状を呈し、中横線は中央にて前横線と相合し、縫線の中央にて黒色、後横線は波状、第五室の處にて深く外曲し、後縁の中央に開口す。亞外縁線は波状、縦脈の處にて淡色。後翅は暗灰色。開張七分。これは東京地方には稀ならず。幼蟲はカシハの葉を食す。



分布 本州、朝鮮、アムール。

オホコブガ……………(一六九八)

Koeselia gigantea Stgr.

體翅は灰色、紋條は黒色。前横線は波状にして、外曲し、第一脈の處にて内折す、その外側の中室に黒點を具へ、その外側の一圓は暗色、中央に一縦線あり、中横線は波状、前縁にて分支し、その外側に一紋



第六 鱗翅目(蛾亞目)

あり、後横線は第四室の處にて深く外曲し、後縁にて内曲す、後横線は波状、外縁線は暗色。後翅は暗灰色、横脈紋は暗色。開張八分。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

ミヤクホシコブガ……………(一六九九)

Koeselia punctivena W. Hens.

體翅暗灰色。前翅の斑紋は黒色、前縁基部に近く一點を具へ、前横線は中室及び縫線の處にて外方に前縁突起を出す、横脈内に一縦線を具へ、その直上の前縁に一紋あり、後横線は断續し、第二室の處にて外曲す、亞外縁線は波状、暗色、前縁にて點紋となる、中室に二瘤状突起あり。後翅は淡色、外縁少しく暗色を帯ぶ。下唇鬚は白色、下面は暗色。開張七分。これは霧社には稀ならず。
分布 臺灣。



イナヅマコブガ……………(一七〇〇)

Koeselia triangularis Loew.

體翅灰白。前翅の中央にある三角紋は暗色、その後縁及び外縁は黒色、後横線は波状、前半に



て判然す、亞外縁線は稍々後横線に平行し、前半にて紋状となる、外縁線は暗色、縦脈にて遮断せらる。後翅は暗灰色、横脈紋は暗色、絹光を放つ。開張一寸一分。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州、九州、臺灣。

バイハラホシソバ……………(一七〇一)

Siecia barbarana Mats.

前翅は灰色、外縁は少しく暗色を帯び、前縁の外半は灰黄、全面に黒紋を散在す。後翅は暗灰色、翅底は少しく淡色。開張六分。これはバイバラにて一月の下旬捕獲せられたるが稀なるが如し。
分布 臺灣。



オキナハゴマコケガ……………(一七〇二)

Siecia okinawana Mats.

體翅灰黄、少しく赤味を帯ぶ。前翅紋は黒色、前縁に六紋ありて、翅端の三紋は小形、横脈上に三紋ありて、後端のもの大、縫線上に二大紋を



具へ、外縁の直下にも一小紋を具へ、外縁に三紋を装ふ。後翅に暗色の後横線あれども、判然せず、外縁は少しく暗色。裏面の横脈紋は判然し、これを貫通せる後横線は稍々判然す。下唇鬚は暗色、末端部は白色。開張五分五厘。これは沖縄に産するも少なし。

分布 沖縄。

ゴマダラキコケガ (1707)

Zigantophora flava Brem. et Gray



雌、前翅は黄色。前翅の斑紋は黒色。開張一寸一分内外。幼蟲は草樹其他種々の樹に生ずる藓苔を以て食す。この種は本邦何れの地方にも普通なり。嗜んで燈火に飛來す。

分布 日本全土、朝鮮、滿洲。

テウセンゴマダラコケガ (1708)

Zigantophora niveans Brem. et Gray

雌翅は白色、少しく紅色を帯ぶ。斑紋は黒色、前横脈、後横脈及び外縁の部分に配列す。前翅の第五脈は中室の後角より出で、内縁脈は二個、外方にあるものは基部にて分支す。後翅に三個の内縁脈ありて、第八脈は短横脈によりて第七脈と相連絡し、抱刺は發達す。觸角は太く、中央にて肥大するもの、時に筒齒狀若くは鋸齒狀を呈するものあり。これは多く晝間飛翔す。幼蟲は體短かく、稍々紡錘形若くは圓柱形を呈し、突起より毛塊を生ず。本邦學名を有するもの約四十種あり。

斑蛾科 Zygaenidae

カレンカウウスバホタルガ (1709)

Agalope karenkonis Mats.

雄、前翅暗色、前中室に四個、後中室に一個、第一室(1a)には各四個(外端のもの長し)、(1a)には三個(外端は白條となる)、第二、三、四室に各一個、第五室に二個、第六、七、八室に各一個(何れも小にして、第八室にあるものは判然せず)、第十室に一個の白紋あり。後翅は白色、脈は灰色、外縁及び縁毛は暗色。體は暗色。頭及び頸は黄褐。胸側は光澤ある黒色。腹面には灰白毛多し。開張一寸七分。これは花蓮港にて捕獲せるが少なし。



ウスバホタルガ (1709)

Agalope hyalina Koll.



翅は灰白、半透明。前翅底の一紋は橙黄、中室の一紋及び下方の弓狀線外縁並に脈は暗色、第二、三及び七室の基部に灰白紋を装ふ。後翅の脈は淡色。體は暗色。開張一寸二分内外。臺灣にてはその數少なし。

分布 臺灣、支那、印度。



色と灰色の斑をなす。後翅は白色、外縁及び縁毛は黒色。頭及び前胸は黄色。腹部は白色、黒紋を装ふ。開張一寸内外。これは廣く東洋に分布する普通種なり。幼蟲は紫草科及び茄科の植物を食す。

分布 本州、臺灣、支那、馬來、印度、澳洲、阿弗利加、歐洲。

チビウスホソバ (1705)

Tigraohes dimidiata Mats.

雌、前翅は黄褐、前縁及び縁毛は少しく淡色。後翅は灰黄。腹部は黄褐、末端の半部は橙黄色。開張六分半。これはバイベラにて捕獲せられたるが稀なり。



分布 臺灣。

ベニゴマダラホソバ (1706)

Utetheesia pulchella Tr.

前翅は黄白、黒色と紅色の小斑紋を散在す、前縁及び第一室には黒色紋と紅色紋とを交互に排列し、中脈下、中室後角、第三並に六脈の赤紋は黒縁を有す、外縁の紋列は黒色、縁毛は暗



りに第九室に白紋を装ふ。後翅の脈は外縁の三分の一にて暗色、尚前縁の三脈も暗色。開張一寸一分。これは阿里山系のクヤニヤにて發見せられたるが稀なり。

分布 臺灣。

キホシルリニシキ (1710)

Amesia sanguinea Drury

體翅は黒藍色。前翅は濃色、翅底の三、四紋及



前縁三分の一の處の一紋は淡藍色、翅底に近き六紋は橙黄、外縁脈の三分の二及び其周縁は紫褐色、中室及び第一室の横紋は紫褐色、殘部の斑紋は白色。後翅は瑠璃色、斑紋及び外縁は黒藍色。開張二寸九分内外。これは臺灣にては多からず。

分布—臺灣、印度。

タケホソクロバ *Artoma funeralis* Butl. (一七二)

體翅暗色。腹部は少しく紫色を帯ぶ。前翅は細く、暗色鱗を密布す。



後翅は小にして、中央は灰色、半透明。雄の觸角は甚だしく羽狀を呈す。開張六分五厘。

この幼蟲は黄褐、竹の葉を食す。晝間飛翔し、夜間は燈火に飛來せず。何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州。

キスチホソマダラガ *Artoma gracilis* Wlk. (一七三)

前翅は黒色、黄色の五紋ありて、前列の三紋の

内中央にあるものは細長、翅端にあるものも長し。後翅は透明、周縁及び脈は黒色。體は蠟物性の青色。



觸角は雄にては櫛齒狀、雌にては糸狀、一縱溝を有す。開張八分。これは何れの地方にも普通なり。晝飛行にして、主として繖形科植物の花上に多し。幼蟲は竹の葉を食するもの如し。

分布—北海道、本州、四國。

ヤホシホソマダラガ *Artoma octomaenulata* Brem. (一七四)

エーゲリオイデス形。前種に酷似する

F. neogrioides Wlk. も、前翅に四個の黄紋を具へ、外方の二紋は圓形に近く、觸角は末端の前方にて白色なるによりて區別せらる。



開張七分。これは稀なり。

分布—本州、朝鮮、支那。

キゴマダラガ *Artoma walkeeri* Moor. (一七五)

翅は黒色。前翅の基部に一個、中央に三個、外縁に近く二個の黄紋あり、縁毛は黄色。後翅底

ハイナリーニ形。♀ *L. taiwanii* Butl.

に大形の黄紋ありて、その後縁にて少しく刻らる、前縁には淡黄紋ありて、中央紋に連絡す。腹部は黒色、各節に黄帯あり、尾端は末端を除き黒色。開張七分—八分。これは埔里に稀ならず。

分布—臺灣、印度。

ルリモンマダラガ *Chalca nigroviridis* Ehw. (一七五)

♀ *F. formosana* Strand

前翅は黒色、環状の二紋、これを連絡する前縁の一條及び翅底の二縱條は青綠色。後翅は暗色、第一脈に沿ひ青綠色の條あれども、判然せず。裏面前翅中央の一縱條及び後翅の大部は青綠色。體は綠色、腹部は黒色。開張七分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。



分布—臺灣、印度。

クビジロマダラガ *Chalcaochia atelata* Dh. (一七六)

♀ *F. formosana* Strand

♀ *F. formosana* Strand



翅、翅は黒色、少しく藍色を帯び、紋條は黄色。前翅三分の二の處にある縱條は後方に至るに隨ひ長く、中脈下及びその下方の一條は弓狀に曲り、中室外に六紋ありて、第二、三、四、五、六、八室には各一紋を具へ、尙、外縁に近く各室に一紋ありて、第七、八、九室のもの長く、第二、三室のものは小なり。後翅紋も稍々前翅紋に似る。前頸板は白色、内縁は藍色を帯ぶ。稜狀部、胸背及び各腹節の帯は白色。開張二寸三分。これは九月南投にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

シロオヒホタルガ *Chalcosia formosana* Mats. (一七七)

翅は暗黒、縱脈の基部及び後翅の内縁は藍色を帯ぶ。前翅中央の紋帶は白色、第四及び第九室の小紋は白色。



後翅の中央は淡色。體は青藍色、頭及び觸角は瑠璃色、頭はウにて捕獲せるが稀なり。

分布—臺灣。

ルリモンホタルガ *Chalcosia argentata* Moor. (一七八)



翅は白色。前翅の二帯は黒色、外縁、前縁基部の三分の一、後翅の一條、内帯の内側及び黒帯上の脈は青藍色、翅端及び縁

毛は黒色。後翅は黄色、帯は黒色。此帯の脈及び外縁は青藍色。體は青藍色。開張一寸八分内外。これは沖繩及び臺灣に少なからず。

分布—沖繩、臺灣、支那、印度。

シロシタホタルガ *Chalcosia remota* Wlk. (一七九)

♀ *Chalcosia remota* Wlk.



前翅は黒色、脈は少しく藍色を帯び、中央の斜帶は白色。後翅は黄白、外縁は廣く黒色、第一脈の中央に暗色紋を具ふ。體は黒藍色。頭頂及び頭は紅色。腹部は瑠璃色。開張一寸七分内外。これは北海道に少しと雖ども、中國地方には普通なり。幼蟲は紅色紋を裝ひ美麗なり。幼蟲はサハフタギの葉を食す。

分布—日本全土。

オホルリモンホタルガ *Chalcosia remota* Wlk. (一七九)

Chalcostis sulfusa Jaech
タイプアーナ形 〇 翅は白色、少しく黄色を帯ぶ。前翅前縁の基部は紫色、中央の二紋は暗青色、中室底は暗青色、翅端は廣く黒色、その脈は青色、第三乃至第八室に白紋を具へ、第五室



のものは微小若くは缺如せり。後翅の外縁は青色、第二乃至六室に黒紋あり。頭及び頸は紅色。胸及び腹基部は青色、腹部は灰緑。開張二寸二分内外。これは臺灣にては餘り多からず。

分布—臺灣、支那、印度、

ヤハヤマルリホタルガ……………(一七三)

Chalcostis yayayannana Mats.

雌、前翅は白色、脈は青色、外縁の四分の一にて黒色、第五、六の兩室に長白紋を具へ、後縁は白色、極端にては黒色、少しく青色を帯ぶ。後翅は白色、少しく黄色を帯び、前縁に近く及

節を除き暗褐、腹節及び基節は灰白、銀色の光澤を帯ぶ。開張二寸六分内外。これは沖繩には稀ならず。

分布—沖繩、支那。

サツマニシキ……………(一七四)

Erasmia sangata Moor.

體翅は青藍色。前翅は黒藍色、三分の一の處にある斜條は柿色、其外方の斜條は青色及び黄



白、黄白紋の周縁は青色、横脈上及び第四室に白紋あり。後翅底及び外縁は黒藍色、中室の中央紋は淡褐、其他の斑紋は黄白。開張二寸七分

第六 鱗翅 目(蛾亞目)



分布—沖繩。

ウスハツハメガ……………(一七三)

Ersamia westwoodi Volk.

翅は灰白、脈及び翅端は暗色。前翅底は橙黄色、其兩側は暗色、後縁は少しく黄色を帯ぶ。



内外。これは鹿兒島地方に産するも稀なり。沖繩には少なからず。

分布—九州、沖繩、支那。

キオビルリチラシ……………(一七五)

Erasmiaphelobecta picturata Wilms.

體翅は黒藍色、前翅基部に近き帯は橙黄、其外側の一帯は瑠璃色、中央は廣く黄白、横脈上の



一紋は黄白、翅端脈は藍色。後翅は白黄、外縁の三分の一は黒藍色、其紋内の脈及び兩側は藍色。頭灰白。開張二寸内外。これは埔里地方に産するも稀なるが如し。

分布—臺灣。

オキナハルリチラシ……………(一七六)

Erasmia aedea L.

體翅は黒縁、前翅底の一紋及び中央の五紋は橙黄、外縁の紋列は白色。後翅は橙黄、翅底は黒

後翅の尾様突起は暗色。體は暗色、腹部に灰白の細鱗を密布し、尾節は黄色。開張二寸内外。中國にては稀ならず。若間飛翔す。幼蟲は長刺を裝ひ、桃及び李の葉を食害す。

分布—本州、朝鮮、支那。

シロシタサツマニシキ……………(一七三)

Erasmia talchella Hope.

サツマニシキに酷似すれども、白紋及び黄紋の周圍にある青縁部は少なく、外縁は黒色、後翅



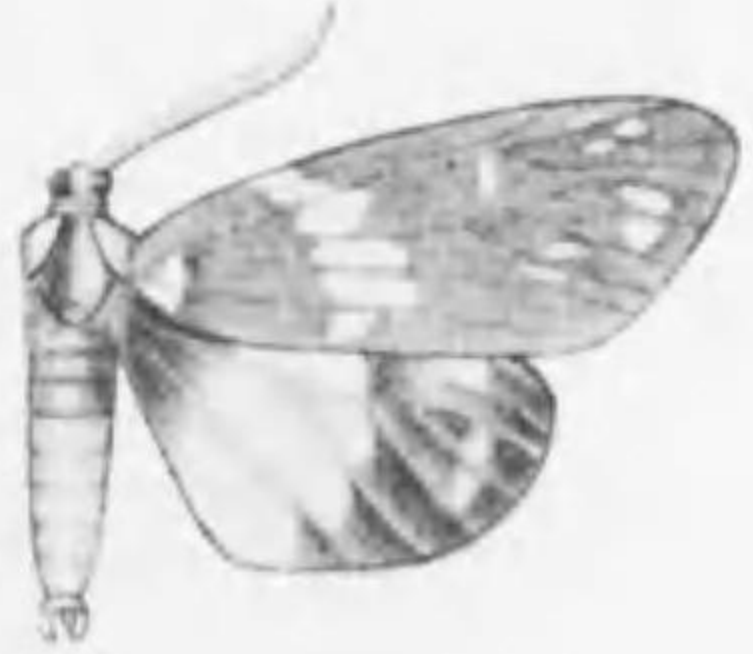
の大部分は白色にして、外縁は黒色、その内縁並に翅底は青縁色、腹部は淡青、雌にては第一

スギタニシキ……………(一七三)

Erasmia talchella Hope.

色、外縁は廣く瑠璃色。開張一寸内外。これは沖繩及び臺灣にては多からず。

分布—沖繩、臺灣、支那、馬來、印度。



オキナワリーナ形—原種と異なる所は、前翅は藍色、後翅外縁部の藍色部の少なきにある。

分布—沖繩。

オキナワリーナ形 〇 サカダチー形 〇
E. okinawana Mats. *E. sakaguchii* Mats.



九八七

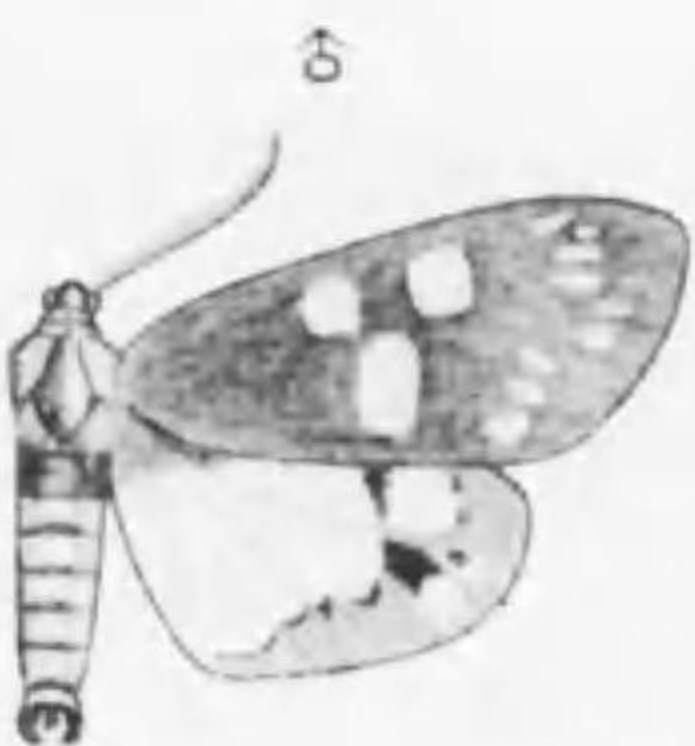
サカグチー形。オキナワリーナ形と異なる所は、前翅中室紋の両側に黒藍色を具へ、後翅の第三室及び中室端に黒紋を有するにあり。

分布 沖縄。

タイワンルリチラシ……………(一七三七)

Eburnia formosiba Strand

體翅黒褐。前翅底の一紋及び中央の三紋は橙黄色。スルフレア形 *f. sulphurea* Mats.



外縁に約十個の白紋を横列す。後翅は白色若くは黄色、中室の横紋、第一、二、三及び五室の中央紋は黒藍色、尚、第三及び四室に黄紋あり、外縁は廣く瑠璃色。開張九分—一寸一分。幼蟲は褐色、一見刺蛾の幼蟲に似たり。茶の葉を食す。臺灣に普通なり。

分布 臺灣。附言—スルフレア形にては、後翅白色の代りに黄色を呈するにあり。リウキウアーナ形 *f. riukiuana* Mats.

分布 沖縄。

タイワンスカシクロバ……………(一七三八)

Euphascusa taikozana Mats.



前翅は透明、少しく暗色鱗を裝ひ、脈の後縁、外縁、翅端(廣く)は黒藍色。後翅は暗色、第一、二、三、四及び五室の下半は透明、後及び四室に黄紋を具へ、外縁の廣く瑠璃色なるにあり。

分布 沖縄。

アヲハタウスバ……………(一七三九)

Milbertia taeniana Strand



三分の二は淡色、各室の縦條は濃色。後翅は美麗の瑠璃色、内縁は藍色。前頭の一、前胸の前縁、中胸背、前縁及び後縁の各紋は紅色。脚は黒色。開張二寸六分内外。これは蓋飛性にして、臺灣には稀なり。

縁及び外縁は細く黒色。口吻は黄色。頭、胸は紫褐色。腹部と胸面は青緑鱗を裝ふ。開張七分半。これは臺灣大嶽科にて發見せられたるが稀なり。

分布 臺灣。

ヲナシクロツバメガ……………(一七三九)

Gynantocera papilionaria Guér.

體翅は黒色。前翅底の三分の一は濃色、末端の



て、臺灣には稀なり。

分布 臺灣、支那、印度。

クロツバメガ……………(一七四〇)

Histia rhodope Grun.

體翅は暗黒。前翅底の大半及び各室中央の縦條は濃色。後翅は青藍色、末端の三分の一は黒。ニグリメス形 *f. nigricans* Guér.



色、前頭、胸背の中央紋、中胸背の二紋、腹部及び體下は紅色。腹部に黒紋の五縱列を具へ、第一腹背節は黒色にして、二紅色點を裝ふ。開張二寸五分内外。これは臺灣及び沖縄に稀ならず。幼蟲はアカギの葉を食す。

第六 鱗翅目(蛾亞目)

分布 沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

テウセンスカシクロバ……………(一七三一)

Milbertia coreana Mats.



雌、前翅は半透明、白色、末端の方は少しく紅色を帯び、翅底は黄色を放つ、周圍、縁毛、脈横脈紋、中室の一紋、中室外の一短線等は暗色。後翅は前翅と同色、縁毛、周圍及び脈は暗色。體は青綠色を帯ぶ。開張八分半。これは朝鮮水原にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布 朝鮮。

ホリシヤクロウスバ……………(一七三三)

Milbertia hoerishana Mats.



雌、前翅は半透明、暗色を帯び、第二と三脈は基部にて廣く、末端にて細まる、横脈は第五、第六脈の間に開口す。後翅は前縁の基半部に黒色、殘部は透明。開張一寸。これは埔里にて捕獲せるが稀なるが如し。

分布 臺灣。

アヲハタウスバ……………(一七三九)

Milbertia taeniana Strand



翅は透明。前翅の基部及び後縁に金屬性の青綠色部を具へ、前縁、外縁、脈及び横脈紋は黒色。後翅の脈、外縁、後縁並に脈は黒色、第一脈(1c)の末端内側に三角形の黒紋あり。體は青綠色。脚は黒色。口吻は黄色。これは臺北にて捕獲せるが少なし。

分布 臺灣。

リンゴクロウスバ……………(一七三四)

Milbertia pruni Dyar



體翅は暗色。翅は半透明、脈は暗色。これは體に青藍色を帯びざれば他と區別すること容易なり。開張八分—九分。幼蟲は黄緑、黒紋を裝ひ、華樹の葉を捲き食す。これをホシハマキと云ふ。東北地方に多し。

分布 北海道、本州。

マサキスカシクロバ……………(一七三五)

Ilberis tenuis Fall.

翅は透明、周縁及び脈は暗色。前翅底は少しく藍色を帯ぶ。後翅の前縁は暗色。體は灰藍色。觸角及び各腹節の後縁は黒藍色。開張九分内外。これは地方的の斑蛾にして、時に大發生することあり。幼蟲はマサキ及びブゲウの葉を食す。



分布—日本全土、朝鮮、滿洲、印度。

クビワクロバ *Kubia rubrifolia* Mats. (一七三六)

前翅は暗灰色、中央に一暗色紋を具へ、縁毛は少しく濃色。後翅は前翅よりも淡色。觸角は紫褐色、羽枝の末端半部は黄色(末端の三分の一を除き)。體は灰褐色。頭は紅色。脚は灰黄。開張七分。これは埔里地方に産するも少きが如し。



分布—臺灣。

エゾミノカ *Neojaperia japonicus* Matu. (一七三七)

分布—臺灣、支那。

ベニウスバ *Phaenida peniti* Leech (一七四一)

體翅は朱色。前翅の縁毛は暗色。後翅底は透明、外縁の小半は黒色、縁毛は暗色。觸角は黒色、末端の外側は灰白。前頭は暗色。後胸は少しく暗色を帯ぶ。腹部は暗色、兩側の基部は赤黄、末端に黄毛を裝ふ。開張一寸内外。これも晝飛行にして、餘り多からず。



分布—臺灣、支那。

ツマグロベニウスバ *Phaenida trichoma* Wk. (一七四二)

體翅は朱色。前翅の楕圓紋は暗色、翅端の縁毛は灰白。後翅の後縁は暗色。觸角は暗色、末端の外側は灰白。腹部の末端は黒色、灰白毛を混じ、



第六 鱗翅目(蛾亞目)

頭、胸は黒色。觸角は暗褐色。頭及び頸板に暗褐色を裝ひ、翅底鱗は黄色。翅はミノウスバに酷似す。腹部は淡灰黄、六條の暗色線を具へ、黒紋を散在し、各節の前半に金色毛を裝ひ、尾端に二本の毛束あり。開張七分半。これは晝間飛行す。札幌には稀ならず。



分布—北海道。

アリスカシクロバ *Phaeusa arizana* Mats. (一七三八)

雌、前翅は透明、脈及び周縁は黒藍色、翅端は廣く黒色、翅底に金色紋を具へ、亞前脈及び後縁には金色毛を有す、縁毛は紫色を帯ぶ。後翅は透明、周縁は黒藍色。口吻は淡黄。體は黒藍色。頭頂及び胸は黄色。腹部の末端、腹面及び脚は黒藍色。開張一寸。これは阿里山にて捕獲せるも少なし。



分布—臺灣。

キハラルリマダラガ *Parosoma annulissima* Strand (一七四三)

前翅に筆線の長き暗色帯ありて、其末端は灰白。開張一寸二分内外。これは臺灣の高原地帯に産すれども少なし。晝飛行なり。



分布—臺灣。

ルリマダラガ *Parosoma hyalina* Leech (一七四四)

前翅は黒色、斑紋は透明、光線の工合にて少



キンスカシクロバ *Phaeusa alba* Leech (一七四九)

體は光澤ある紺色。前翅は透明、前縁及び脈は黒色、後縁は暗灰色、翅底に金光ある紺色紋を裝ふ。後翅は透明、周縁は黒色。腹部は黒紫色、少しく紺色を帯ぶ。開張一寸一分。これは臺灣に産するも餘り多からず。



分布—臺灣、支那。

オホキンスカシクロバ *Phaeusa transalpea* Touj. (一七五〇)

翅は透明。前翅の基部、前縁の三分の一及び内縁は銅色、前縁の残部、外縁、後縁、横脈上の一紋並に脈は黒色、少しく紺色を帯ぶ。後翅の周縁は黒色。體は暗色。前頭、翅底鱗、中胸背、胸側並に各腹節の後縁は銅色、尾端に光澤ある灰色毛を密生す。開張一寸三分内外。これは臺灣にては多か



ヒメホタルガ *Pidorus euehromioides* Wk. (一七五五)

雌、青藍色。頭は紅色。翅は黒色、帯は黄色、但し後翅の帯は白味勝ちにして、稍々V字形を呈せり。開張九分五厘。これは朝鮮に産するも少なし。



分布—朝鮮、支那。

チビホタルガ *Pidorus gemina* Wk. (一七五六)

雌、體翅黒色。前翅の斜帯は硫黄色、前縁に達すれども、後角には達せず。後翅に斑紋を缺き、翅端の縁毛は黄色。頭は紅色。胸側は黒藍色を帯ぶ。開張九分五厘。これは九月下旬菅原にて捕獲せるが稀な



り。

分布 臺灣、支那、印度。

ホタルガ

Idornis glaucopsis Drury (1797)

アットラックス形 雌 體翅は黒色。前翅の外縁に近き一帯は白色。頭及び觸角は黒藍色。頭頂及頭は紅色。腹側及び腹面、胸下及び脚は黒綠色。開張一寸九分内外。これは中國地方には多からず。幼蟲はヒサカキ、サカキの如き植物を食す。



分布 本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、印度。

ミノウスバ

Pteris shirata Moor. (1748)

觸角、頭及び胸は黒褐色。胸背の兩側及び腹部に

キホシホタルガ

Soritia leptalina Koll. (1750)

體翅は黒褐色。前翅の紋條は橙黄色。後翅中央は



ベニホタルガ

Rhodopsana marginata Wllem. (Fornosana Mats.) (1799)

體翅は朱色。前翅の前角、外縁、後縁及び後翅の



周囲は黒色。後翅の前縁は淡朱色、其下方に黒色の一縦條あり。體は暗色。頭及び胸は少しく藍色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは臺灣固有の種類なるが多からず。分布 臺灣。

ベニモンマダラガ

Zygana nippona Butler. (1791)



體翅は淡き緑藍色、鋭色様の光澤あり。前翅に三双の紅色紋を裝ふ。後翅は淡紅色、周縁は緑藍色。

鹿子蛾科

Synonymidae

開張一寸内外。これは信州近分地方に稀ならず。幼蟲は未だ判然せず、歐洲の同類のものと同様に恐らく首蓇を食するものなるべし。分布 本州、滿洲。

これは斑蛾に酷似すれども、前翅の内縁脈は一個、其基部は分支す、第五脈は中室の後角より出で、後翅の第八脈は退化す。蛾は黄昏もしくは晝間飛翔す。幼蟲は疣狀突起より短毛を簇生し、兩端には長毛あり。本邦學名を有するもの二十數種あり。農作物に有害なるものなし。

ヒメクシヒゲカノコ

Eressa catena Wllem. (1755)

雌、前翅は黒色、中室の方形紋、第一室の長紋、第二室の楕圓紋、第三、四、五、六室の各一紋等は白色、半透明。後翅は白色、半透明。周囲は黒色、第一室の末端に第二脈に接して方形の一黒紋あり。觸角は鋸齒狀、末端は白色、但し雄にては櫛齒狀。頭は黒色。胸背、腹背の紋列、腹面帯及び尾端は黄色。開張八分五厘内外。これは埔里地方に稀ならず。分布 臺灣。



雄の體翅は黒色。前翅の基部及び横脈上の二紋は金綠色、第一室の基部點、中室中央の一紋、その直下の一紋並に後横線上の三紋は白色、透明、少しく藍色を帯ぶ。後翅の底紋及び中央は



前翅同様、中室に金縁の細き一斜紋あり。頭頂、頸板、翅底鱗の縦條及び腹背の二節は金縁色、残腹節は紅色。後胸背は白色。前頭及び基節は雪白。開張一寸五分。これは南洋パラウにて捕獲せるが少なからざるが如し。

分布—南洋、印度、澳洲。

ベニカノコ

Eucheonata polymena L.

フォルモサーナ形。前翅は黒色。前翅に七個の橙黄紋あり。翅底及び横脈上の一紋は瑠璃色。後翅に五橙黄紋を裝ふ。前頭、眼の後方、肩部、胸側の三紋、第一及び第三腹節の側



紋は白色。前胸背、第一腹背節、第四、五、六腹節の全部は紅色、第二、三腹節及び尾端紋は瑠璃色。開張一寸五分内外。これは鹿子蛾中最も美麗なるものにして、臺灣の高原地に稀ならず。臺灣性なり。

分布—臺灣、支那、印度。

オホカノコ

Synthonis diehoni L.



體翅は黒色。兩翅の斑紋は透明。後翅の内縁黄色。體は天鵝絨様の黒色にして、光澤を帯ぶ。開張一寸七分内外。これは本邦最大の鹿子蛾にして、臺灣に稀ならず。

分布—臺灣、支那。

ツマジロカノコ

Synthonis flavo Wlham.



體翅は黒色。前翅の翅底に一個、中央に二個、外縁に近く四個の白色紋ありて、後者の前縁に近きものは小なり。前翅裏面の末端には雄にては白紋、雌にては黄紋あり。後翅に一紋ありて、これは中央の下方にて深く刻れる。兩翅基部に

黄色部あり。前頭の一紋、胸背(中央の一紋は黒色)及び各腹節の帯は橙黄色。開張一寸四分。これは臺北にて捕獲せられたるが多からず。

分布—臺灣、印度。

タイワンカノコ

Synthonis formosae Butl.



體翅は黒色、斑紋は透明。後翅の周縁は黒色。前胸背、後胸の一帯及び各腹節の一帯は橙黄色。尾端は黒色。開張一寸内外。この種は頭の全部黒色なるに依りてタイワンカノコと容易に區別し得べし。餘り多からざるが如し。

分布—臺灣。

ナミカノコ(カノコガ)

Synthonis fortunei del'Orza



全體黒色。翅の斑紋透明。腹基部及び第五節に黄帯を裝ひ、第二及び第三腹節の兩側並に

胸側に黄紋あり。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも普通にして、その性差鈍なり。幼蟲はタンポポ、スカンボの葉を食するも、稀に華樹の葉を食することあり。

分布—日本全土、朝鮮。

ゲンザンカノコ

Synthonis genzana Mats.



前翅は廣く、透翅紋は大、前縁及び後縁は灰色、横紋は内方にて截斷狀に終り、後縁角紋は大、翅端に近き紋は短かく、後翅端の黒色部の一層廣きにあり。これは朝鮮に産するも少し。

分布—朝鮮。

キハダカノコ

Synthonis germana Feld.

前翅は黒褐、翅底は橙黄、五個の透明紋を具ふ。後翅は透明、外縁は黒褐。體は橙黄。前頭

第六 鱗翅 日(蛾亞目)

は黄白。頭頂、前胸背、翅底鱗及び尾端は暗色。開張一寸一分内外。これは本邦に普通通なる種類なれども、北海道に産せず。幼蟲はシロタエギクの如き

分布—本州、四國、九州、臺灣。

ヒラヤマカノコ

Synthonis hirayamae Mats.



雌、キンツカノコに酷似するも、その異なる所は、前翅に五透明紋ありて、稍々同大、後縁角にて遮斷せられ、翅底には一黄紋あり。後翅紋は大にして、第二脈の處にて刻れる。開張八分。これは臺南にて捕獲せるが少し。

分布—臺灣。

ホツボカノコ

Synthonis hojoko Mats.



九九五

透翅紋は細く、後翅第二脈上に暗色條を缺き、前頭、頸、翅底鱗及び腹部の紋は橙黄、尾端の二節は黒色、少しく紺色を帯び、腹背は黄色、各節に紡錘狀の黒帯を裝ふ。開張一寸八分。これは臺灣北埔地方に捕獲せるも稀なるが如し。

分布—臺灣(北埔)。

ホリシヤカノコ

Synthonis horishana Mats.

翅は透明、少しく黄色を帯び、光線の具合にて藍色を現はす。前翅の前縁、外縁、縦條並に後縁は暗色、後縁の縦條黄色。後翅の前縁、外縁並に第一脈上の横條は暗色。體

は黒色。頭、胸及び各腹節の廣帯並に尾端は黄色。開張一寸八分内外。これは埔里地方に産するも、その數餘り多からず。

分布—臺灣。

ツマダロカノコ……………(一七六五)

Syntomis Ineerna Wien.



雄、ツマダロカノコに酷似すれども、その異なる所は、前翅は廣く、中室の透明紋は圓錐形を呈し、前縁の基部に近く黄色部を具へ、第一室(1b)の外方紋には黄色の一脈ありて、その紋の下縁は黄色。前翅裏面の末端に白紋を缺く。後翅は大、肛角紋の末端截斷狀に終る。腹部は短かく、尾端は黒藍色。開張一寸一分。これは臺灣に稀ならず。

分布—臺灣(埔里)。

タイワンキカノコ……………(一七六六)

Syntomis periantha Hampy.



翅は黒楕。前翅の斑紋は透

明、第一脈の基部黄色。後翅は透明、周縁は黒色、内縁及び脈は黄色。前頭、前胸背、翅底鱗及び各腹節の帯は橙黄。開張一寸一分。これは臺灣には餘り多からず。

分布—臺灣、支那、印度。

タイワンヒメカノコ……………(一七六七)

Syntomis taiwana Miyake



體翅は黒色。翅の斑紋は透明。前胸背の全部は黒色。第一及び第五腹節に橙黄色の廣帯あり。脚は全部暗色。タイワンカノコに近似す。開張八分内外。これは臺灣には餘り多からず。

分布—臺灣。

附言—タイワンカノコに酷似すれども、體の小なること及び第一及び第五腹節のみ黄帯を有することによりて區別せらる。

タカムクカノコ……………(一七六八)

Syntomis takamukana Mats.

雄、タイワンキカノコに似れども、其異なる所は、翅は細く、翅端は一層尖り、前縁の基部に



黄色部を缺き、翅底及び後縁角の斑紋は癒合して少しく弓状を呈し、第三及び四室にある紋は稍々同大、後翅に二紋ありて、外方のものは小形、三角形に近きにあり。開張一寸内外。これは埔里にて捕獲せられたるが少なし。

分布—臺灣。

タカノカノコ……………(一七六九)

Syntomis takanosis Mats.



雄、キハダカノコに酷似するも、その異なる所は、前翅の斑紋は小にして、黄帯を具へ、翅底紋四角形、横脈紋は卵形、後縁角紋は卵形、第三及び第四室に各一紋を具へ、第七室にこれを缺き、後翅底に一紋を裝ひ、その外側にて刻られあるにあり。開張九分半。これは本州に産すれども稀なるが如し。

分布—本州。

テイジカノコ……………(一七七〇)

Syntomis T-jigum Mats.

二三 刺蛾科 (Cochilichneumonidae)

雌、翅は透明、前翅の脈、前縁、中脈基部より第一脈の中央に達する一短線、横脈下の丁字形紋、第二室の末端紋及び外縁は黒色。後翅の前縁及び外縁は黒色、第二脈の内側に外縁に接して一黒紋あり。縁毛は兩翅とも黒色。體は黒色、頭板、翅底鱗の基部、中胸背の丁字紋、後胸背、各腹節の後縁(尾端の二節を除き)等は黄色。脚は黒色。跗節の基部は白色。開張一寸七分。これは臺北にて捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣。

ハヒイロカノコ……………(一七七一)

Syntomis villemantii Rothschild.



雄、翅は透明、脈及び外縁は黒色、外縁に沿ひ灰黄の紋列ありて、前翅

第五、六、七室にあるものは長し、尚、前翅の後縁も灰黄、體は灰黄。後頭及び頭板後縁は黒色。各腹節帯及び尾端は黒藍色。脚黒色、灰黄の部分あり。開張一寸五分。これは埔里地方に産するも少なし。

分布—臺灣。

前翅の内縁脈は二個、外方にあるものは基部にて分支し、第五脈は中室の後角より出づ。後翅の八脈は基部にて七脈と相接す、内縁脈は三個あり。幼蟲は脚を缺き、體に剛毛を裝ひ、有毒なり。繭は普通卵形にして、堅牢、一端に蓋を具へ、羽化後これを破りて出づ。蛾は肥大し、翅は厚し。何れも喬木の害蟲なり。多くは暖地の産にして殊に臺灣に多し。本邦學名を有するもの約八十種あり。

オホシロイラガ……………(一七七二)

Altha melanopis Strand



前翅は灰白、絹光を有し、暗色紋を散在す、第五脈の基部には黒點あり。尚後縁、前縁に黒鱗を散在す、外縁の第七室に黒點あり、縁毛は灰白、基部に白線あり。後翅は灰白、眞珠様の光澤を放ち、第六室の外縁に暗色紋あり。開張一寸一分。この幼蟲は臺灣に於て柑橘の葉を食す。稀ならざる種類なり。

黄色、腹部は紅色。開張一寸一分。これは嘉義にて捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣。

オキナハイラカ

Hypormoides okinawanus Mats.

體翅淡褐。前翅の紋條は濃褐、前横線は稍弓状をなして外方に曲り、その内側の中室に一長紋あり、中横線は少しく斜傾し、その内側の中室にも一紋あり、後横線は外縁に稍々平行し、外縁は少しく濃色を帯ぶ。兩翅とも縁毛の基部は淡色。開張八分。これは沖縄にて捕獲せられたるが稀なり。

分布—沖縄。

シヤクドウイラカ

Iruga ruzoa Wlsm.

前翅は黒色、鉛色を帯び、鱗毛片は塊状をなし鱗状を呈す、中室後角の下方及び後縁の直上に黄褐の大紋を襲ふ。後翅は前翅よりも淡色、縁毛の基部に灰色線を貫く。頭胸背及び腹



背の基部は橙黄。開張九分半。これは埔里地方には少なからず。

分布—臺灣。

オホイラカ

Mahanta quadrilinea Moor.

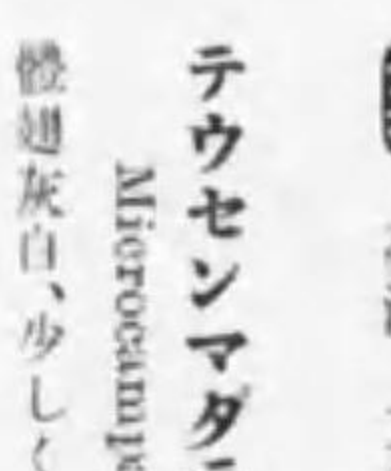
前翅黄褐、後縁の大部は灰黄、中央線及び後横線は暗色、その外側は灰黄線にて縁取られ、中央線は前縁に達せず、翅端に近く灰黄の一弓状帯あり。後翅は前よりも一層黄味を帯ぶ。頭胸は灰黄、翅底鱗は濃褐、白色の圓形紋ありて、細光を放つ。腹部は後翅と同色。開張一寸九分。これはパイバラ地方に産するも稀なり。

分布—臺灣、支那、印度。

テウセンマダライラカ

Microcampta corana Mats.

翅は雄にては暗色、翅底及びこれに連続する後縁の一紋は赤褐、外縁の四分の一は淡色、外縁に暗色紋を列ね、縁毛の基部灰黄。雌にては前翅赤褐の部分黄褐となり、横脈紋の周囲は淡色にして、時々眼状紋をなせども、光線の工合にて斑紋に變化あり。後翅の縁毛は粗様の灰色、中央に暗色線を貫く。體は黄褐乃至赤褐、腹部は暗色。開張六分—七分五厘。これは東京地方に稀ならず。



横線及び後横線は暗黄、後者は中央にて黒色を帯び、廣がりて稍々外縁に達し、この兩線の間に二黒点を横列す、外縁の上半に不明なる暗黄線あり。後翅は暗色、縁毛、前縁及び内縁は灰白。開張五分。これは釋王寺にて捕獲せるが少なし。

分布—朝鮮。

ウスマダライラカ

Microcampta fulgens Leach.

雄はマダライラカに酷似すれども、前翅の中央に暗色の大紋を缺き、横脈の外方に稍々山形の暗色紋を有するを以て容易に區別し得べし。開張六分五厘。これは東京地方にては少なし。

分布—本州、朝鮮、支那。

スズキマダライラカ

Microcampta suzukii Mats.

體翅灰白、尾端は黄色を帯ぶ。前翅の中央に二黒紋あり



て、その下方の一短帯、その内側の一帯、更に外方の太き一帯は黄褐、翅端に近く黄褐の二紋を具へ、後縁角に白色の一點あり。後翅は暗色、縁毛は灰白。開張七分。これは初め京都にて捕獲せられたるが、その後秩父にても發見せられたり。

分布—本州。

マダライラカ

Microcampta unouha Zigr.

體翅白色。前翅の翅底紋、脈、外縁に近き斑紋等は黄色、中央の大紋は黒色、黄色脈の爲めに黒斑を散在するが如し、中室の末端黒色なるも、黄色の横脈の爲め黒紋を有するが如し。後翅は暗色。兩翅とも縁毛は黄白、翅端に近く一黒点を襲ふ。腹部は末端を除き暗色。開張七分。これは秩父地方に稀ならず。



分布—北海道、本州、支那、アムール、ウスリ。

テングイラカ

Microleon longipalpis Butl.

前翅は暗褐色、斑紋弓状帯及び外縁は銀色、中室外方の大紋は黄褐。後翅は淡黄色。頭頂及び胸背は橙黄色。腹部は淡黄褐、腹背の毛塊は末端にて褐色。開張一寸二分内外。これは臺灣に

分布—臺灣。

は普通なり。

分布—臺灣、支那、印度。

タイワンイラカ

Nadula conjuncta Wl.

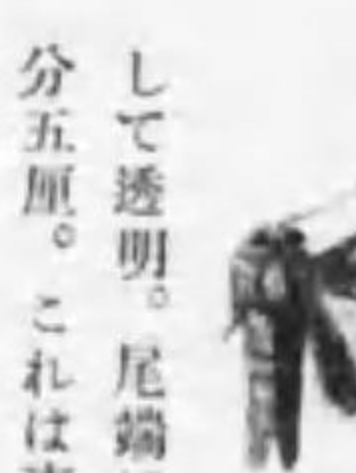
體翅は暗褐、前翅に小黒点を散在す。前翅底は黒褐、中室外方の一紋は暗色、外縁に近き斜帯は黒褐。後翅は淡褐。頭、頸、觸角及び腹部は赤銅色。胸部は黒褐。開張八分内外。これは臺灣に稀ならず。



ミカンイラカ

Zagodopsis shirakana Mats.

雄、體翅黒色。前翅の中央は廣く透明、縫線の中央に一白點あり、脈は黒色。横脈は太し、第五、六室にて黒色部透明部に入り込む。後翅の中央部は稍々三角形をなして透明。尾端にて毛塊の二尾束あり。開張六分五厘。これは臺灣に産するも少なきが如し。



幼蟲は柑橘の葉を食す。

分布—臺灣。

アリサンハスオビイラガ……………(一七九四)

Rhymnopsis arizaniella Mats.



雌、體翅黃褐。前翅の横脈紋及び後横線は暗褐、後縁の外半は稍々弓状に列らる、縫線の中央に一暗色紋あり。後翅は前翅よりも暗色を帯ぶ。縁毛は兩翅とも絹様の灰黄、何れも基線は淡色。觸角は羽状。腹部は暗色。開張九分。これは阿里山にて発見せられたるも少なし。

分布—臺灣。

セグロイラガ……………(一七九五)

Parasa shirakii Kawada



下唇端及び前頭は赤褐、觸角は黄褐。頭頂及び胸部は綠色。後者の中央に一赤褐縱條ありて、これは後胸にて大なる赤褐紋となる。

腹部は黄色、背面は赤褐を帯ぶ。前翅は綠色、前縁の翅底に紫褐の紋を具へ、外縁は灰色、紫褐色を帯ぶ。後翅は黄色、外縁は赤褐を帯ぶ。開張一寸内外。これは臺灣に産するも少なし。

分布—臺灣。

ハイハライラガ……………(一七九六)

Narosa haharuna Mats.



インダイラガに酷似すれども、その異なる所は、前翅黄色、中脈下翅底の半部に黄褐紋を具へ、脈は暗黄、縁毛は黄色。後翅は前翅よりも淡色、脈は濃色、縁毛は淡色。開張六分半。これは埔里にて捕獲せるも稀なり。

分布—臺灣。

カバフシロイラガ……………(一七九七)

Narosa corpusa Whinn.



雄、前翅は灰黄白、細光を帯ぶ、外縁及び翅底の黄色紋を除ける前縁は白色、中脈下及び中室外に黄褐紋ありて、第二、三、四室に暗色鱗を具へ、第二及び第七

室の外縁に暗色鱗を散在す。後翅淡黄、脈は絹光を帯ぶ。開張六分半。これは函子嶺にて捕獲せるが稀なり。

分布—臺灣。

タイワンキイロイラガ……………(一七九八)

Narosa formosana Mats.



前縁絹様の灰色、少しく褐色を帯ぶ、翅底、前縁、外縁(細く)、縁毛は雪白、横脈紋は暗色、翅端に近く暗色の斜條を具へ、中横線及び後横線は淡色、判然せず、外縁に沿ひ暗色鱗を帯ぶ。後翅は灰褐、前縁及び縁毛は白色。後者は末端にて少しく暗色を帯ぶ。開張五分。これは臺灣に産するもその數少なし。

分布—臺灣。

インダイラガ……………(一七九九)

Narosa ishidae Mats.



體翅黄白、細光を放つ。前翅の中室末端に暗黄の鱗毛を散在し、後横線暗黄にして、中室外にて外方に折れ、第五脈の處にて紋状となる、外縁線は黒色、淡色の縱

脈にて遮断せられ、第五、六、七室の末端には黒紋あり。後翅外縁の上半に暗色線あり。下唇端の背部暗色。これは南投にて捕獲せられたるも少なし。

分布—臺灣。

クロスチシロイラガ……………(一八〇〇)

Narosa nigristigna Whinn.



體翅淡黄褐。前翅の前横線、中横線及び後横線は黄褐、中横線は中室外にて深く外方に彎曲し、その外側は淡色線にて縁取られ、後横線は第三室の處に遮断せられ、外縁には黒紋を列ぬるも、第三、四、五室に之れを缺く。後翅の前角下に少しく暗色の鱗毛を散在す。縁毛は兩翅とも淡色、前翅にては中央に暗黄線を貫通す。下唇端の兩側黒色。開張七分五厘。これは埔里地方に普通なり。

分布—臺灣。

ウスキイラガ……………(一八〇一)

Narosa shinshana Mats.

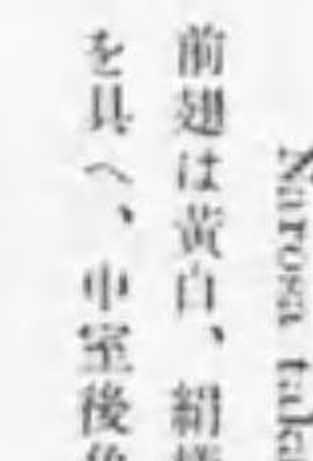
前翅は黄色、帯は白色、前横線及び中横線は中

室にて判然し、後横線は淡色、縫線の處にて膝状を呈す、亞外縁線は廣く外方に曲り、外縁線は翅端にて廣く、後縁角に向つて次第に細まる。後翅は前翅よりも淡色。開張六分半。これは始めて新社にて発見せられたり。

分布—臺灣。

タカムクイラガ……………(一八〇二)

Narosa takamuki Mats.



前翅は黄白、絹様の光澤を帯び、中室外に黄紋を具へ、中室後角の下方に黒鱗を裝ふ、外縁には暗色紋列ありて、前後の兩角にあるものは大なり、縁毛の中央に黄線を貫く。後翅は前翅より淡色、翅端に少しく暗色鱗を有す。開張七分。これは嘉義にて発見せられたるも少なし。

分布—臺灣。

ツマグロイラガ……………(一八〇三)

Narosa takamuki Mats.

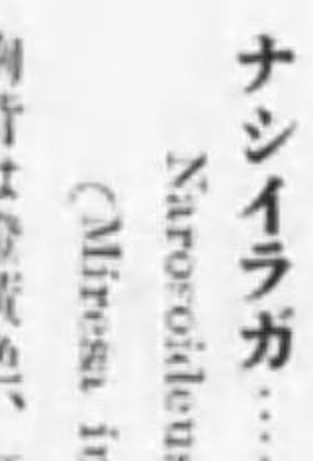
附言—インダイラガに似るも、これは絹様の光澤を有するを以て容易に區別し得べし。

雌、體翅黄色。前翅の基部、前縁及び翅端は褐色。後翅の前縁は黄褐。頭及び脚は褐色。開張一寸八分。これは埔里に産するも稀なるが如し。

分布—臺灣。

ナシイラガ……………(一八〇四)

Narostolus flavidorisalis Stgr.
(*Mipasa inornata* Loebch)



胸背は橙黄色、頭腹及び翅は暗褐。前翅底は濃色。内縁角に橙黄紋を具へ、翅端に近き二横線は鉛色、少しく紫色を帯び、其間室は黄褐。中室は光澤ある黄褐。後翅の前縁及び中室は灰色。開張一寸。これは何れの地方にも普通にして、暗んで燈火に飛來す。幼蟲は梨、柿、楓其他の諸木を喰害す。

分布—日本全土、朝鮮、支那、アムール。

Thaumosa angulata Fisk.

雌、體翅灰黃褐。前翅中央の二斜帯は褐色、その間室は黄褐、内方の斜帯は前縁に達せず、後縁の中央は深く刻らる。後翅は淡色、強き絹光を放つ。兩翅共縁毛は繡子様の光澤を帯ぶ。頭及び腹部は淡色にして、絹光を放つ。開張一寸。これは七月上旬水原にて捕獲せり。



分布—朝鮮。

ムチイラガ

Thaumosa uniformis Swinh.

雄、體翅灰黄。前翅中室外に暗色鱗を存在す。横脈紋は暗色、圓形、亜外縁線の處に暗色紋列ありて、各紋は縦脈上にあ



り、縁毛は末端に向つて少しく暗色を帯び、後縁の中央に長鱗毛を具へ、その末端の暗色なるものあり。後翅の肛角毛は暗色、その鱗毛の末端は粉々杓子状を呈す。開張七分。これは埔里にて捕獲せられたるが稀なり。

分布—臺灣。

ヒメクロイラガ

Zenoptilodes contracta Wk.

雄、體翅暗色。前翅の前縁は灰色、横脈紋は灰



白、半透明、これより黒色の一斜帯を外縁に送る、外縁の三分の一は暗色。後翅は黒色。縁毛は兩翅とも灰白、強き絹光を放つ。下唇鬚は甚だ長く、灰黄、末端は房状に肥大し、黒色。腹部黄褐、背線は廣く暗色。開張一寸。これは中國地方に産するも少なし。

分布—本州、支那、印度。

クロイラガ

Zenoptilodes venosa Wk.

♀



體翅は暗灰色。前翅の斜帯は暗黒、縁毛及び後翅の基部は灰黄。腹部は橙黄色、紋列は黒色。開張一寸四分内外。これは北海道には産せざるも、中國地方には稀ならず。幼蟲は柿其他の果

樹の害蟲なり。

分布—本州、四國、支那、印度。

ウスグロイラガ

Susica fusca Mats.

前翅は黒褐。翅端よりの斜帯、外縁の二斜帯並に



内縁は灰黄、外縁及び縁毛は淡色。後翅は暗色、脈は濃色。頭及び胸背は暗灰色。腹部及び觸角は灰黄。毛塊の末端は黄褐。開張一寸二分内外。これは臺灣に産するも、その數多からず。

分布—臺灣。

スチイラガ

Susica pallida Wk.

♂



體翅は灰黄。前翅に小褐點を散在す、翅底は暗褐、紋列は暗色。後翅は暗色、縁

ニトヘイラガ

Thosca nitoleuca Mats.

體翅淡褐。前翅に暗色の二斜帯ありて、約翅面



を三等分す。外縁の中央に近く稍々圓形の暗色環を具へ、中室の内方に暗色部を裝ふ。開張七分。これは青森にて捕獲せられたるも稀なるが如し。

分布—本州(青森)。

カハイロイラガ

Thosca rufa Willem.

體翅赤褐。前翅中央に近く黒褐の一斜帯あり



て、その外側は灰白線にて縁取られ、其外方に暗褐の弓状帯ありて外縁に開口し、その外側は同じく灰白線にて縁取る、横脈點は黒色。後翅は暗褐、縁毛の基部は灰色。開張八分。これは埔里地方に産するも少なし。

分布—臺灣。

クロテンイラガ

Thosca sinensis Wk.

雄、體翅栗色、天鷲絨様の光澤を帯ぶ。前翅に黒鱗を粗布し、外縁に近き一帯は濃色。後翅は前翅より少しく黒味を帯ぶ。兩翅の縁毛



クリイロイラガ

Thosca castanea Willem.

雄、體翅栗色、天鷲絨様の光澤を帯ぶ。前翅に黒鱗を粗布し、外縁に近き一帯は濃色。後翅は前翅より少しく黒味を帯ぶ。兩翅の縁毛



は前翅より少しく暗色を帯ぶ。開張八分五厘。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣、印度。

ネグロイラガ

Thosca caea Wk.

雄、體翅灰褐。前翅の翅底及び前縁は濃色、前



縁の中央より翅底に近く暗色の一線を斜走し、外縁に近き前縁より一暗色線を後縁角に向つて横走す、横脈紋は暗色。後翅は前翅より少しく暗色を帯ぶ。開張八分五厘。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣、印度。



體翅は暗灰色。前翅に黒褐の小點を散在し、紋帯は黒褐。後翅は少しく濃色、脈は一層濃色。開張一寸二分内外。臺灣には多からず。

分佈 朝鮮、臺灣、支那、比島、馬來、印度。

スキゲンイラガ *Thosca sutigenis Mats.* (一八三八)



雄、體翅灰色。前翅底の三分の一、中央の一斜帯、外縁に近き端直の一帯及び外縁は暗灰色、横脈點は黒色。後翅は暗灰色。縁毛は淡色。兩翅とも絹光を放つ。腹部は後翅と同色。開張八分。これは水原に産するも少なし。

分佈 朝鮮。

附言 此の科の蟲名順序は必ずしもアルファベット順にあらず。

二四 蟬蛾科

Epipyropidae

觸角は雌雄共羽狀。口部は退化す。前翅は三は形、翅端は尖り、第五脈は横脈の下端より出で、六脈は中央より出づ、中室の外側には前縁に近く船形突起あり。後翅の第五脈は横脈の下方より出で、第六、七節は中室より出づ、中室は兩翅とも長し、抱刺を具へ、雌にては十數本あり。腹端は截斷狀に終る。脚に距を欠く。幼蟲は蟬その他の白蠟蟲に寄生す。異形變態をなし、初めは六本の長き脚を具へ、蟬その他の昆蟲に寄生すれば、その脚は短形となり、白蠟を以て掩はるに至る。蟬の尾端にありて、その分泌する蜜液を吸食す。成熟すれば地上に落ち、葉を齧めて繭を造り、その内にありて蛹化する。本邦に産するもの二種あり。

セミヤドリガ *Epipyropia nawae Dyar* (一八二九)

體翅黒色、少しく紫色を帯ぶ。前翅に約十三本の鉛色帯ありて、縦脈に遮斷せらるゝが爲め、鉛色紋を散在するが如し。後翅は暗色、縁毛の中央に濃色の一線を貫通す。開張七分内外。こ

二五 避債蛾科

Psychidae

雄にては觸角は羽狀若くは鋸齒狀。口吻、兩眼及び單眼を欠く。前翅の第五脈は第四脈に近接し、内縁脈は二個、外方にあるものは基部にて分支し、更にこれより一個若くは分支せる小脈を後縁に送るものあり。雌は蛆狀にして、常に筒巢中に住す。幼蟲は俗に袋蟲と稱し、袋様の巢を造り、その内に住す。本邦に産するもの數種あり。

ヒメミノ(ミノガ) *Canephria asiatica Zett.* (一八三〇)



體翅暗色。前翅には灰白の鱗毛を散在し、外半には銅褐の鱗毛多く、縁毛は暗黒。後翅は銅褐、中室の基部に白毛多く、外縁及び縁毛は暗黒色、觸角は暗灰色、羽狀の枝は細し。體には暗褐の長毛多し。腹部の末端にある抱握器は赤褐。前肢は長く、距を欠く。開張八分。これは東京地方に多く、幼蟲はナンテン、カギ、ウメ、ナシその他の果樹葉を食す。



これはヒゲラシの腹部に寄生す幼蟲は白蠟を被るが爲め、白體の倍大に見ゆ。京都地方に稀ならず。

分佈 本州、四國、九州。

附言 此の科の蛾は飼育せざれば獲へ難し。白蠟蟲科殊にハゴロモの類にも少なからざれば注意を要す。

コンドウシロミノ *Chalchotes kondouis Kondo* (一八三一)

雄、翅は灰白、透明。前翅の前縁は少しく黄色を帯び、第一(b)は(c)と相合して外縁に出で、中央より一斜脈を後縁に送り、第四、五及び第七、八脈は何れも分支して出づ。體は褐色、灰白毛多し。顔は灰黄。觸角は暗褐、羽狀。稜狀部灰白、腹部の兩側に淡褐毛を密生す。尾端の抱握器は黄褐。脚は光澤を帯び、前肢は後肢よりも長し。開張七分。これは九州に稀ならず。幼蟲はカンキツ、ビハ等の害蟲なり。

分佈 九州。

チヤミノ *Chania mhvsonia Batt.* (一八三二)

雄、體翅は暗色。前翅中央の脈は暗黒。後翅は稍々濃色。體には暗褐の長毛を簇生す。雌は蛆狀、體は黄白、頭は赤褐。開張九分内

分佈 九州、臺灣、支那、印度。

オホミノ *Chania variegata Grun.* (一八三三)

雄、體翅は暗褐色。前翅の中脈、中室の縦脈並に横脈外の一紋は黒色、外縁並に脈の周圍は多少濃色。腹側に灰白紋を縱列す。開張一寸四分内外。これは九州及び臺灣に普通なる種類にして、年々歳々大害を加ふ。幼蟲は柑橘、樟、想思樹、茶其他種々の植物を害す。

分佈 九州、臺灣、支那、印度。

エゾミノ *Eurycythacus andrewsi Wiem.* (一八三四)

雄、翅は暗色。前翅に黒色の微毛を密生し、外

半には銅褐の鱗毛多く、爲めに金光を放つ、縁



毛は暗黒、末端は灰色、絹光を放つ。後翅は前翅の外半と

同色。觸角は疎なる兩橈齒状。體は黒色、暗褐毛を密生す、腹端の抱握器は淡黄褐。前肢は後肢よりも長し、距を欠く。開張六分五厘。これは禾本科植物葉にて糞を造るの種類にして、牧草その他、禾本科植物の葉を食す。

分布—北海道。

ニトベツノ *Maharna nitobei* Mats. (一八三五)

Maharna nitobei Mats.

雄、體翅は暗褐、光線の具合にて少しく金光ある天鵝絨様の光澤を現はす。兩翅共斑紋を欠く。開張八分内外。これは東北地方の果樹園に稀ならず。幼蟲は華樹、梨其他の果樹を食害することあり。



分布—本州。

ネグロミノ *Oedematopoda (Acanthopysche) nigra* Wtl. (一八三六)

Oedematopoda (Acanthopysche) nigra Wtl.

體翅は美麗の赤銅色、光線の具合により紫色を現はし、翅端は銅鐵様の藍色を帯び、其内側に黄紋ありて、これは雄にては小。後翅は銅褐なるも、赤紫色を帯びず、前縁の基半部は灰白。下唇鬚(末端は黒色)、脚、胸下及び各腹節の後縁は黄色。脚は黒藍色、脛節端、距及び跗節端は黄色。これは中國地方に稀ならず。



分布—本州。

附言—これは改めて新科を設けその内に編入すべきものならんも、今假に腿蛾科に隸せしむ。

アカハタモモガ *Oedematopoda igniflora* Butl. (一八四〇)

Oedematopoda igniflora Butl.

雌、前縁(狭く)及び後縁の基部紫色、縁毛暗色。後翅銅褐、縁毛は暗灰色。頭は鉛色を、胸部は赤銅色を帯ぶ。各腹節の後縁は狭く橙黄、脚はオパール様の光澤を帯び、距は黒色。觸角は黒色、



第六 鱗翅目(蛾亞目)

雄、前翅は透明、内縁は黒色、脈は黄。後翅は黒色、外縁の楕圓紋は透明。頭及び前胸は灰白。胸及び腹は黒色、尾端の簇毛は黄褐。開張一寸二分内外。これは臺灣に産するもの數多からず。

分布—臺灣、支那、印度。

カラフトミノ *Zerophonyx acalima* Mats. (一八三七)

Zerophonyx acalima Mats.

翅は灰色、暗灰色の微毛を密生す、第一脈(b)の外半は弓状に曲り、中央より一斜脈を後縁に送る、第四、五脈は長柄を有す。後翅の第四、五脈も亦長柄を具へ、中室の突角より出づ。觸角は羽状、鱗毛なし。胸側に大なる一白鱗あり。體は光澤ある褐色、腹部に黄褐の長毛多し。前肢は後肢よりも遙に長し。開張八分五厘。これは樺太にて捕獲せられたり。

分布—北樺太(ルイコフ)。

二六 腿蛾科

Tinaegeritidae

觸角は橈齒状、下唇鬚長く、鎌状をなして上方に曲る。前翅は細長にして、尖り、内縁脈は一個、基部にて分支するものあり。後翅は小にして、多少透明なるものあり。後肢は長く、長刺を有す。蛾は晝飛性なり。幼蟲は食肉性にして、好蟲を捕食す。本邦學名を有するもの五種あり。

モンキモモガ *Eretmocera impectella* Wk. (一八三八)

Eretmocera impectella Wk.

體翅銅褐、少しく紫色を帯ぶ。前翅に四黄紋ありて、第二紋最大。後翅は淡色。頭、後胸、體下は黄色、第二、三及び尾節は銅褐。開張三分内外。これは恒春地方に稀ならず。微小なる爲め人の注意を惹かず。



分布—臺灣、印度。

フタモンモモガ *Mimronna bimaculata* Mats. (一八三九)

Mimronna bimaculata Mats.

は白色。脚は黒紫色、脛節の末端は灰白。觸角は黒藍色、背部に橈齒状の剛毛を列ぬ。咽喉及び眼の後方に白色鱗あり。開張四分。これは信州にて野平安藝雄氏の採集せるものなり。

分布—本州。

附言—目下本科と次科とを小蛾族に隸せしむるものあるも本書にては従來の通り大蛾族に隸せしむ。

赤状、長し。開張五分五厘。これは東京地方に産するも少なし。

分布—本州。

ルリハタモモガ *Oedematopoda leechii* Wals. (一八四一)

Oedematopoda leechii Wals.

體翅及び觸角は朱色、但し觸角の兩端は黒紫色。前翅の前縁(細く)及び縦條は黒紫色。後翅は銅褐。縁毛は兩翅とも暗色。腹部は黒藍色、基部は白色。脚は黒紫色の鱗毛を以て蔽はる。開張四分餘。これは鹿兒島にて捕獲せられたるも少なし。



分布—九州。

ノヒラモモガ *Oedematopoda nahirai* Mats. (一八四二)

Oedematopoda nahirai Mats.

體は紫黒色。前翅は銅褐、一縦條は朱色。後翅は銅褐。縁毛は兩翅とも暗色。腹部は黒藍色、基部及び第四節



二七 硝子蛾科 Aegeriidae (Tesiidae)

觸角は紡錘状、脚に穂状の細毛を密生し、中脛節に一対、後脛節に二対の距あり。翅は多少透明。前翅の内縁脈は一固、基部にて分支し、第二脈乃至十一脈は中室より出で、同距離に分離す。後翅の第八脈は第七脈と相癒合せり。蛾は晝間飛翔す。幼蟲は裸體にして、平たく、多く樹皮下にありて食害す。本部學名を有するもの三十數種あり。

クビアカスカシ(方).....(一八四三)

Aegerosphaeria romaniovi Loebl

體は褐色。前頭は白色、頸部は赤褐。前翅は稍透明、少しく黄色を帯び、前縁及び脈は褐色。

後翅の前縁及び内縁は褐色、脈の大部は黄色。第二腹節の後縁は細く灰白、



第三節の中央は赤褐、以下腹節の中央は黄褐、

尾端は橙黄色。開張一寸五分内外。これは晝飛性にして、花上に捕獲し得べし。その數多からず。

分布—北海道、本州、四國、九州。

セスチスカシ.....(一八四四)

Bambesia contracta Wlk.

體は黒褐。前頭は灰白、頭頂は暗色。觸角は赤黄。前翅の附着部の前方に三角形の黄斑あり。

中胸兩側の房毛は赤黄。翅は透明、少しく黄色。フィキセニイ形。♂

f. Asseni Loebl



を帯ぶ。前翅の前縁及び脈は褐色、前縁の一縦條及び後縁は朱色、末端は黄褐。後翅脈は黄色。縁毛は兩翅共に黒褐。各腹節の帯は橙黄色。開張一寸四分内外。これは晝飛性にして、花上に捕獲し得べし。その數多からず。

分布—北海道、本州。

カラフトスカシ.....(一八四五)

Bambesia lychniformis Laspl.

雄、前翅は透明、脈、前縁、外縁、横脈紋、後縁及び縁毛は黒色、翅底に赤黄の三縦條あり

て、前縁にあるものは横脈に達す、第五室にも赤黄條を具へ、横脈紋外の透明紋中に二脈あり。後翅は透明、脈及び縁毛は黒色。體は黒色、頭は

白色、胸背に黄條を具へ、四腹端節の各末端は黄色。脚は黒色、距及び跗節の大半は黄色。雌にては觸角藍色、櫛齒状をなさず。開張八分一寸。これは樺太に稀ならず。

分布—樺太、北海道、アムール、歐洲。

テウセンスカシ.....(一八四六)

Chamaethedon coracola Mats.

翅は透明、脈、縁毛、前翅の横脈紋及び外縁は黒色、前翅の後縁及び後翅の前縁は黄褐。體は黒色。

觸角は黄褐、末端は黒色、前方に剛毛を密生す。下唇鬚は黄色、外側毛は黒色。頭は黄色。腹部の四帯は黄色、腹面に黄帶なし。脚は黒色、黄紋あ



り。開張八分。これは元山にて捕獲せるも少し。

分布—朝鮮。

チバコスカシ.....(一八四七)

Conopia chihensis Mats.

翅は透明。前翅の脈、前縁、後縁并に外縁(細く)は黒色、第二脈を

缺き、第七、八は分支す。兩翅の縁毛は黒色。體は黄褐乃至黒褐、胸背に黄條を具へ

各腹部の後縁に黄帶あり、第四及び第七節のもの最も廣し。脚は黄色、黒紋あり。開張九分内外。これは北海道及び本州に産するも少し。

分布—北海道、本州。

テウセンコスカシ.....(一八四八)

Conopia chosensis Mats.

翅は透明、脈、縁毛、前翅の横脈紋及び外縁は黒色、横脈紋は兩側端直、下方にて少し



第六鱗翅目(蛾亞目)

く細まる。體は黒色。下唇鬚橙黄色、その末端及び側部(基部を除き)は黒色。頭毛及び前基節の外側は白色。胸側の大紋は黄金色。腹部に三黄帶あり。脚は黒色、前基節の外側、跗節の斑紋は黄白。開張六分。これは京城にて捕獲せられたるが少なきが如し。

分布—朝鮮。

ガロアコスカシ.....(一八四九)

Conopia callosi Mats.

雄、翅は透明、脈、前翅前縁、横脈紋及び外縁は黒色。前翅横脈紋の外側は橙黄線にて縁取られ、その直上に赤黄鱗を具へ、同色鱗毛は第八室にも

あり。後翅の前縁は灰黄、縁毛は褐色。體は黒色。下唇鬚、頭、脚、腹帯及び腹面

は黄色。但し前基節は黄金色。脚に黒斑あり。開張八分五厘。朝鮮にて捕獲せられたり。

分布—朝鮮。

コスカシ.....(一八五〇)

Conopia hector Butt.

體は黒褐、銅鐵様の藍色を帯ぶ。前頭の兩側に

ある長紋は銀白、上唇鬚及び頭は黄色。中胸背に黄條なし。第四、五腹節の二帯は橙黄色。翅

♂ 雌



は透明、前縁、外縁紋、横脈上の一紋並に脈は黒色、横脈紋の内側は稍々帽子状に突出す。開張一寸内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲は草樹、梨、櫻、桃その他の果樹の幹に蠶入して大害を加ふ。

分布—北海道、本州。

ムシヤコスカシ.....(一八五一)

Conopia muskara Mats.

前翅の横脈紋は稍々楔状を呈し、外側に黄色鱗を裝ふ。後翅の横脈紋は三角形、前縁は黄色。兩翅の外縁

は紺色、縁毛は暗灰色。下唇鬚、頭、胸背の三縦條、前基節、脚紋、各基節の後縁(細く)、尾端の兩端毛等は黄色。開張七分。これは



10111

霧社にて捕獲せられたる珍種なり。
分布—臺灣。

ヤマコスカシ.....(一八五三)

Conopia producta Mats.

コスカシに酷似するも、その異なる所は、前翅の横脈紋は内側にて朝子様に一層高く突出し、第二、第四兩腹節には黄帯を具へ、第四節にあるものは太し、腹面にては唯だ第四節に黄帯を有するに過ぎず、距及び跗節の下部は黄色、尾毛は褐色、下唇鬚、頭は白色。開張七分。これは札幌地方に産するも少なし。
分布—北海道。



カシコスカシ.....(一八五三)

Conopia querens Mats. (*anthonica* Hart.)

體は紫褐色。前翅の兩側、觸角の末端、頰、中胸背の縦線、後胸背の兩側、各腹節の後縁及び兩側は橙黄色。雄の尾端にある刷毛様の毛塊は黄褐、
分布—北海道。



末端は白色。翅は透明、前翅は黄色を帯び、前縁、外縁及び脈は金光ある暗褐、翅底、横脈及び前縁の縦線は橙黄色、後翅前縁の横脈は黄色、兩翅の縁毛は金光ある暗褐。開張一寸内外。これは東京地方に稀ならず。幼蟲は樺の樹幹に蠶入して大害を加ふ。
分布—本州。

ヒメコスカシ.....(一八五四)

Conopia tenuis Httl.

翅は透明、脈、縁毛、前翅の横脈紋及び外縁は黑色、横脈紋の内側は少しく弓状に突出し、外側は少しく凹陥するが爲め稍々半月形を呈す。體は黒褐、胸背は赤褐、腹部の中央に一黄白帯を具へ、尾毛の兩側には黄白毛を混ず。頰、下唇鬚の下面、頭、胸側等は銀白。脚は黒褐、跗節の基部は黄白。開張六分。これは本州にては少なし。
分布—本州、朝鮮、滿洲。



エゾコスカシ.....(一八五五)

Conopia mucouguta Hart.

翅は透明、前縁、縁毛、前翅の横脈紋及び外縁はの長毛は黄色。前中腹節に黄色毛、後腹節には黄毛を装ふ。開張一寸二分内外。これも晝飛性にして、花上に捕獲し得べし。北海道には産せざるが如し。
分布—本州、九州、臺灣、支那、印度。

タイワンモモブトスカシ.....(一八五八)

Melitita formosana Mats.

翅は透明。前翅の前縁、後縁及び横脈上の三角紋、外縁の四分の一、翅脈並に縁毛は黑色。後翅は少しく黄色を帯び、脈及び縁毛は黑色。體は暗褐。觸角の前方は黄褐。前翅の兩側、頰は白色。胸背は銅褐色。腹部は黑色。開張一寸一分内外。これは臺灣に産するも、その数少なきが如し。
分布—臺灣。



モモブトスカシ.....(一八五九)

Melitita japona Hamp.

體は黑色。觸角は白色環を有す。前頭は黄褐、

黑色。前翅の脈は外縁三分の一を除き黄色。後翅の前縁は基半部にて黄色。體は褐色、少しく藍色を帯ぶ。頭は銀色、下唇鬚の下面、頭、前基節の基部は白色。腹部の第四節に黄白帯ありて、尙、第二節の兩側にも黄白帯を具へ、縁毛には黄毛を混ず。脚は灰褐、黒藍色を帯ぶ。開張七分五厘。これは札幌地方にて捕獲せるも少なし。
分布—北海道、本州。



ハチマガヒスカシ.....(一八五六)

Glossosphenia contaminata Httl.

體は黒褐。前頭は白色、頭頂及び頭部は橙黄色。觸角は黒褐。前翅は透明、少しく黄色を帯



兩側は白色。翅は透明。前翅の前縁、外縁、後縁、中央紋、脈及び縁毛は黑色、外縁に青白鱗



を混ず。後翅の外縁、内縁及び脈は黑色。開張九分内外。これは晝飛性にして、花上に捕獲し得べきも、餘り多からず。形蜂に似たり。
分布—本州、九州。

フトスチアトスカシ.....(一八六〇)

Paranthrene bicincta Wlk.

前翅は暗褐、中央は銅褐を帯び、基部は透明。



後翅は透明、外縁、縁毛、脈は黑色。體は黑色。顔の兩側は銀色、下唇鬚の下面は黄色。頭は黄白、胸側紋は黄金色。第二及び第四腹節に黄帯あり。開張六分一寸。これは東京地方に

オホモモブトスカシ.....(一八五七)

Melitita bombyliiformis Grann. (*chalciformis* F.)

體は黒褐乃至黑色。前頭及び觸角は黄褐。翅は透明、少しく黄色を帯ぶ。前翅の前後縁、横脈紋、縁毛並に脈は黑色。後翅脈及び縁毛は同じく黑色。中胸背



稀ならず。

分布—本州。

ダイセンアトスカシ……………(一八六一)

Paranthrene daisensis Mats.

前翅は暗褐、少しく藍色を帯び、中室の前半及



び翅底の三分の一は透明、但し中室は少しく黄色を帯ぶ。後翅は透明、少しく黄色を帯び、縁毛及び脈は黒色。體は黒色、少しく藍色を帯び、腹部の中央に黄色の二帯あり。下唇鬚の下面は橙黄色。開張一寸四分。これは伯耆大山にて捕獲せられたるが稀なり。

分布—本州(伯耆)。

ヒラヤマアトスカシ……………(一八六三)

Paranthrene hiranami Mats.



前翅は暗褐、中央は銅褐、横脈紋及び脈は濃色、少

く藍色鱗を混ず。後翅は透明、横脈紋、脈、外縁は銅褐。兩翅の縁毛は暗灰色。體は赤褐、暗色鱗多し。頭は白色、第二及び第四腹節に黄白帯を具へ、第六節の兩側に白紋あり。脚は暗黄色部あり。開張七分。これは東京地方に産するも少なし。

分布—本州。

ヒメアトスカシ……………(一八六三)

Paranthrene leuix Leech



前翅は暗褐、前縁及び中央の一縦線は黄色、但し後者は第二脈の基部にて遮断せらる。後翅は透明、脈は暗色、基部にて黄色、縁毛は暗褐。體は暗褐。下唇鬚の下面、頭、前基節の基部、脚の斑紋等は黄白乃至白色。第四、五腹節に黄帯を具へ、これは腹面にて廣く、尾毛の内、上方にある毛は大部黄色。開張六分。これは京都地方に稀ならず。

分布—本州。

タカラアトスカシ……………(一八六四)

Paranthrene plumbicola Strand

雌、體翅赤褐、一見長脚蜂に似たり。前翅の基部

タイカンスカシ……………(一八六七)

Xestia takanensis Mats.



體は黒色。銅鉄様の藍色を帯ぶ。下唇鬚の下面、脚の一部は黄色。觸角は褐色、前方に剛毛多し。翅は透明、縁毛、脈は黒色。前翅の前縁、横脈紋は黒色、外縁は全部透明。各腹節の基部は黄色。開張八分。これは臺灣タイカシにて捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣。

オキナハスカシ……………(一八六八)

Spherodoptera okinawana Mats.

前翅は體甲様の黄色、透明、脈は褐色、横脈紋は黄金色、翅底及び縁毛は暗褐。體は赤褐、暗灰色の鱗毛を以て蔽はる。顔、下唇鬚、咽喉は



及び横脈紋は黄金色、縦脈は少しく暗色を帯ぶ。後翅は透明、脈は赤褐。兩翅の縁毛は暗灰色。下唇鬚の下面、肩、頭、後部等は黄色。各腹節の基部は黒色、尾端に到るに隨ひ次第にその幅を減ず、尾端の兩側毛は黒色。開張七分。これは臺灣高雄にて發見せられたるが少し。

分布—臺灣。

ブドウアトスカシ……………(一八六五)

Paranthrene regale Hult.



體は黒褐。前頭の兩側は銀白。頭頂、頭、前脚の側片、中胸背の縦條、後胸の兩側紋、第四、五、六腹節の後縁等は橙黄色。觸角は黄褐。前翅は暗褐、翅底の三分の二は前縁を除き黄褐。後翅は透明、末端の二分の一は黄色、横脈は紅

黄色。後胸背及び第一腹節の後縁は黄白、第四節に太き黄色帯ありて、腹面には黄色の四帯あり。脚は黄色。腹節は暗色を帯ぶ。これは沖縄に産するも少なし。

分布—沖縄。

ムナブトヒメスカシ……………(一八六九)

Trichocentra constricta Hult.



前翅は暗色、中室及び外縁の外半は透明、前者の基部は黄色、横脈紋は黒色にして、内方に一線を出す、脈及び外縁は(狭く)暗色。後翅は透明、前縁、縁毛及び脈は暗色。體は黒褐。下唇鬚の下面、顔、頭、

基節の基部、脛節の縦條及び腹面の中央は白色。第一及び第四腹節の基部は黄色、尾毛の上方にあるものは黄白。開張五分。これは大阪地方に稀ならず。

分布—本州、九州。

シラホシヒメスカシ……………(一八七〇)

Zenodoxus edita Hult.

前翅は暗褐、中室の中央にある長紋及び第三、四室の中央紋は透明、前縁及び副前縁脈に沿へ

樹、脈及び縁毛は暗褐。腹部は黒色。中胸の側部は黒藍色。開張一寸一分内外。これは有名なアダウの害蟲にして、その幼蟲は小鳥の餌に供せらる。

分布—北海道、本州、九州。

エゾアトスカシ……………(一八六六)

Paranthrene yezonica Mats.



雌、前翅は黄褐、少しく藍色を帯び、中室紋及び副中室は體甲色の黄色を帯び、半透明、翅底は黒褐。後翅は透明、前翅同様に黄色を帯び、翅底紋及び内縁はその縁毛と共に黒か、脈、外縁及び前縁の縁毛は暗褐。體は赤褐なれども、暗褐鱗毛を裝ひ、腹部は銅鉄様の藍色を帯び、第四腹節に黄帯ありて、これは腹面にて廣し。脚は暗褐、前腹節に刷毛様の長毛を密生す。下唇鬚の下面は黄色。觸角は櫛齒状、これに疎毛を密生し、末端に長毛を簇生す。小楯にて捕獲せられたるが少なし。

分布—北海道。



♂
縦線は黄色。後翅は透明、脈及び縁毛は銅褐、前縁は黄色。腹背に黄色鱗多く、腹面は黄色、初めの三節を除き各節の後縁は暗色、尾毛に黄色を混ず。下唇鬚及び脚は黄色。開張七分。これは信州地方に稀ならず。
分布—本州。

シヤクワウジヒメスカシ……………(一八七二)

Zenodoxus shakojianus Mats.

♂
體翅銅褐。前翅の中室に白色の一縦線を具へ、横脈の部分少しく藍色を帯ぶ。後翅は透明、脈及び縁毛は銅褐。下唇鬚、基部の基部、腿節の末端、腹面の中帯は黄白。第一、二、四、五腹節の基部は黄色、尾毛の上方にあるものは短かくして、黄白。開張六分。これは釋王寺にて捕獲せられたるが少なし。
分布—朝鮮。

タイワンヒメスカシ……………(一八七三)

Zenodoxus taiwanellus Mats.

雄、前翅は銅褐、横脈の上方に半透明の一直線



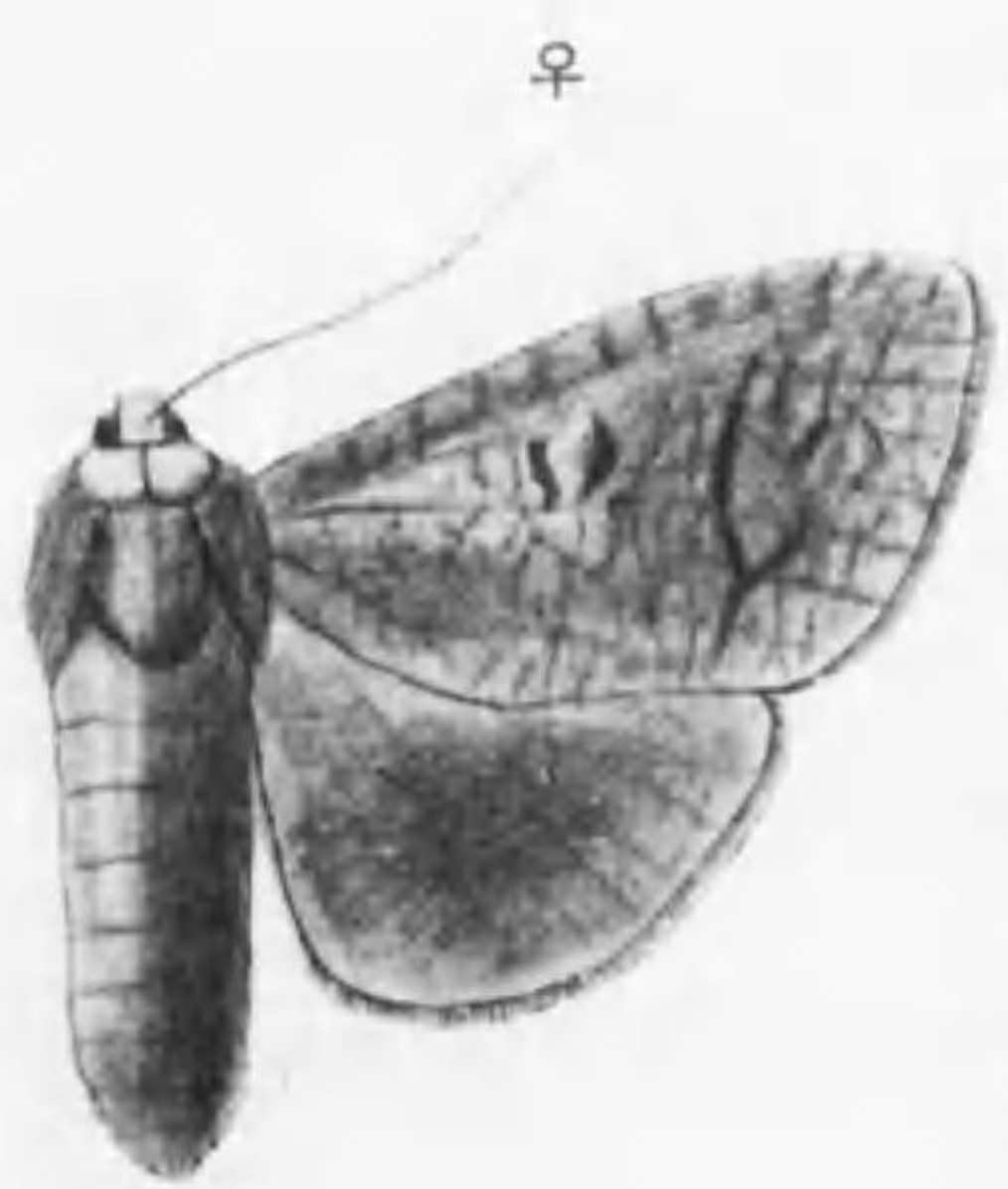
あり。後翅は透明、脈及び縁毛は銅褐、第五脈の基部と横脈は不明、前縁は銀色を帯ぶ。體上は暗褐、體下は黄白。觸角は鞭狀、短毛を突出す。脚は銅褐、腿節及び脛節の内側は黄色、尾毛は黒色、黄毛を混ず。第二及び第四腹節に灰黄の太き一帯あり、開張五分五厘。これは新竹にて發見せられたる微小種なり。
分布—臺灣。

附言—これは燈火に飛來せざれば捕獲困難なり。その飛翔するものは一見蜂の如き觀あるを以て注意を要す。多く花上に捕獲し得べし。

オホボクトウ(ガ)……………(一八七三)

Cossus cossus L.

體翅は灰褐。後頭及び頸黄色。前翅は灰色、中



二八 木蠹蛾科 (Cossidae)

口吻を缺く。兩鬚は退化して甚だ小。雄の觸角は羽狀。脚に小刺を有するものと、有せざるものとあり。前翅の内縁脈は二個、外方のものは基部にて分支し、第五脈は中室の後角より出づ。後翅の第八脈は發達し、抱刺を有す。幼蟲は裸體にして、樹幹に蠶入して材部を食す。本邦學名を有するもの五種あり。

尖及び外縁は灰色、黒色の横條多し。後翅に暗色の不明紋を裝ふ。開張二寸三分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。幼蟲は柳の材質部に蠶入して大害を加ふ。
分布—北海道、本州。

附言—コガタボクトウと異なる所は、大形にして、雄の觸角は扁平、その各節に横隆起を有するにあり。

コガタボクトウ……………(一八七四)

Holocoeris vicarius Wk.



♂
體翅暗色。前翅は灰色、斑紋は黒色、前縁は暗色、基部に約八個の點紋を具へ、中室に二點あり、半横線及び前横線は判然せず、中横線は一雙にして、中室の後角にて外方に屈折し、後横線も一雙にして、これは前縁三分の二の處より後

縁角に向つて斜走す、外縁にも一雙の波狀線あり、その他、暗色の短線ありて網目狀をなす。後翅は黒色、縁毛に灰白線を貫通す。開張一寸六分。これは札幌地方に普通なる種類にして、燈火に飛來す。
分布—北海道。

タイワンボクトウ……………(一八七五)

Hyalentus (Duoniensis) strix Grun.

♂
ブーボ形 早



♂
體翅は灰白。前翅の内縁は灰黄、外縁の各室に黒褐色の點列を具へ、中室下にも同色の縦紋列を裝ふ。開張一寸二分内外。これは何れの地方にも少なからず。暗んで燈火に飛來す。幼蟲は蘆の葉を食す。
分布—日本全土、臺灣、朝鮮、支那、印度、歐洲、阿弗利加。

ハラナガボクトウ……………(一八七六)

Phragmatoclea fusca Wlem.

ハヒイロボクトウに酷似すれども、その異なる



♀
所は、體は大
一層暗色、前
翅は細長、後
翅は灰色、雌
にては腹部甚
だ長し、頭及
び頸は暗褐色
るにあり。開
張一寸二分—一寸四分。これは臺灣にては普通
なり。

分布—臺灣。

ウスグロボクトウ……………(一八七)

Phragmataecia obscura Wilm.



♂
雄、ハヒイロボクトウに酷似すれども、其異な
る所は、體翅暗灰色、
前縁、各室の波状縦
紋、後縁並に中室の暗
色なるにあり。開張一
寸—一寸二分。これは
埔里地方に稀ならざる
が如し。

分布—臺灣。

コヒイゴマフボクトウ……………(一八七九)

Zeuzera coffeae Nietn.



♂
雄、タイワンボクトウに酷似すれども、前翅各
室にある斑
紋は灰色に
して、淡く
前縁、外縁、
翅底及び後
縁の斑紋の
み黒色にし
て、判然せり。後翅の斑紋は淡く、後縁及び外
縁の斑紋のみ黒色にして判然し、縫線末端の黒
紋は大なり、體は灰白、胸背の四紋は小、腹部
は赤褐、第三節以下の各節に黒帯を具へ、灰白
毛を密生す。開張一寸六分。これは埔里地方に
産するも少なし。

分布—臺灣、印度。

タイワンゴマフボクトウ……………(一八八〇)

Zeuzera multistrigata Moor.

♂
體翅は白色。前翅の脈は暗黄、斑紋は黒、その
内、前縁及び後縁にある斑紋は大なり、各室にあ
る斑紋は稍々同大にして、後縁、中室及び中室
外には斑紋少なし。後翅には縁黒紋を散在し、

里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

ルリモンボクトウ……………(一八八三)

Zeuzera viridimaculata Mats.

♂
前翅は汚黄白、外半は半透明、斑紋は黒、前
縁に約十五紋を具へ、中室の基部紋最大、その
中央に近き三紋は團子の串状に横列す、外縁に



内縁及び肛角には斑紋を缺く。中胸及び後胸背
に一双の黒紋を具へ、各腹節に黒帯あれども、
黒紋を缺く。開張一寸八分。これは埔里地方に
普通なり。

分布—臺灣。

ゴマフボクトウ……………(一八八)

Zeuzera

pyrina

L.



♂
體翅は灰
白。前頭及
び脚角は黒
色。胸部の
紋列は黒

これは恆春にて捕獲せるが稀なるが如し。
分布—臺灣。

色。腹部は黒褐色、基部、末端及び各節の後縁
に灰白毛を裝ふ。翅の斑紋は黒色。開張二寸一
分内外。これは札幌地方に普通にして、燈火に
飛來するもの多し。幼蟲は果樹及び森木の材部
に蠶入して大害を加ふることあり。

分布—本州、九州、支那、朝鮮、歐洲。

ヒトテンゴマダラボクトウ……………(一八八三)

Zeuzera unimaculosa Mats.



♂
雄、前翅白色、群散せる斑紋は黒色、前縁及び
後縁は少しく暗色を帯ぶ、前縁には約十個、中
脈下に約九
個、その他各
室に八個内外
の小紋あり
て、何れも脈
に直角をな
す、中室外の

一紋は大にして、圓形。後翅は暗色、脈は灰黄、
中室は灰白、黒色の三紋ありて縦列し、各室に
多數の短線あるが爲め黒紋を散在するが如し。
體は灰白、胸背に四黒紋を具へ、腹背に黒紋を
缺き(第六節に一黒點あり)、各節の兩側及び各
腹面節に一黒帯あり。開張一寸四分。これは埔

二九 格子蛾科 Arbelidae

木蠹蛾科に酷似すれども、口吻は退化し、下唇鬚は小にして、斜に突出し、雄の觸角は末端迄羽状を呈し、距は小若くは消滅す、抱刺なし、前翅の第一脈(m)は基部にて分支し、第三内脈(lc)を缺く、胞室なし、後翅に三内縁脈あり、前後の兩中室に唯だ單純なる一脈を有す。幼蟲は樹木内に蠢入す。本邦學名を有するもの二種あり。

パイハラコウシガ……………(一八八四)

Arbela latipennis Mats.

前翅は灰白、紋條は暗色、横脈紋及び縫線の末端に近き一紋は褐色、前縁に沿ひ約十個の小紋を列ね、中室に三紋ありて、外方のものは長く、第一室に暗色紋多く、後横線は一双にして、後方にて合し、縦脈によりて遮断せらる、縁毛は初光を放ち、少しく紅色を帯ぶ。後翅は暗灰色。開張一寸。これはパイハラにて捕獲せるが稀なり。



分布—臺灣。

タイワンコウシガ(コウシガ)……………(一八八五)

Arbela discipuncta Willem. (Formosana Mats.)

體翅は暗紫褐色。前翅に濃色の小紋を格子状に散在す。後翅に淡色の横線ありて、網目紋を有するが如し、縁毛は淡色、前翅にては後縁角に、後翅にては肛角に青藍色の鱗毛を混す。頭及び頸板は黄褐色。觸角は基部を除き黒色。尾端は黄褐色。開張一寸六分内外。これは表飛性にして、埔里地方に産するも稀なるが如し。



アリサンシロスチカウモリ(ガ)……………(一八八六)

Hepialus arizanus Mats.

雌、體翅暗灰色。前翅前縁の外半に六個の白點を列ぬ、これより灰白の波状線を後縁に送るも判然せず、亞外縁線の部分に灰白紡錘状の一帯ありて、第五脈より第九脈に渡り、その外側は波状を呈し、第四脈上に一白紋を裝ふ、後縁の内半は暗色、第一室の中央に一黒紋を具へ、その兩側に灰白線あり。後翅前縁の外半は黄白、翅端の縁毛は黒色、第六、八室に白毛を混す。開張



一寸一分。これは阿里山にて捕獲せるも少し。

分布—臺灣。

チシマシロスチカウモリ……………(一八八七)

Hepialus gamma Hb.

チシマーナ形。雄、體翅栗色、紋條は白色。前翅前縁の中央は暗褐色、これに白點を列ね、前縁の外方及び縁毛は桃色、後横線は三紋より成り、中央の一紋は菱状をなし、後角に近きものは餘り判然せず、翅底の一縦條及び中室紋は白色なれども、餘り判然せず、中横線は同じく三紋となる。後翅は暗色、前縁の末端及び縁毛は桃色。開張一寸一分。これは千島にて捕獲せるも少し。



分布—千島、西比利亞、歐洲。

キンスチカウモリ……………(一八八八)

Hepialus lucida L.

體翅は黄色。頭頂は黒褐色、前頭及び觸角は黄褐色。前翅の中央にある網目状の斜條は帶黄銀

三〇 蝙蝠蛾科 Hepialidae

シロテンカウモリ……………(一八九〇)

Palafoxer sexnotatus Moor.

ローニン形。雌。體翅は暗灰色。前翅の斑紋は白色、その周縁は多少暗色、前縁及び後縁に暗色紋を具へ、外縁線の中央は灰白。後翅は濃色、光線の具合に依り紫色を現はす。開張一寸内外。これは本邦稀なる種類にして、北海道には産せざるが如し。



分布—本州、九州。

クスカウモリ……………(一八九一)

Phassus campiformis Suzuki

體翅暗灰色。前翅の前縁に一双をなせる黒紋列ありて、その周圍は淡色、第二、三、四紋の間は濃色、その下方に二黒點を具へ、中室の基部及び末端に近く銀色の二紋を裝ひ、下方にあるものは何れも小形、この銀紋を連續する黒色の大三角形紋ありて、その一邊は第二脈に沿へり、外縁に近く一対の暗色の環紋列ありて、その紋の各中央には一横線あり、後縁の基半部に灰

那、歐洲。

ホツボカウモリ……………(一八九九)

Palafoxer hopponis Mats.

雌、體翅暗灰色(鼠色)。前翅の前縁、外縁、翅に近き二紋等は暗色、後縁の中央に一黒點を具へ、その前方は白線にて縁取られ、亞外縁線上に小形なる弦月形の白紋を具へ、その外側は同様の黒紋にて縁取らる、外側に三條の暗色斜條あるも、餘り判然せず、翅底の二暗色紋間は淡色、縁毛は暗色と灰色の斑をなす。後翅は暗色、後縁に黄紋を列ぬ。開張一寸三分。これは北埔にて捕獲せるが少し。



♀



色の縦横線を散在す。開張二寸三分—三寸二分。この幼蟲は樟の害蟲なり。臺北地方に稀ならず。

分布—臺灣。

ナミカウモリ(カウモリガ)……………(一八九三)

Plasius exeroscous Butl.

體翅は暗色。觸角は黄色。前翅前縁の五紋は黒色、中室基部の二紋、外方の三紋並に外縁上方の數紋は白色、中央及び外方の雲状紋は濃色。後翅は暗色。雄にては後胸の兩側に橙黄の刷毛

♂



状毛を装ひ、尾端の房状毛は黒色。開張二寸七分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、日没より現はれ、蝙蝠の如く一定の處を飛行す。幼蟲はニハトコ其他クサギの材部に蠶入して食害す。

分布—北海道、本州、滿洲。

キマダラカウモリ……………(一八九五)

Plasius signifer Wk.

體翅は黄褐。前翅の斜條及び斑紋は淡褐、中央部は少しく白色を帯び、褐色の短線多し。後翅は暗色、前後の兩縁は黄色。開張二寸—三寸五分内外。これは黄昏蝙蝠の如く一定の處を飛翅

♂



するの種類のし、地方的に普通なり。幼蟲は桐、桃其他クサギの材部に蠶入して大害を加ふることあり。

分布—本州、四國、九州、朝鮮、印度。



三 螟蛾科 Pyralidae

印度。

コメノシマメイガ……………(一八九五)

Aglossa dimidiata Haw.

前翅黄褐、前縁に黄色の小紋を列ね、中央に判然せざる濃色紋を具へ、向外縁に近く犬牙状をなせる濃色波状線あり。後翅灰黄、暗色の太き二帯あり。開張九分内外。幼蟲は穀粒を絹絲にて綴り、其内にあつて食害す。

分布—世界共有。

ウスムラノメイガ……………(一八九六)

Acrotera neurialis Scop.

前後兩翅は暗黄褐にして、少しく紫色を現はす、翅底は稍々廣く黄色。前翅の基部に近く橙黄紋を装ふ、前後兩横線及び横脈上の短線は黒色、縁毛は白色にして、翅端、中央部及び肛角に存するものは黒

褐。後翅の後横線は黒色、縁毛は地色と同色なれ

ども、内縁に至るに暗淡色となる。開張九分内外。臺灣にては普通なり。

分布—本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、歐洲。

ツトガ……………(一八九七)

Aneytolomia chrysographella Koll.

體翅黄白。前翅外縁の中央は少しく弓状に刻られ、淡黄褐の細鱗を散在す、外縁は、稍々白色、



これに二個の褐色紋を装ひ、其内外に褐色の波状線を横走す。後翅黄白。開張八分五厘内外。幼蟲は稻の根際より二三寸の上

に糸を吐きて葉を綴り、筒様の巢を造りて其内に住し、夜間若くは曇天に出でて食害す。

分布—本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

ツツリガ……………(一八九八)

Aphomia gularis Zall.

體翅灰色。前翅の中央に近く黒色の一紋を装ひ、外縁に沿ひ淡色の波状線あり。後翅灰白色、後縁に至るに従ひ少しく濃色。開張七分五

♀



體翅光澤ある暗灰色。翅に斑紋を缺く、静止の時は翅を捲き圓柱形をなす。開張八分内外。これは蜜蠟に寄生す。

分布—本州、朝鮮、臺灣、歐洲、北亞米利加、

第六 鱗翅目(蛾亞目)



♀

厩内外。幼蟲は穀物、穀粉、種子、古紙、古布、毛氈等に寄生す。
分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那、印度。

ホソスチツトガ *Argyria interruptella* Wk. (一八九九)

前翅は銀白色。中後兩横線及び翅端近くの數點は橙黄色、外縁線は黒褐色にして、後半は點列と成る、縁毛は白色にして、基部は少しく暗色を帯び、金属性の光澤を放つ。後翅は白色、橙黄色の後横線を有すれども、餘り判然せず、外縁線の前半は暗褐色、縁毛は白色、頭胸部は白色、頸部に橙黄色の部分あり。腹部は灰白。開張六分内外。これは多からず。
分布 北海道、本州、九州、朝鮮、支那、ペナン。



♂

分布 北海道、本州、九州、臺灣、ボルネオ、スマトラ、印度。
カバヘリノメイガ *Bothyodes asialis* Gn. (一九〇五)
體翅は橙黄色。翅の斑紋及び外縁は廣く黄褐色。開張一寸六分内外。臺灣にては可成普通の種類なり。



♂

オ、スマトラ、印度。

ウスカパイロノメイガ *Bothyodes caldusalis* Wk. (一九〇六)



♀

臺灣、シンガポール、ボルネオ、ビルマ、瓜哇、印度。



♂

體翅は橙黄色。翅の斑紋は橙黄色。翅の斑紋及び外縁は廣く黄褐色。開張一寸六分内外。臺灣にては可成普通の種類なり。

Argyria ornatalis Loew

前翅黒褐色、少しく白鱗を混じ、中央の縦條は白色、中後兩横線は黒褐色にして、其外側は白色、外縁線は黒色にして、後半は點列と成る、縁毛は暗褐色、基部は白色。後翅は白色、少しく暗褐色を帯び、縁毛は白色。腹部は灰白。開張六分内外。多からず。
分布 千島、北海道、本州、九州、朝鮮、ウスリ。



♂

マヘトビノメイガ *Boechoris albipalis* Lecl. (一九〇一)
前後兩翅の基部半は黄白色にして、此中の斑紋及び前縁は黒褐色、外半は黒褐色、縁毛は淡色、頭部は暗褐色。胸腹部は黄白にして、腹部は末端に至るに暗褐色を帯ぶ。開張九分内外。多からず。
分布 九州、臺灣、ビルマ、瓜哇、印度。

ナカキノメイガ *Boechoris albipalis* Lecl. (一九〇二)



♂

紋及び縁毛は暗褐色。開張一寸内外。臺灣にては極めて普通なり。
分布 臺灣、シンガポール、瓜哇、印度。

オホキノメイガ *Bothyodes tenuipalis* Loew (一九〇七)

體翅は硫黄色、翅の斑紋は暗褐色。前翅の外縁は翅端を除き廣く黄褐色にして、内側に二個の大なる暗褐色を帯ぶ。開張一寸六分内外。臺灣地方には稀ならず。
分布 本州、四國、臺灣、支那、印度。



♀

支那、印度。

ツマクロシマメイガ *Hostra indicator* Wk. (一九〇八)

前翅は暗褐色、中央部は淡色、前後兩横線は淡色、横脈紋は黒色、縁毛は地色よりも稍濃色にして、外半は少しく赤味を帯ぶ。後翅は暗灰色、外半は暗褐色を帯び、中央に暗褐色横線を帯へども前、後兩縁に至るに



♂

赤味を帯ぶ。後翅は暗灰色、外半は暗褐色を帯び、中央に暗褐色横線を帯へども前、後兩縁に至るに

Boechoris aphalis Wk.

前翅暗褐色にして、斑紋黄色、横線は暗褐色にして判然せず。後翅の基部半は黄色、外半及び横線は暗褐色、兩翅縁毛の外半は淡色。體は黄色にして、少しく暗褐色を帯ぶ。開張九分内外。少なし。
分布 本州、四國、臺灣、ビルマ、西蘭、印度。



♂

シロモンノメイガ *Boechoris inspersalis* Zell. (一九〇二)
體翅は黒色。翅の斑紋は白色、翅端及び肛角の縁毛に白色部あり。開張七分五厘内外。これは本邦稀ならざる種類なり。
分布 北海道、本州、四國、臺灣、支那、瓜哇、ビルマ、印度、阿弗利加。

オホシロモンノメイガ *Boechoris telphusalis* Wk. (一九〇四)



♂

前後兩翅は暗褐色、少しく紫色を帯び、斑紋及び判然せず、縁毛は前翅と種々同色。開張九分一寸四分。臺灣にては普通の種類なり。
分布 本州、四國、九州、臺灣、朝鮮、スマトラ、ボルネオ、印度。

シロテウスグロミツメイガ *Brachina atopalis* Wk. (一九〇九)
前後兩翅は暗褐色、後横線、外縁及び縁毛の基部は黒色、縁毛の外半は白色。前翅の横脈上に短黒線ありて、其外方に稍々大なる黄白色を帯ぶ。開張一寸内外。本邦稀ならざる種類なり。
分布 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。



♂

ソトウスキノメイガ *Calamochrous tranquillalis* Lecl. (一九一〇)

前翅の三分の二は橙黄色にして、大半暗紫色を帯び、中室紋及び横線は一層濃色、後者は後縁にて頗る肥大せり、外方の三分の一は黄色。後翅は淡黄色にし



♂

色。後翅は淡黄色にし

て、斑紋を缺く。頭胸及び腹基部の二節は橙黄色、腹部暗褐色にして、暗紫色を帯び、尾節は淡色。開張一寸四分内外。稀ならず。

分布 臺灣、印度、其他熱帯地方。

ハナダカミツメイガ

Campomastix hispanalis Wk.

前後兩翅は暗赤褐色。前翅に前後兩横線を有すれども餘り判然せず。兩翅の縁毛は淡色。頭胸及び腹部は翅と同色。腹端の簇毛は黄色。開張八分内外。臺灣にては餘り稀ならず。



分布 九州、臺灣、印度、ボルネオ、ヒマラヤ。

アトモンミツメイガ

Catocalpa blandialis Wk.



前翅は黄色、斑紋白色にして、中央にあるものは黒褐色を混ぜず、外縁の近くに存するものは前縁の半部を除き暗色を呈し、銀色の光澤

を放つ、縁毛は暗色。後翅は白色、外半に黒褐色を混じり、外縁は黄色、其内に黒紋を横列し、各紋の中央は金屬性の青色にして、光澤を放つ、縁毛暗色。開張四分五厘内外。少なからず。

分布 北海道、本州、九州、臺灣、其他熱帯地方。

キオビミツメイガ

Catocalpa nivalis Btl.

兩翅は白色、紋帯は黄色、何れも暗色線にて縁取らる。後翅の外縁に近く黒色鱗を密布せる廣き部分あり、外縁に五黒紋を横列す。縁毛は兩翅共に白色。體は白色。開張七分内外。本邦餘り多からざる種類なり。



分布 本州、四國、朝鮮、支那、アムール。

テングノメイガ

Catoprosopus monstruosus Btl.

體翅は暗黄褐色。前翅三分の一の處に黒褐色の一條を横走し、外縁に近く稍々弓状をなせる同色の一帶ありて、その前縁内方に半卵形の大黒褐色



を裝ひ、尙、前縁の基部、中室の二紋、その下方の一紋は暗灰色。後翅三分の一の處に十字形の黒褐色を具へ、外縁及び縁毛は暗色。下唇鬚は頗る長し。開張一寸二分内外。これは稀なり。

分布 北海道、本州、九州、朝鮮。

シヤクトリノメイガ

Ceratarella umbrosa Swinh.

前翅は暗褐色、中央部は淡色にして、灰色を帯び、暗褐色を散布し、中室紋は暗褐色。後翅は暗灰色にして、判然せざる三條の暗褐色を具へ、尙全體に暗褐色を散布す。兩翅の縁毛は暗褐色、その基部は淡色。體は暗褐色、腹端の簇毛は黄白色。開張一寸二分内外。臺灣に稀ならず。



分布 九州、臺灣、印度。

オホメイガ

Chilo gemmatellus Loew.



前翅は淡き黄褐色、少しく黒鱗を散在す、外縁に黒點列を裝ふ、縁毛は白色。後翅は淡黄白色、縁毛は白色。頭胸部は前翅と同色。腹部は灰白色。開張八分五厘内外。本邦及び朝鮮に産すれども稀なる種類なり。

分布 樺太、北海道、本州、九州、朝鮮。

ウスグロメイガ

Chilo infuscatellus Snell.

前翅は暗褐色、中室の外縁及び其下方に暗色點を具へ、外縁に黒點列を裝ふ、縁毛は少しく淡色。後翅は白色乃至灰白色。開張九分内外。幼蟲は甘蔗に寄生し大害を加ふ。



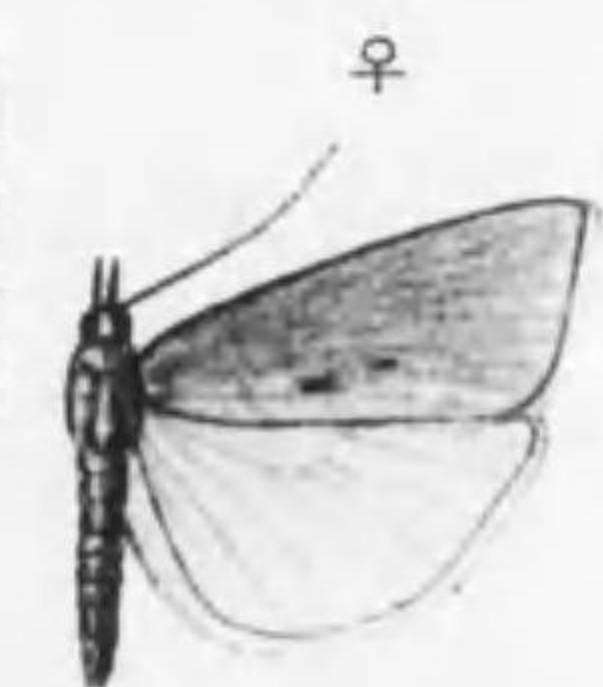
分布 臺灣、瓜哇。

キメイガ

Chilo luteellus Motsch.

頭胸部及び前翅は黄褐色。後翅は白色、兩翅共

第六 鱗翅目(蛾亞目)



に紋線を缺く。腹部は灰白色。開張一寸二分内外。北海道及び本州に産すれども極めて稀なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那、西

イネメイガ

Chilo simplex Btl.

前翅は略ぼ長方形にして、灰黄褐色の細鱗を散在す、外縁に縦線多く、黒色の紋列を裝ふ。開張四分内外。幼蟲は稻の害蟲にして本邦有名なる螟蟲なり、尙他に甘蔗、蘆、粟、稗等にも寄生す。



分布 日本全土、臺灣、朝鮮、支那、馬來、印度。

コブノメイガ

Chaphalocroceis medialis Gn.

體翅黄色。前翅の前縁、外縁、各横線及び中室



點は暗褐色。雄は前縁の中央に瘤状の毛塊を裝ふ。後翅の外縁、中央の横帯及び中室紋は暗褐色。下唇鬚、肩部及び尾節は黒褐色。開張六分内外。幼蟲は稻其他禾本科植物の雜草を食害す。

分布 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、アムール、濠洲、瓜哇、西蘭、印度。

シロスチツトガ

Orambus argyrolorus Btl.

頭は白色。下唇鬚も亦白色にして、兩側暗褐色。胸腹兩部は暗褐色にして、前者は背部の中央に白條を裝ふ。前翅は淡き暗褐色、前縁の下方に稍々廣き銀白の縦線を具へ、外縁に近く小黒點列を裝ひ、縁毛は銀白色。後翅は前翅よりも少しく淡色、個體に依つて全く白色なるものあり。開張九分内外。



分布 北海道、本州、四國、九州、支那、印度、歐洲。

ゴマフツトガ.....(一九三三)

Crambus atrisquamatus Hampy.

頭胸部及び前翅は灰黄色、少しく黒鱗を散在す。前翅外縁の後縁半に二三個の黒點を装ふ。後翅は黄白、翅端に近き部分は少しく暗褐色を帯ぶ。前翅の縁毛は地色よりも少しく淡色、後翅のものは白色。腹部は前翅と同色。開張一寸内外。これは本邦稀なる種類なり。



分布 北海道、本州、九州、朝鮮、支那、アムール。

テンスチツトガ.....(一九三三)

Crambus distinctellus Leech.

體及び前翅は白色。前翅に黒鱗を散在し、縦横線は一双より成り、褐色、外縁線黒色、後縁半にて小點列となる。後翅は白色、内縁を除き淡き暗褐色を帯ぶ。外縁線は前半にて



列然す、縁毛は白色。開張八分五厘内外。これ

は北海道及び樺太に最も普通なる種類なり。

分布 樺太、北海道、千島。

クロフタオビツトガ.....(一九三四)

Crambus columbinellus South.

體翅は灰色、褐色鱗を密布し、前縁半に於て特に濃厚なり、外縁に近く二褐横線ありてこれは前後兩縁に至るに隨ひ不明となる、縁毛は褐色、黒紋を具ふ。後翅は淡き暗褐色、外縁に近く暗褐色、縁毛は白色。開張八分内外。北海道に於ては八月、本州及び朝鮮にありては七月頃出現すれども稀なり。



分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

ウスクロスチツトガ.....(一九三五)

Crambus thlogrammus Zell.

下唇鬚及び頭部は白色、前者の下面は暗褐色。體は黄白色。前翅



ギンスチツトガ.....(一九三九)

Crambus humilellus Zell.

頭胸部及び前翅は黄白色。前翅前縁に廣き銀白縦條ありて黒褐線にて縁取らる、其外方の翅脈は後横線までの間黒褐、後横線は銀白、翅端に短かき黒線ありて、其下方に小黒點を横列す、縁毛は銀白色。後翅は白色、外半は少しく褐色を帯ぶ、縁毛は白色。腹部は白色、少しく黄色を帯ぶ。開張八分内外。札幌附近に普通の種類なり。



分布 北海道、本州、九州、朝鮮、アムール、歐洲。

マヘキツトガ.....(一九四〇)

Crambus inclaris Wk.

體翅は銀白色。翅に斑紋を缺く、前翅縁毛に黒點列を装へども多くは判然せず。開張八分内外。これは本邦稀ならざる種類なり。



分布 日本全土、朝鮮、支那、印度。

シフヤツトガ.....(一九三六)

Crambus fulvifolius Hampy.

體翅は白色。前翅は翅底及び後縁を除き暗褐色を帯ぶ、二暗褐線を有すれども餘り判然せず、縁毛暗褐、少しく白色を混ず。後翅は白色、翅端及び外縁部の前半は少しく暗褐色を帯ぶ、基部の縁毛も亦暗褐、殘部の縁毛白色。開張七分五厘内外。八月頃に現はるれども餘り多からず。



分布 北海道、アムール。

マヘシロツトガ.....(一九三二)

Crambus inxellus Wk.

頭部は灰白。胸背は灰色、淡き暗褐色を帯ぶ。腹部は灰白、背面は少しく黄色を装ふ。前翅は淡き暗褐、翅脈及び前縁は廣く灰白、尙後縁の大部分も多少淡色。後翅は白色、外半はかすかに暗褐色を帯ぶ。開張七分内外。本邦餘り多からざる種類なり。



分布 本州、朝鮮、臺灣、支那。

ウスグロツトガ.....(一九三三)

Crambus inxellus H. &

體翅は黄褐色。前翅の中室及び横脈の直下並びに中室の外方に銀白色の縦條を具へ、尙ほ後横線も亦同色、此線の外側に白色帯ありて黒色鱗を密布す、外縁の後半に黒點を装ふ、縁毛は白色、外半暗褐色、共に光澤を有す。後翅は暗褐、縁毛は白色。開張八分内外。稀ならず。



分布 北海道、歐洲、北米。

エダツトガ.....(一九三七)

Crambus lamellus Thunb.

前翅は褐色、外縁部は白鱗を混じ、翅端に白色部あり、前縁の縦條は雪白色、後横線は白色にして、其内側は暗褐色にて縁取らる、外縁の紋列は黒色、縁毛は暗褐色、翅端に存するものは白毛を混ぜ、共に金屬性光澤を放つ。後翅は灰白、縁毛は白色。頭部は暗黄、腹部は灰白色。開張七分五厘内外。八、九月頃北海道及び樺太に於ては餘り稀ならざる種類なり。



分布 樺太、北海道、歐洲、北米。

ツマスチツトガ.....(一九三八)

Crambus hortuellus Hb.

前翅は褐色、翅脈は黄白、外縁近くの横線は銀白色、外縁は後半に三黒點を装ふ、縁毛は金屬性の光澤を放つ。後翅は灰色。開張八分内外。札幌附近に普通の種類にして



幼蟲は牧草の根元に棲息す。

分布 樺太、北海道、歐洲、北米。

分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、歐洲。

フタテンツトガ.....(一九三)

Crambus myallus Hb.

前翅は暗黄灰色、中央の縦線白色、外縁線は黒色にして、断続す、縁毛は淡色。後翅は光澤ある灰色、縁毛は淡黄白色。頭及び胸背は白色、後者の兩側は灰黄色、腹部は光澤ある鉛色、尾端の簇毛は前翅よりも少しく淡色。開張八分内外。幼蟲は石上の苔下に住す。樺太にては最も普通の種類なり。



サツマツトガ.....(一九四)

Crambus obliterans Wk.

體翅は白色。前翅は少しく黄色を帯び、中央の二點、外縁近くの一線及び外縁線は褐色、縁毛は白色。後翅には斑紋を缺き、縁毛は白色。



色。開張五分五厘内外。幼蟲は稻の莖に寄生す。

分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、ボルネオ。

ギントガリツトガ.....(一九五)

Crambus juscullus L.

前翅は帯褐黄色、後縁淡色、廣き縦線及び翅脈は銀白色、何れも黒褐線にて縁取らる、後横線は白色、前縁の外半に黒褐及び白色の短斜線あり、外縁の翅端に短黒褐線、中央に數個の黒點を裝ふ、縁毛は光澤ある鉛色、基部は白色。後翅は灰白。頭胸部は帶褐黄色にして、腹部は灰白。開張八分内外。多し。



ウスギンツトガ.....(一九六)

Crambus perellus Zool.

頭胸部及び前翅は光澤ある銀白色、少しく黄色を帯ぶ。前翅の縁毛



は白色、後翅は白色、翅端近くの大部分は少しく暗色を帯ぶ。腹部は灰黄。開張八分内外。幼蟲は牧草の莖を食とす。北海道及び樺太に普通なり。

ヒシモンツトガ.....(一九七)

Crambus janelus L.

前翅は暗黄灰色、中央に廣き白色縦線ありて、中央に暗褐斜線を具ふ、これより外方の周縁は暗褐、前縁の外半に暗褐の短斜線を裝へども餘り判然せず、外縁線は暗褐、縁毛は暗色、中央に濃色線を横走す。後翅は光澤ある暗灰色縁毛は白色。開張七分内外。幼蟲は雜草の莖を食とす。



ナカモンツトガ.....(一九八)

Crambus porcellus nellus Motech.



分布—臺灣、比島、印度。

シロテンミツメイガ.....(一九九)

Diathrausta brevifasciata Wltem.

前後兩翅は少しく藍色を帯べる褐色、斑紋は白色、縁毛の所々に褐色部あれども、大部分白色。開張六分内外。此種は本邦南部地方に稀ならざるが如し。



分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣。

スチメイガ.....(一九〇)

Diatraea venosata Wk.

前翅は灰黄色、外縁に七黒點を列ね、中室に近く各二個の黒點あり、全面に黒褐の細き縦線を裝ひ、縁毛の外半淡色。後翅は前翅より稍々淡色、外縁に黒點を列ね、雌の後翅は白色にして、外縁の點列を缺く。開張一寸一寸三分は本種。臺灣にては甘蔗の害蟲として最も恐るべき一種なり。



分布—臺灣、支那、瓜哇、ボルネオ。

シロツトガ.....(一九九)

Crambus purellus Leech

體翅は銀白色。前翅は横脈上に一小黒點を裝ひ、若干の黄色點を散在すれども餘り判然せず。縁毛は前半にて少しく黄色を帯ぶ。後翅は翅端は狭く暗色を帯び、外縁線は前半暗色、縁毛は白色。開張一寸内外。これは北海道に産すれども稀なり。



分布—北海道。

クロスチツトガ.....(一九〇)

Crambus striatellus Leech

前翅は黄褐、多數の断續せる黒縦線を裝ふ。亞外縁線は白色にして、内側は褐色



ホソミスチノメイガ

Diheoproctis chloropantha Faith.



雄
體翅は黄色。翅の各横線及び斑點は何れも暗褐色、縁毛は淡き白色にして、基部に近く暗褐色を横走す。腹部各節の後縁は白色にして、末端に近く背上一黒紋を装ふ。

開張九分内外。本邦普通なる種類なり。
分布 北海道、本州、九州、臺灣、朝鮮、支那。

ヨツクロテンノメイガ

Diheoproctis tigrina Moor.



雄
體翅は黄白。翅の各横線は暗黄。前翅の前縁及び横脈上に黒紋を装ふ。兩翅の縁毛は淡色にして、基部に近く暗色線を横走す。腹部の末端近く背上一黒紋を装ふ。開張七分五厘内外。臺灣地方に稀ならざる種類なり。
分布 臺灣、ボルネオ、印度。

Dioyctria mikadella



前翅灰白、中室の基部及び外縁に暗色の各一紋を具へ、外側にあるものは稍々二紋となる、外縁の三分の一は暗色、中央に灰白の一波状帯あり、外縁淡色、數個の斑點を横列す、縁毛灰色、光線の具合にて少しく紅紫色を現はす。後翅暗灰色。開張七分一寸。幼蟲は女貞に寄生す。稀ならず。
分布 本州。

モモノメイガ

Diheoproctis punctiferalis Gn.



雌
體翅黄白。前翅に二十五六個、後翅に十五個、胸部に五個、腹部に十四個の黒褐紋を散在す。開張九分五厘内外。幼蟲は桃、栗、柑橘、トウモロコシ等の果實を食害す。
分布 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、瓜哇、印度。

マツマダラメイガ

Dioyctria abactella Schiff. et Den.



雄
前翅暗灰色、中央に白點を具へ、外縁に近く白色及び黒色を交へたる波状線あり。後翅灰白。開張一寸内外。幼蟲は松、唐楡、樺、エゾマツ、アカエゾを食害す。
分布 北海道、本州、歐洲。

アトハネアカフノメイガ

Discollyria ferruginata Moor.



雌
體翅は褐色。翅の横線及び中室紋は暗褐。前翅外縁部の中央は少しく暗褐色を帯ぶ。後翅底に近く内縁に稍太き二赤褐色を具へ、後横線の外側にも同色の一線あり、外縁線は暗褐。開張八分内外。臺灣に産すれども餘り多からず。
分布 臺灣、印度。

ミカドマダラメイガ

(一九四九)

ヨツクロモンミツメイガ

Ecophylia conjunctalis Wlkem. et South



雄
兩翅は黄色、斑紋は銀白色。前翅の亞外縁線及び外縁線は黒色にして断續す、縁毛は白。後翅は外縁の前半に黒紋を横列し、各紋の中央は銀白色にして、光線の具合に依り金屬性の光澤を放つ、縁毛は白色。開張八分内外。臺灣に最も普通の種類なり。
分布 臺灣。

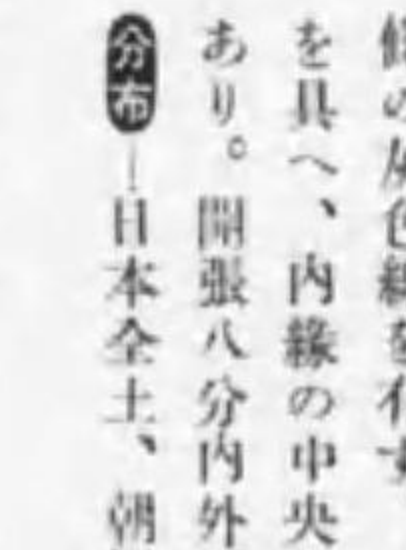
Epiphyas setinialis



雌
前翅は黄色、斑紋は黒色。後翅は黄白色、斑紋は前翅と同じく黒色。體は黄色。開張一寸内外。臺灣に産すれども餘り多からず。
分布 臺灣。

ツツマダラメイガ

Eurhodya tokella Rag.



雌
個の細き横線ありて翅を三分す、外縁に近き黒線は其外側に、翅底に近き黒線は其内側に各一條の灰色線を有す、此二黒線の中間に一短黒線を具へ、内縁の中央及び外縁に近く黒色の點線あり。開張八分内外。幼蟲は梨果に蠶入す。
分布 日本全土、朝鮮。

テンオビノメイガ

Epiphyas multioctostalis Hampy.



雄
前翅は橙黄色、斑紋は黒色乃至暗色。後翅は少しく前翅よりも淡色、暗色の斑點あれども餘り判然せず。體は橙黄色。開張七分五厘内外。臺灣には可成多く産す。
分布 臺灣、濠洲、ビルマ、ボルネオ、印度。

イネハカジミツメイガ

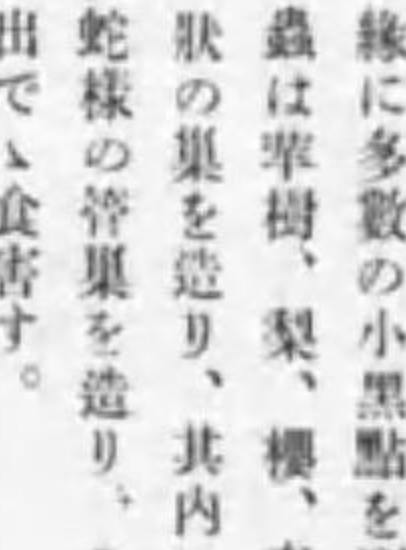
Epiphyas nawae Mats.



雄
前翅黄白色、光線の具合にて少しく紫色を現はす、紋線黒褐、波状線暗色、之より外縁に至る迄及び前縁は灰黄色。開張五分五厘内外。幼蟲は稻の葉を桿状に捲く。
分布 本州、四國、九州、印度。

ナシマダラメイガ

Eurhodya



雌
前翅灰褐若くは灰黒、二
分布 北海道、本州。

フタテンオビノメイガ

(一九五三)



前後兩翅は白色、少しく黄色を帯ぶることあり、斑紋は黒色頭胸部は橙黄色。腹部は黒色にして、各節の後縁は淡黄白。開張一寸内外。幼蟲はイラクサ、ハクカ等の葉を食す。

分布 樺太、朝鮮、支那、歐洲。

スチマガリキノメイガ

Earrhyarodes contortalis Hamp.

前後兩翅は黄白色、斑紋及び後翅の外半は暗褐色。頭胸部は黄白にして少しく褐色毛を混ず。腹部は暗褐色にして、各節の後縁は黄白、尾端の簇毛は黄褐。開張一寸内外。臺灣に産すれども餘り多からず。

分布 臺灣、アムール。

ハチミツツガ

Galleria mellonella L.

前翅灰褐、黒褐の鱗毛を散在し、之れは特に後



縁に於て多し、翅の中央並に外縁は少しく淡色、翅端に近く四條の短かき灰白線を斜走す。後翅灰白、翅端は少しく暗色を帯ぶ。體灰褐。開張一寸一分内外。幼蟲は蜂蜜、蠟、毛皮、羊毛等に寄生す。

分布 世界共有。

クロヘリキノメイガ

Goniorhynchus butyrosa Butl.

體翅は淡黄色。翅の斑紋、前翅の前縁、外縁及び後翅の外縁並に縁毛は何れも暗褐色。開張七分五厘内外。臺灣にては稀ならざる種類なり。

分布 本州、四國、九州、臺灣、支那。



ウスムラサキノメイガ
Hemioopsis cinerea Warr.
體翅は暗紫色。翅の



各横線は濃色にして、判然す。兩翅後横線の前後は極めて濃色、縁毛は基部に淡色線を横走す。開張一寸内外。本邦稀ならざる種類なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣。

ウストビシマメイガ

Herenia japonica Warr.

兩翅は暗褐色、横線及び縁毛は黄色。前翅前縁は前後兩横線間に多數の小黄色點を裝ふ。體は暗褐。開張八分五厘内外。稀なり。

分布 本州、九州、支那。

アカシマメイガ

Herenia peisgalis Wl.

前翅は赤褐、少しく暗色を帯ぶ、前後兩横線は暗黄色、前横線の外側及び後横線の内側は暗色、尙ほ兩翅は前縁にて黄紋

と成る、前縁は兩線間に小黄色點を裝ふ。後翅は赤褐、中央の二横線は黄色、その間室は多少暗色を帯ぶ。兩翅の縁毛は赤褐、外半は黄色。開張一寸五分内外。本邦及び臺灣に普通の種類なり。

分布 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。

ツマキシマメイガ

Herenia plaeus Butl.

前翅は黄褐、前後兩横線は黄色、前縁は兩線間に多數の小黄色點を裝ひ、縁毛は黄色、基部は淡黄、暗色を帯び、中央の二横線は黄色、縁毛は前翅に同じ。頭胸部は前翅と、腹部は後翅と同色。開張八分内外。七、八月の候、札幌地方に稀ならざる種類なり。

分布 北海道、本州、九州、支那。

キンボシシマメイガ

Hirayamaia regalis Leech

兩翅は深紅色。前翅の基部は後縁を除き多少



暗色を帯ぶ。前後兩横線暗色にして、餘り判然せず、中室外方の黄色紋は黒線にて縁取らる。後翅内半は白色を帯び、中央の濃色横線は前、後兩縁にて判然せず。縁毛は兩翅共に濃色。開張九分内外。朝鮮に普通の種類なり。

分布 本州、四國、朝鮮、支那。

ツマキシロヘリノメイガ

Hyalobathra coenostolalis Snell.

體翅は淡褐。翅の斑紋及び横線は黒色。前翅の前縁は後横線を越えて廣く黄色、兩翅の縁毛は白色。開張九分五厘内外。臺灣に産すれども餘り多からず。

分布 臺灣、ビルマ、印度。

ソトムラサキノメイガ

Hyalobathra flalis Gu.

前後兩翅は橙黄色、横線は暗色、前翅の横脈斑及び兩翅後横線の外側は廣く紫色、外縁は黄褐、



縁毛の基部は淡褐、外半は白色、中央に黒線を横走す。體は淡橙黄色。開張七分内外。臺灣にては稀ならず。

分布 臺灣、印度、其他熱帶地方。

シロオビノメイガ

Hymenia reurvalis F.

體翅暗褐。頭及び腹部に白帯あり。前翅の中央に白帯ありて、其中央の外側に犬牙様の一突紋を出す、之れは後翅の白帯に連続し八字形をなす、翅端に近き前縁に白色の一枚を具す。

へ、其下方に白色の二小點あり、縁毛は暗灰色、基部白色、尙白色の二紋あり。開張七分内外。幼蟲は苜蓿、甘菜、玉蜀黍、黍等に寄生す。

分布 日本全土、沖縄、臺灣、支那、印度、澳洲、阿弗利加。

トビイロシマメイガ

Hypsopygia regina Butl.

前翅は暗褐、藍色を帯ぶ、前後兩横線暗色にし



両翅は黄白、斑紋は白色にして、黒線にて縁取られ、縁毛の基部近くに暗色線を横走す。頭胸部は白色。腹部は淡褐色にして、各節の後縁は白色。開張九分内外。これは多からず。
分布 千島、北海道、本州、朝鮮、支那。

ヒメマダラミヅメイガ.....(11005)

Nymphula tritata Hant.



前翅は淡き黄褐色にして、黒褐斑を混ず、紋線は白色、縁毛は中央に暗褐色を横走す。後翅は前翅と同色、斑紋は白色、中央に白帯ありて、前縁に近く黄褐の同紋を装ひ、外縁に近く断續せる暗褐斑列あり、縁毛は前翅のものと同じ。開張八分内外。本邦餘り稀ならざる種類なり。
分布 北海道、本州、九州、朝鮮、臺灣、支那、アムール。



両翅は灰色、少しく褐色を帯ぶ。前翅横脈上に一黒點を具へ、暗色の後横線を装へども餘り判然せず、亜外縁線及び外縁線は暗色、縁毛は遙に淡色にして、中央に暗色線を具ふ、縁毛は前翅のものと同じ。開張七分内外。幼蟲は稻に寄生す。多からず。
分布 北海道、本州、朝鮮、シベリヤ。

ムナカタミヅメイガ.....(11006)

Nymphula ussuriensis Rebel



體翅は白色。前翅の中央に二黒點を装ひ、其外側に弓状をなせる黄色と銀色との廣帯各二條あり、翅底及び中央には小黒點を散在す。後翅白色、中央に二條を具へ、後縁の半部は黄色、其中央に銀色帯を装ひ、外側に細き黒色波状線あり。開張五分五厘内外。幼蟲は稻田に棲息し、稻の軟き葉根若くは水中

イネコミヅメイガ.....(11007)

Nymphula vitidis Brem.



前後兩翅は黄色、横帯は橙黄色。頭胸及び腹部黄色にして、少しく橙黄色毛を混ず。開張七分五厘内外。臺灣にては稀ならざる種類なり。
分布 臺灣、ビルマ、印度。

ナカグロハネツノメイガ.....(11011)

Parbatia vitis Moor.



前翅三分の二は黒褐色、外方の三分の一は淡き暗褐、中央紋及び後横線は極めて淡色、外縁に黒褐點を横列す。後翅は前翅よりも遙に淡色にして褐色を帯び、中央に暗色線を横走す、外縁線は黒褐點より成る。頭及び胸部は暗褐。前胸は黒褐。腹部は暗褐にして、背上に黒褐紋を二列に横走す。開張一寸内外。これは少なし。
分布 臺灣、印度。

シロナミヅメイガ.....(11013)

Parthonotes procligalis Leech



にある白色部を食害す。多からず。
分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那、アムール。
ハイマダラノメイガ.....(11008)
Ocelia nivalis F.
體翅灰色。前翅の基部に近く三分の一の處に淡色の波状帯を具へ、中室の外側に暗色の環状紋を装ひ、其外側に弓形をなせる淡色の一帯あり、外縁線淡色、これに七個の黒點を列ね、翅端淡色。後翅暗灰色。後縁に暗色帯あり。開張五分三厘内外。臺灣にて幼蟲は大根其他十字科植物に寄生す。普通なり。
分布 北海道、本州、臺灣、支那、其他熱帶地方。

アツサノメイガ.....(11009)

Omphisa plagialis Wlsm.



前翅は暗褐、中央部及び外縁に黄色、斑紋は白色、縁毛暗色にして基部に近く濃色線を横走し、その内外兩側は淡色。後翅は黄色、白色の條帯を具へ、中央のものは最も廣く、前後の兩側は稍々太き暗褐色にて縁取らる。縁毛は前翅のものと同じ。開張七分内外。臺灣にては稀ならざる種類なり。
分布 本州、朝鮮、臺灣。

モンキミヅメイガ.....(11012)

Pelena sericea Hant.



兩翅は暗褐色。前翅の前後兩横線は暗色なれども餘り判然せず、前縁の中央部は黄色を帯ぶ、横脈暗褐色にして、外側に黄白紋を具ふ、尙前縁は後横線の外側に一黄白紋を装ふ、縁毛は黄色。後翅には暗色の中室點及び後横線を有すれども餘り判然せず。開張八分内外。臺灣にては稀ならざる種類なり。



第四脈の處にて屈折す。後翅には三條の暗褐帯あり。兩翅共に脈暗色なるを以て網状をなす。開張一寸内外。幼蟲は梓の幹枝に産入し、材質部を食害す。
分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

キホシアカシマメイガ.....(11010)

Oryzina flaviplaga Wk.



前翅は肉色を帯へる淡紅色、前縁半は多少灰色を帯ぶ、前横線は黑色、後横線は暗色、前縁の中央に存する大紋は黄色。後翅は前翅よりも稍々淡色、其半部及び内縁部は稍々白色、後横線は暗色。兩翅の縁毛は多少濃色。開張一寸三分内外。臺灣に普通なる種類なり。
分布 臺灣、ビルマ、印度。

ナナオヒノメイガ.....(11011)

Fagya auroralis Moor.

本州、九州、臺灣、支那、印度。

キイロミツメイガ

Perthoploca linealis Schiff. et Den.

前後兩翅は淡黄色にして、大部分は暗色を帯ぶ。前翅の横脈紋及び後翅の後横線は暗色にして判然せず、外縁に斷續せる暗色線を横走す。體は細長く、翅と同色、腹部末端の簇毛は橙黄色。開張一寸一分内外。札幌地方にては餘り稀ならず。



北海道、本州、支那、シベリヤ、歐洲。

キハラノメイガ

Phostria noctuosa Moor.

體翅は暗褐、横線及び中室紋を有すれども餘り判然せず。前翅の縁毛は肛角上にて白色を呈す、後翅のものは後半の末端のものは一寸三分内外。白色。體の腹面は黄色。開張一寸三分内外。臺灣、西蘭。



シラフクロノメイガ

Protoplas minima Swinh.

體翅暗褐。翅は少しく紫色を現はす、斑紋は白色、縁毛は暗色にして、外半は淡色。尾端の簇毛は橙黄色。開張一寸二分内外。臺灣には稀ならざる種類なり。

クロミヤクアカシマメイガ

Protoplas nigripecta Wlk.

前翅は深紅色、翅脈黑色、各脈の間に暗色縦線を裝ふ。後翅及び頭胸部は前翅と同色。開張一寸一分内外。臺灣、比島、印度、其他熱帶地方。



臺灣地方にては餘り稀ならざる種類なり。

ブライヤマダラメイガ

Phytia pyret. Haug.

前翅は灰褐、三分の一の處に黄褐の大紋ありて其外側に白帯及び黒帯を具へ、其内側に判然せざる暗色帯及び白紋あり、中室の外側に一白紋を具へ、外縁に近く一白帯あり。外縁及び翅底は光線の具合にて褐色を帯ぶ。後翅淡褐、亞外縁線暗色。開張八分内外。幼蟲は松の新芽に蠢入し、次いで葉軸中に入りて食害す。



本州。

シロモンクロミツメイガ

Pteropora solalis Loebch.

前後兩翅は黒褐色。前翅の中室紋は白色、後横線及び肛角紋は黄白。後翅と同色。腹部は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸四分内外。臺灣にては普通に見受けらるゝ種類なり。



臺灣、支那、印度。

ミスチノメイガ

Protoplas ruf. capitata F.

體翅は暗色。翅の後横線は濃色にして、其外側に白線あり、中室紋も濃色にして、外側に白紋を裝ふ、縁毛の外半は白色。前翅の翅底は稍淡色、前横線は地色よりも稍濃色にして、内側は白色。各腹部の後縁は白色。開張八分内外。臺灣にては稀ならず。



臺灣、支那、西蘭、印度。

ヒメクロフキノメイガ

Psara cyanealis Wlk.

體翅は淡黄色。翅の横線及び中室紋は黑色。前翅の外縁は廣く暗褐。後翅



は中央に白帯を具へ、後横線は黄白。前翅の縁毛は肛角にて黄白色を呈し、後翅のものは外半にて淡黄白。頭胸及び腹部は黒褐にして、各腹部の基部は白色。開張六分五厘内外。本邦稀ならざる種類なり。

北海道、本州、四國、九州、支那、スマトラ。

ウンモンキノメイガ

Polygrammodes thoesalis Wlk.

兩翅は黄色、翅の斑紋は暗色、前翅の中室に一黒點を裝ふ、尙前翅底は少しく褐色を帯ぶ。頭及び胸部は橙黄色、腹部は暗褐。腹部は橙黄色にして、末端に至るに隨ひ淡色となる、末端の簇毛は黑色。開張一寸三分内外。これは多からず。



臺灣、ビルマ、印度。

クロフウスハノメイガ

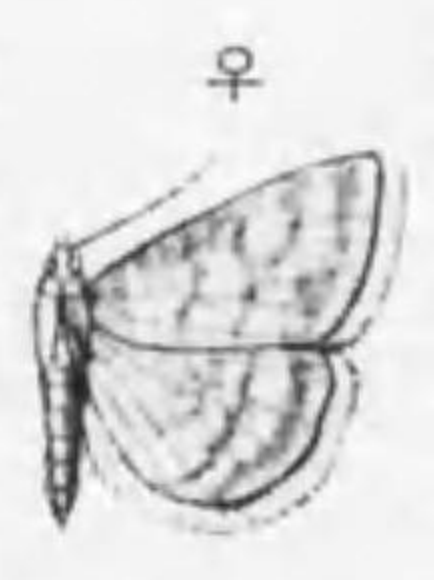
Polythripa divaricata Moor.

前後兩翅は白色、半透明にして、少しく黄色を帯ぶ。翅の先端に大なる暗褐紋あり。兩翅の外縁線は黒點より成る、縁毛は淡色。腹部は黄灰色。開張六分内外。臺灣に産すれども稀なり。

ハクカミツメイガ

Psammotis pulveralis Hll.

前翅は淡き橙黄色にして、暗褐鱗を混す、横線及び横脈紋は暗褐、縁毛は黄白色。後翅は前翅よりも少しく白味を帯び、横線は暗褐、縁毛は前翅のものと同じ。體は前翅と同色。開張八分内外。札幌附近にては極めて普通の種類にして、幼蟲は薄荷に寄生す。



北海道、中央亞細亞、歐洲。

シロヘリウスグロノメイガ

Psara minuticollis Hering.

前後兩翅は淡き暗褐色、前翅の前縁及び兩翅の外縁は廣く濃色、中室紋及び横線も亦濃色、後横線の外側は淡色、縁毛は兩翅共に淡色。體は灰



ミヤクグロノメイガ *Zylopa mutabilis* South (二〇四九)



前後兩翅は白色、半透明、少しく青色を帯ぶ、斑紋及び外縁は廣く黒色、縁毛は白色と黒色の斑をなす。前翅の前縁は少しく黄褐色を帯ぶ。體は暗褐色、白色鱗毛を混す。開張一寸二分内外。臺灣に産すれども稀なり。
分布 臺灣、支那。

ヨツメノメイガ *Sylepta quadrinaculalis* Koll. (二〇五〇)



體翅は暗褐色。翅の斑紋は白色、縁毛は肛角の近くにて白色を呈す。開張一寸二分内外。本邦稀なる種類なり。
分布 樺太(?)、本州、九州、朝鮮、臺灣、支那、印度。

ウコンノメイガ *Zylopa ruralis* Scop. (二〇五一)

其他熱帯地方。

ウスグロハネホソノメイガ *Tetralia vinuacalis* Moor. (二〇五五)



體翅は暗褐色。翅の横線及び斑紋は黒色、縁毛は少しく淡色。開張一寸三分内外。臺灣にては餘り稀ならず。
分布 臺灣、印度。

キガシラシマメイガ *Trebanta flavifrons* Leech (二〇五六)



前翅は灰褐色、煤色を帯び、各脈の間室及び縁毛は黒褐色。後翅は暗褐色。體黒褐色にして、各腹節の後縁は淡色。頭部は黄色。開張一寸二分内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。
分布 本州、九州、臺灣、支那。



體翅は黄白色。翅の斑紋及び横線は暗色、縁毛の外半は白色。開張一寸内外。本邦餘り稀ならず。
分布 北海道、本州、九州、朝鮮、臺灣、スマトラ、印度、歐洲。

タイワンモンキノメイガ *Zylopa taiwanalis* Zittl. (二〇五七)



前後兩翅は淡黄色、斑紋、横線及び外縁並に前翅の前縁は暗褐色、縁毛は斷續せる暗褐色を横列す。體は暗褐色にして、各腹節の後縁は淡黄色。開張一寸三分内外。臺灣にては餘り稀ならずの種類なり。
分布 臺灣。

ムツテンミツメイガ *Tahanga sexgyn-clalis* Moor. (二〇五八)



前翅は黄色、前縁の基部半及び中央の三角紋並に翅端近くの二紋は褐色、

タイワンクロスチノメイガ *Tyspanodes luyssalis* Warr. (二〇五九)



前翅は白色、各翅脈の間室は黒色。後翅白色にして、前縁、内縁及び外縁は暗色を帯ぶ。頭胸及び腹部の基半部は橙黄色。腹部の後半は暗色。開張一寸二分内外。臺灣にては普通の種類なり。
分布 臺灣、朝鮮、支那。

クロスチノメイガ *Tyspanodes strata* Thurl. (二〇六〇)



前翅は黄色乃至橙黄色、前縁を除き翅脈の各間室は黒色。後翅の翅底半は黄色、外半は黒色。兩翅の脈毛は暗褐色。體黄色にして、頭部及び腹部中央部の若干紋は暗色を帯ぶ。開張九分内外。本邦最も普通なる種類なり。
分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。

ナカアカシマメイガ *Tamura torridalis* Lecl. (二〇六一)



翅は黄褐色にして、赤紫色を帯ぶ。前翅の中室紋及び前後兩横線は暗色、前横線の内側及び後横線の外側は黄色、外縁に近く暗色の紋列を裝ふ。後翅の中央には暗色の二線を横走し、内方に存する線の内側及び外方に存する線の外側は黄色、中室後角の下方には三角形をなせる一白色紋を裝ふ。兩翅の外縁及び縁毛は帶紫暗褐色。開張九分一寸二分。臺灣にては稀ならずの種類なり。
分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、

ナノメイガ *Udea forficata* L. (二〇六二)



前翅暗黄、中央に暗褐色の二帯あり、翅底に近く一帯は前縁に出づ、二帯の中間に一暗色点あり、尚外縁に近く不明の一線を走らすことあり。後翅淡黄、外縁に近く暗褐色の一帯あり。體淡黄。開張九分内外。これは蘿蔔其他十字科植物に寄生し、幼蟲は葉裏にありて絹絲を吐き、其内にありて食害す。
分布 北海道、本州、九州、歐洲、印度。

三三 鳥羽蛾科

Pterophoridae

觸角短。普通單眼を缺く。頭には分支せる鱗毛を裝ふ。口吻は發達す。複眼は半球形。下唇體は短かし。小腮體は退化す。前翅は二分し、後翅は三分す、稀に前翅の三分するものあり。腹部は細長。脚は頗る長く、後脛節に二双の長距を具ふ。後翅の裏面に刺狀の小突起を有するを以て他科と區別すること容易なり。幼蟲は短形、疣狀突起より粗毛を簇生す。本邦學名を有するもの三十數種あり。花、葉、種子等を食し、農家に有害なるものあり。

ブダウトリハ *Nipoptilia vitis zuzuki* (三〇六〇)



體は黒褐。腹部の基部及び各節の後縁は白色。前翅は黒褐、前縁に近く細き一白横線を具ふ。後翅も黒褐。縁毛は兩翅共に暗色。開張四分五厘内外。八月下旬、東京地方に稀ならず。幼蟲は葡萄の害蟲

アイノトリハ *Platyptilia almonis Mats.* (三〇六四)



體及び前翅は灰白、後者の前縁及び外縁に少しく褐色鱗を混す。前翅前縁の中央より外方及び中室の外方に褐色紋を具ふ。後翅は暗褐、第三片の後縁に黒鱗あり。開張八分内外。これは七月中旬札幌地方にて捕獲し得べきも少なし。

ネギトリハ *Platyptilia esumochelys Hb.* (三〇六三)



體は灰色、頭部は暗色。前翅も亦灰色にして、外半は暗褐鱗を密布す。翅端に近く前縁に三角形の黒紋ありて、外側は白線にて縁取られ、亞外縁線は白

なり。本州。

タイワンチビトリハ *Oxyptilus formosanus Mats.* (三〇六一)



體翅は共に黒褐。前翅の外縁に近く前縁に白横線を具へ、兩翅の縁毛は淡色。脚の各節には白色の部分あり。開張四分五厘内外。これは八月の候、臺東地方に稀ならず。

チャウサンチビトリハ *Oxyptilia jozana Mats.* (三〇六一)



體は黒褐、腹背上に斷續せる一雙の白線を縱走す。前翅は暗褐、翅端に近く前縁に二短白條を裝ひ、尙ほ後縁角にも白色の部分あり。後翅は前翅と同色。

カクモントリハ *Platyptilia crenalis Meyr.* (三〇六六)



體及び前翅は白色。前翅は前縁及び外縁に少しく暗褐鱗を混じ、前縁は中央より少しく外方に當り稍々大なる暗褐の三角紋を具ふ。後翅は暗色、第三片の後縁に黒鱗を裝ふ。開張六分内外。これは七月初、中旬、札幌地方にては少なからず。

エゾトリハ *Platyptilia jezoensis Mats.* (三〇六七)

體は暗褐、後胸背及び腹部の基部は白色、各腹節の後縁も亦、白色。前翅は暗褐乃至黒褐、内半は少しく白鱗を混じ、前縁に小白點列を具

縁毛は兩翅共に淡色。開張四分内外。八月の下旬、札幌地方にて捕獲せるが少なきが如し。

キンハネチビトリハ *Oxyptilus kinbano Mats.* (三〇六三)



體翅金色の光澤ある褐色。前翅の分支せる基部に一黒紋を具へ、前片の中央に近き前縁に三黒點ありて、内方の二個は稍々長く、その紋間及び末端は淡色、その縁毛は黒色、更にその末端は白色、後片の縁毛は灰黄、外半に於ける縁毛は暗色にして、筆様の二毛を有す。後翅は前翅よりも濃色、但し第三片の基部は前翅と同色、第三片の後縁に末端前と末端に黒褐の鱗片ありて斑紋をなす。脚は黄白色、後脛節にある距の基部及び各附節の末端は暗色。開張四分。これは東京駒場地方にて捕獲せられたるが少なし。

テウセントリハ *Platyptilia korama Mats.* (三〇六八)



頭部は灰白、胸部は暗褐、腹部は赤褐。前翅は赤褐、外縁は淡色、少しく黄色を帯び、中央より少しく外方に當り一白條を斜走す。後翅は前翅と略々同色、第三片の末端に暗褐の鱗毛多し。開張七分内外。五月頃、朝鮮水原地方にて捕獲せらる。

ウスイロトリハ *Platyptilia palliolola Mats.* (三〇六九)



へ、外縁に近く二白横線あり。後翅は暗褐、縁毛は稍々白色、第三片の後縁中央に三角形の黒鱗あり。開張六分内外。札幌地方には九月上旬現はる。



體は白色、腹部の末端は少しく暗褐色を帯ぶ。前翅は白色乃至灰白、中室の外方に判然せざる橙黄紋あり。後翅は暗色、第三片の後縁に暗色の鱗毛あり。開張八分内外。これは七月中旬札幌地方にて捕獲せらる。

フヂマメトリハ (11071)

Pterophorus dolioleus Mats.

體は灰黄。胸部は灰白、暗褐色を帯ぶ。翅は暗褐色。前翅の前片に灰白の二帯を斜走し、翅端には白鱗を具へ、縁毛は暗色、末端に白毛を混ず、後片にも白毛を混じり、黒褐色を散在す。後翅の縁毛は暗色、各片の末端に白毛を混ず。脚は灰白、暗色の縦條を具へ、後脛節に二双の長距ありて、その各基部に毛塊あり。開張四分―五分。これは微小なるを以て注意せざれば捕獲困難なり。幼蟲はフヂマメの害蟲なり。

ヒロサキカマトリハ (11071)

Pterophorus hirokianus Mats.

體及び前翅は黄白色。前翅は黒褐色を粗に交え、中室の外方及び翅端に近く前縁に黒色紋を帯ぶ。後翅は暗色にして、縁毛は少しく淡色。開張五分五厘内外。九月中旬、本州及び九州地方に稀ならず。

スキゲントリハ (11070)

Platythia subgenis Mats.

體は暗灰色。前翅は灰白、暗褐色を混じり、内半に判然せざる暗褐色の三紋を具へ、翅端に近く前縁に大なる三角形の二暗褐色を帯ぶ。後翅は暗褐色、第三片の後縁中央に暗褐色あり。開張六分内外。七月中旬、朝鮮水原地方にて捕獲せらる。

マダラトリハ (11072)

Pterophorus vilis Butl.

體及び翅は白色。前翅は前縁を除き黒褐色を混ず、前縁は中央より少し

イシヤマカマトリハ (11072)

Pterophorus ishiyamans Mats.

體は灰色、褐色鱗を混ず。前翅は褐色を混じり、判然せざる黒点を散在す、縁毛は暗色。後翅も亦暗色。開張七分内外。これは十月初旬、札幌地方にて捕獲せらるゝも少なし。

エゾカマトリハ (11076)

Pterophorus japonicus Mats.

體は灰色、褐色鱗を混ず。前翅は褐色、灰色鱗を混じり、判然せざる黒点を散在す、縁毛は暗色。後翅も亦暗色。開張七分内外。これは十月初旬、札幌地方にて捕獲せらるゝも少なし。

クハヤマカマトリハ (11078)

Pterophorus kuwayamans Mats.

體は灰色、暗褐色を混ず。前翅は褐色を混じり、判然せざる黒点を散在す、縁毛は暗色。後翅も亦暗色。開張七分内外。これは十月初旬、札幌地方にて捕獲せらるゝも少なし。

イハテカマトリハ (11075)

Pterophorus iwatenis Mats.

體及び前翅は灰白。前翅は翅底に近く及び外縁に少しく褐色鱗を混じり、尙ほ中央より少しく外方の前縁に褐色紋を帯ぶ。後翅は暗色。開張八分内外。これは岩手地方にて捕獲せられたるも稀なるが如し。

コマバカマトリハ (11074)

Pterophorus komalensis Mats.

體は灰色、暗褐色を帯ぶ。翅は灰褐色。前翅は中室の外方に一黒点を具へ、他に斑紋を缺く。兩翅の縁毛は稍々同色。開張七分内外。これは早春東京地方にて捕獲せらる。

メノコカマトリハ (11079)

Pterophorus menoko Mats.

體は白色、頭及び胸部は少しく褐色鱗を混ず。前翅は灰色、黒褐色を混じり、翅底に近く二條の短黒線を縦走し、尙ほ中室の外方に一黒点を帯び、縁毛は暗色。後翅は暗色、縁毛は少しく淡色。開張六分五厘内外。八月中旬、札幌地方にて捕獲せらる。

るも少なし。

分布—北海道。

ヤナガハカマトリハ……………(二〇八〇)

Pterophorus yanagawanus Mats.

頭及び胸部は白色、暗褐色を混ず。腹部は暗褐色、背上一白線を縦走す。前翅は暗褐色、白鱗を粗に混じ、翅端に近く前縁に濃色の斑紋を具へ、基部は白色。後翅は暗褐色。縁毛は両翅共に淡色。開張五分内外。これは九月中、下旬九州柳河地方にて捕獲せられたるも少なし。



分布—九州。

ヒラヤマホソトリハ……………(二〇八一)

Stenophthia

hirayamati

Mats.



體は黒色、腹部は基部の兩側にて白色。前後翅は共に

サツホロホソトリハ……………(二〇八五)

Stenophthia sapporensis Mats.



頭及び胸部の前半は灰色、暗褐色を交へ、後者の後半は淡黄白。腹部は灰色、末端に至るに暗褐色を混ず。前翅は暗褐色、中室の外方に濃色の二點を具へ、縁毛は白色。後翅は暗褐色、縁毛は暗褐色。開張八分内外。これは七月の中、下旬、札幌地方に産する最も普通種なり。

分布—千島、北海道、本州。

附言—何れも小形なるが爲め網を以ての捕獲は困難なるも、燈火に飛來するを以て注意すればその捕獲左程困難ならず。

黒色、前者は中室外方にく字形の白紋を具へ、尙、其直上及び外縁に小白點を裝ひ、縁毛は少しく淡色。これは五月頃、東京地方にて捕獲せられたるが、臺灣にも産す。

分布—本州、臺灣。

附言—本属は *Platyptilia* 屬に酷似するも、後翅第三片に黒鱗を有せず。

キイホソトリハ……………(二〇八三)

Stenophthia

kiensis Mats.



體及び翅は白色。前翅は翅端に近く前縁に小黒點を具へ、外縁線は黒色、中室の外方に褐色紋を裝ひ、縁毛は白色。後翅は少しく暗褐色を帶ぶ。開張五分内外。これは七月下旬紀伊にて一色周知氏の捕獲せるものなるが少なし。

分布—本州。

ナカノホソトリハ……………(二〇八三)

Stenophthia

nakanensis Mats.

三三 多翼蛾科 *Orneodidae*

頭は大、單眼を具へ、複眼は小にして、球形を呈す。口吻はよく發達す。小腮鬚は退化すれども、下唇鬚は發達して長く、細毛を密生し、第三節は細長。兩翅は何れも六片に分支し、中室は極めて短かく、共に第五脈を缺き、前翅の第八及び第九脈は互に相接す。腹部は割合に短かし。幼蟲は長形、細毛を裝ふ。蛹は繭中にある。多くは花、新條及び新芽を食す。本邦に産するもの二種あり。燈火に飛來するを以て捕獲左程困難ならず。

イツシキタヨク(ガ)……………(二〇八六)

Orneodes

ishikii Mats.



頭部は白色、胸、腹部は黄褐色、後者各節の後縁は白色。前後兩翅の各枝は橙黄色乃至淡黄色、暗色の廣き二帶ありて、兩側は波狀をなして淡色なれども、各枝にては此部分白色、翅底にも判然せざる暗色

は暗褐色、白鱗を混じ、後縁は少しく黄色を帶び、縁毛は白色。後翅は暗褐色、縁毛は暗褐色。開張六分内外。八月中旬普通なる一種にして、北海道を除き廣く本邦に分布す。



分布—本州、九州、朝鮮。

カラフトホソトリハ……………(一〇八七)

Stenophthia

sachalinensis Mats.



頭部は白色、少しく黄色を帶ぶ。胸部は黄色。腹部は橙黄色。前翅は黄白、處々に橙黄色の部分あり、外縁及び縁毛は暗褐色。後翅は黄褐色、第三片の中央に近く暗褐色あり。開張九分内外。これは八月上旬、樺太及び北海道にて捕獲せらる。

分布—樺太、北海道。

の小区を散在す。開張四分五厘内外。七月の下旬本州(紀伊、東京)及び四國(伊豫)にて捕獲せられたるが少なし。

分布—本州、四國。

ヤマトタヨク(ニジフシトリハ)……………(二〇八九)

Orneodes

japonica Mats.



體は暗褐色、各腹節の後縁は白色。前翅及び後翅は暗褐色、各枝には判然せざる多數の黒紋ありて、その周圍は白色。開張五分内外。八月中旬東京地方に稀ならず。

分布—北海道、本州(東京、京都、伯耆)。

附言—從來の拙著に本種を歐米に産する *Orneodes* *lucidactyla* L. と同定したれども、別種なれば爰に訂正す。

三四 葉捲蛾科 Tortricidae

單眼を具ふ。觸角は鞭狀。下唇鬚を缺く。小腸は短大(時に延長せるものあり)、細毛を密生し、末端は糸狀、普通は細毛を有せず。翅は廣く、稍々四角形を呈し、前翅に十二脈を具へ、第三乃至第十一脈は稍々同距離にあり、内縁脈は基部にて分支す。後翅に八脈ありて、第四脈は中室の後角に近く出で、抱刺を具へ、これによりて雌雄を區別し得べし、斑紋を有するものなし。幼蟲は普通葉を捲き、其内にありて食害するも、時に果實に蠶入するものあり。本邦學名を有するもの約二百種あり。

す。札幌地方には普通なり。
分布—北海道。

ニレエグリハマキ *Aeolia bosana* F. (二〇八九)



體は暗灰色。前翅はパリスアーナ形。灰色乃至暗灰色、小黒鱗を混ず、外半には數個の稍々大なる灰褐色を混ず。後翅は灰色、少しく暗色を帯ぶ。開張五分内外。本種は楡に寄生する普通種にして、成蟲にて越冬す。
分布—北海道、歐洲。

小毛塊あり。後翅は前翅と同色なれども、前縁は白色。開張八分内外。これは札幌地方に少なからず。
分布—北海道、本州。

トサカエグリハマキ *Aeolia cristata* Schiff. et Den. (二〇九一)



頭部及び體はフラウオウイッターナ形。灰白色、胸部は暗褐色を混ず。前翅は暗褐色、中央に大なる白色の毛塊を具へ、尙ほ中央に近く同色の廣帯ありて、中室下方にて相分支す、外縁に近く灰白の二條あれども餘り判然せず。後翅は淡色。開張八分内外。幼蟲は薔薇及び山楡に寄生す。
分布—樺太、歐洲。

エグリハマキ *Aeolia emargata* E. (二〇九二)

頭部及び胸部は暗褐色、腹部は灰白。前翅は暗褐色にして、多數暗赤褐色の細線を横走し、翅脈も亦赤褐色、前縁は中央を少しく越えて甚しく列ら

パラモンエグリハマキ *Aeolia hirtuola* Mats. (二〇八八)



前翅黄褐色乃至暗褐色、前縁の中央に三角形の一大紋を具へ、判然せざる濃色の數條を斜走するものあり。開張五分内外。幼蟲は薔薇、苺等の新芽及び蕾を食ひ、葉の開綻と共に葉を捲き、その内にありて食害

キボシエグリハマキ *Aeolia coenuloseus* Wals. (二〇九〇)



體及び前翅は暗黄褐色、光線の具合に依り少しく青灰色を現はす。前翅には多數の濃色細線を横走し、前縁の中央には大なる乳白紋を具へ、此外方には更に同色の一小紋を穿び、尙、中室の下方に赤褐色の二

ツマモンエグリハマキ *Aeolia paradesseana* Wals. (二〇九三)



この下方は廣く暗褐色、尙、この下方に暗褐色の二紋を穿ぶ。後翅は白色、翅端近く少しく黄色を帯ぶ。開張七分内外。幼蟲はヤナギ、ドロ、カバ等の葉を食す。樺太には稀ならず。
分布—樺太、歐洲。

ミスチハマキ *Atoxophylus fasciata* Wals. (二〇九五)



體は暗褐色。前翅は灰褐色。多數赤褐色の細線を横走す、前縁中央の三角紋は暗褐色、前横線は太くして斷續し、暗褐色。後翅は白色乃至灰色。開張五分五厘内外。幼蟲はヤナギに寄生す。札幌地方に稀ならず。
分布—北海道、歐洲、北米。

シロオビトガリハマキ *Aneylis biareuna* Steph. (二〇九七)



赤褐色の細線を横走し、中央の斜線、翅端に近き三角紋及び翅脈は暗赤褐色。後翅は白色、翅端は少しく褐色を帯ぶ。腹部は褐色。開張六分五厘内外。この幼蟲は桑の葉を食す。中國地方には普通なり。
分布—本州、九州、朝鮮、臺灣、支那、印度。

マヘモンエグリハマキ *Aeolia schaleriana* L. (二〇九四)



頭胸部は黄緑。腹部は暗色にして、灰色鱗を混ず。前翅前縁の半部は暗黄綠色にして、後縁の半部黄色、全面に橙黄色の細線を横走し、尙、後縁半部の翅脈も亦橙黄色、後縁の中央を越えて一暗色紋あり。後翅は暗色。開張七分内外。これは札幌地方に普通なり。
分布—北海道、アムール。

クハヒメイトヒキハマキ *Atoxophylus privata* Wlk. (二〇九六)



頭、胸部は赤褐色。前翅は淡赤褐色、三斜線は暗赤褐色、殘部の斑紋も亦暗赤褐色。後翅は淡黄、外縁の半部は少しく濃色。腹部は灰色、尾端の簇毛は淡黄色。開張五分内外。これは中國地方には稀ならず。
分布—本州、九州、印度。

ナシモントガリハマキ *Aneylis manchariana* Wals. (二〇九八)



頭、胸部は暗灰色。前翅は暗褐色乃至赤褐色、中央に一黒褐色ありて、中程及び外縁に近く下方にて弓狀に列られ、其部分灰白を呈し、前縁には暗褐色の短線多數あり。後翅及び腹部は暗灰色。開張六分内外。幼蟲はヤナギに寄生す。札幌地方に稀ならず。
分布—北海道、歐洲、北米。



モシキカシハハマキ

Anagis perfirma Christ. (三〇九)

頭部は白色、胸部は黄褐色。前翅も亦黄褐色、翅底



ササナミハマキ

Argylophoe nipharis Hbtl. (三〇〇)

頭及び胸部は灰黄、後者は少しく暗褐色を混ず。

に近き大斑紋は暗褐色、後者は五條の長短白線を混ず。後翅は灰白。腹部は灰褐色。開張五分内外。幼蟲はナシの葉を食するが如し。

者の周縁は灰白、前縁に多數の短黒線を混ず、外半に存するものは其兩側に白色、縁毛は灰褐色。後翅及び腹部暗褐色、縁毛は淡色。開張六分内外。この幼蟲はカシハの葉を食す。

前翅は灰黄にして、多數暗褐色の波状線を横走し、中央及び前縁の外半は稍々廣く黄褐色、尙、中央より内方の後縁にも黄褐色の部分あり、中央の外側に黄白部ありて、其外方の各室に黒色の短縦線を具ふ。後翅は暗褐色、少しく褐色を帯ぶ。腹部は後翅と同色。開張六分五厘内外。これは雑草間に普通なり。

ツマジロハマキ

Argylophoe auriferiana Walk. (三〇一)



ヤナギツマジロハマキ

Argylophoe eupreana Hb. (三〇二)

頭部暗褐色。胸部は黄白、前方は暗褐色。前翅は白色、黄色を帯び、翅底及び中央の廣帯は褐色、

頭部灰白、胸部は暗褐色、灰白線を混ず。前翅の内半は暗褐色、灰色線を混在し、外半は白色、少しく暗褐色を帯ぶる部分あり。後翅は灰褐色、縁毛は淡色。腹部は灰褐色。開張六分五厘内外。これは餘り多からず。



カシハハマキ

Argylophoe sapporensis Mats. (三〇三)

頭及び胸部は黒褐色、後者には淡色の部分あり。前翅は暗褐色、灰白線を交へ、前縁の外方に廣き灰白の部分あり、數條の彎曲せる灰白横線を有すれども餘り判然せず、翅脈の大部分は斷續せる黒點となり、前縁には灰白の小點を並列す。後翅及び腹部は暗褐色。開張七分内外。この幼蟲はカシハの葉を食す。



シロスチハマキ

Baetra lanceolata Hb. (三〇八)

頭部暗褐色。胸部は灰褐色。前翅は大部分暗褐色、一雙をなせる多數の灰白細線を横走すれども餘り判然せず、中脈に沿ひ翅底より稍々太き白線を縦走す、外縁に近き廣白帯中には判然せざる暗褐色の部分あり。後翅は灰褐色乃至暗褐色。腹部は後翅と同色。開張五分内外。これも餘り多からず。



シロモンハマキ

Argylophoe schreberiana L. (二〇五)



オホツマジロハマキ

Argylophoe urticae Hb. (二〇六)

頭、胸部は灰褐色。顔は白色。前翅は大部分暗褐色、一雙をなせる多數の灰白細線を横走すれども餘り判然せず、中脈に沿ひ翅底より稍々太き白線を縦走す、外縁に近き廣白帯中には判然せざる暗褐色の部分あり。後翅は灰褐色乃至暗褐色。腹部は後翅と同色。開張五分内外。これも餘り多からず。



イラクサハマキ

Argylophoe semisusana Kenn. (三〇四)



ツマベニハマキ

Baetra roseana Walk. (三〇七)

頭、胸部は淡灰色。前翅は暗褐色、外縁は廣く赤褐色、前縁の下方に灰色の部分あり、前縁には灰色と黒色との短線を並列し、尙ほ外縁の近くにも短線を横列す。後翅及び腹部は暗褐色。開張六分内外。これは本州に少なからず。

ウスモンアトキハマキ……………(三二〇)

Cacoecia asiatica Wals.

體は黒褐。前翅は黄褐、網目様の濃色紋を具へ、翅底の三帯は細く、後縁は黒褐、中央の太き斜帯も亦黒褐、前縁の中央に近く濃色の三角

♂ 雌



クハイトヒキハマキ……………(三二二)

Cacoecia entiaegana Hb.

體翅褐色。前翅に二條の太き濃色帯を具へ、翅底は濃褐なり。開張七分内外。幼蟲は桑、苹

ことあり、外縁は鉛色。體及び後翅は暗色。開張八分内外。幼蟲は苹樹、櫻、桃、梨等に普通なり。

♂ 雌



雄にては天鷲絨様の光澤を有す。後翅は暗色、翅端は黄褐。胸背に暗褐の二毛塊あり。開張八分内外。幼蟲は苹樹、櫻桃等に寄生す。七月頃燈火に飛來する普通種なり。

♂ 雌

リンゴキマダラハマキ……………(三二四)

Cacoecia imitator Wals.

前翅は黄褐色、赤褐の二線を斜走し、全面に赤褐の網狀紋多し。後翅は白色、雌にては暗色。開張八分九分。幼蟲は苹樹、梨、桃、李等に寄生す。

♂ 雌



札幌地方には普通なり。

♂ 雌

オホギンスチハマキ……………(三二一)

Cacoecia eipremetisana Christ.

前翅は帯褐橙黄色、三箇の鉛色紋ありて、翅端に近きものは弓狀に曲り、時に中條と相合する

紋ありて、これより細き二三條の横線を出す、翅端は少しく濃色。後翅の前半は美麗の黄色、後半は暗色。雄にては前翅中央の斜條細し。開張七分五厘内外。幼蟲は苹樹、梨、櫻、李等に寄生す。札幌地方の果樹園に普通なり。蛾は暗んで燈火に飛來す。

分布—北海道、本州、支那。

リンゴモンハマキ……………(三二三)

Cacoecia orthocera Kenn.

前翅黄褐、褐色の網狀紋を具ふ、中央の斜帯は

附言 著者應用昆蟲學にてはこの蛾の學名に *Tortrix sinajana* Butler. を用ひしも、前出の學名なれば訂正す。

オホアトキハマキ……………(三二五)

Cacoecia ingentana Christ.

前翅は黄褐、網目狀の暗褐紋を具へ、其中に判然せざる暗褐の四帯あり。後翅の前縁は黄色、



内外。幼蟲は桑樹及び苹樹に寄生するもの如し。

♂ 雌

アトモンハマキ……………(三二七)

Cacoecia longiochana Wals.

(*disparana* Kenn.)

前翅黄褐、褐色の網狀紋あれども、餘り判然せず、雄の内縁角に近き一紋は暗褐、其外側に黄色の一帯を具へ、前縁の中央に稍々四角形をな

♂ 雌



せる褐色紋を具へ、其下方の中脈下にも同色の太き一帯ありて、後縁に達す。後翅の末端は少

イシダハマキ……………(三二六)

Cacoecia ishida Mats.

前翅黄褐、翅底の中央にある太き斜條及び外縁の長三角紋は褐色。後翅は暗色。開張四分五厘

後半は褐色。開張七分—一寸一分。幼蟲は苹樹、梨、櫻、茶、柑橘等の新芽に蠢入して食害す。七月頃燈火に飛來する普通種なり。

♂ 雌



中央に暗褐の斜條を具へ、前縁に褐紋あり。後翅の前半は黄色、後半は暗色。開張七分—一寸。幼蟲は松、トドマツ、羅漢松等の葉を多數纏め其内にありて食害す。七月頃燈火に飛來する普通種なり。

♂ 雌

マツハマキ……………(三二八)

Cacoecia piceana L.

しく黄色を帯ふ。開張五分内外。これは札幌地方に最も普通なる種類にして、幼蟲は苹樹の葉を捲き大害を加ふ。

♂ 雌

ザクロハマキ……………(三二九)

Cacoecia punicea Mats.

雌、前翅は黄褐、紋條は暗褐、細線にて全面に

網目状の斑紋を現はし、中央に暗褐色の一斜條ありて、これは後縁にて擴まり、その中程より判然せざる一斜線を前縁に送り、その外側に細き一線ありて、これは後角に達す、翅端は縁毛と共に暗褐色、後縁の基部も暗褐色を帯ぶ。後翅は暗褐色、縁毛は兩翅共淡黄褐色。體は暗褐色。開張八分五厘。この幼蟲はザクロの葉を捲き食害す。東京地方に稀ならず。



分布 本州。

シタジロハマキ

Cacoecia senhahana Gn. (三二〇)



頭及び胸部は黄褐色。前翅は淡黄、斑紋は褐色。後翅は白色。腹部は灰白。開張七分内外。幼蟲は梅及び忍冬に寄生す。未だ札幌地方にて捕獲せしことなし。

分布 樺太、歐洲。

リンゴオホハマキ

Cacoecia xanthana III.

體翅黄褐色、腹部及び後翅は暗褐色。前翅に四個の細き斜條を具へ、中央のものより外方にあるものとの間室は地色よりも遙に濃色、外縁に存する



一條の前縁の外側は少しく濃色。開張一寸一分内外。幼蟲は桑樹、櫻、榎、榆、ハシバミ、ニハトコに寄生す。これは最大の葉捲蛾の一種にして、果樹園には普通なり。燈火に飛來するもの多し。

分布 北海道、本州、歐洲。

テシホハマキ

Cacoecia teshohis Mats. (三三三)



雄、黄褐色。前翅の斑紋は暗褐色、細線にて

カクモンハマキ

Cacoecia xylophana I. (三三三)



前翅は黄褐色、褐色を具へ、翅を疊む時は四角様の斑紋を現はす、翅の中央に判然せる褐色の一帯を裝ひ、翅底の前縁、内縁の一紋及び外縁の三角紋は褐色。後翅は暗褐色。開張七分五厘内外。本種の幼蟲は栗樹、梨、櫻、榎、榆、柳、白楊、忍冬等の害蟲として知らる。札幌地方には普通なり。

分布 北海道、本州、支那、朝鮮、歐洲。

チャハマキ

Capna (Homona) nemotana Wk. (三二四)



體は暗褐色、前翅は褐色乃至黄褐色、斑紋は暗褐色。後翅は黄色、雌にては内縁の半分暗褐色。開張七分五厘内外。幼蟲は茶の葉を捲き大害を加ふることあり。北海道にては未だ発見せられず。近畿地方に多し。

分布 本州、九州、臺灣、支那、印度地方。

クハアシメハマキ

Capna reticulata Hb. (三二五)



前翅淡褐色、網状の褐色紋を裝ひ、前翅の中央より後縁に向つて濃色の大きき一條を斜走す。後翅は褐色、前縁は淡色。開張六分七分。幼蟲は桑、榆、柳、白楊、薔薇、忍冬等の葉を捲き、其内にありて食害す。中國地方

第六 鱗翅目(蛾亞目)

に普通なり。

分布 本州、歐洲。

モモシクヒガ

Chrysothrips senackii Mats. (三三六)



前翅灰色、中央の三角形は暗褐色、四五個の楕状毛塊を具へ、前縁の四紋列は黒色、外縁の二横線は灰色。開張五分内外。幼蟲は桃、蘋果等の果肉に蠢入し、蘋果の場合には好んで種子を食害す。これは燈火に飛來するを以てその捕獲困難ならず。

分布 日本全土。

ビロウドハマキ

Cerace onustana Wk. (三三七)



雌、前翅は黒色、前半に多数の黄帯を具へ、後半には多数の黄點を散在

網状紋を現はす、前縁の中央に一紋ありて、これより判然せざる二、三の細線を後縁に送り、中央に近く大なる三角紋ありて、其内側の濃色なる爲め前縁の紋と相連続して一斜帯を現はす、後縁は暗褐色、翅端に近き前縁にも一紋あり、外縁は細く褐色。後翅は暗褐色、翅端は少しく淡色。縁毛は兩翅とも灰黄。下唇盤の末端は暗褐色。開張八分。これは天鹽にて捕獲せるが少なし。

分布 北海道。

し、中央には紅褐色の縦條ありて、その中にも黄色點の縦列あり、外縁部朱色、外縁には黒點列あり。後翅は橙黄色、黒紋を散在す。頭は觸角間を除き淡黄色。腹背に黒帯あり。雄にては黄紋小、後翅黒色、中央朱色なるも、その内縁に近く黒紋を散在す。開張一寸二分一寸六分。これは静岡、岐阜地方に稀ならず。

分布 本州。

タイワンビロウドハマキ

Cerace shantungana Wk. (三三八)



雌、前種に酷似すれども、前翅は淡黄色、後翅は黄白色、外縁は黒色、各室に黄白紋ありて、第四五室にあるもののみ判然し、腹部灰黄、黒帯を有せざることによつて區別せらる。開張一寸六分。これは魚池、北埔、埔里等にて捕獲せられたるも少し。

分布 臺灣、支那。



近き一紋は濃褐、翅底紋及び中央は黄褐の細線にて限られ、外縁には濃褐の網状紋あり。後翅灰色。開張六分五厘内外。この幼蟲は華樹、櫻、梨、榊、柳、榆、樺、赤楊等に寄生し、新芽に蠢入して大害を加ふ。燈火に飛來する普通種なり。
分布—北海道、本州、歐洲。

サクラトビハマキ *Pantonia rubeana* Hb. (三六三)

前翅褐色、中央に判然せざる細き濃色斜帯を具へ、雄にては前縁に一個の濃褐紋を装ふ。開張



六分五厘内外。この幼蟲は櫻、桃、李、華樹、梨、榊、柳、榆、樺、榊、スグリ等の害蟲にして、新芽及び新葉を食害す。燈火に飛來する普通種なり。
分布—北海道、本州、朝鮮、支那、印度、歐

洲。

フトキオビハマキ *Pelata broolor* Wals. (二六四)

頭、胸部は黒褐。前翅も亦黒褐にして、中央に廣き暗黄帯ありて、此帯は前縁に三個、後縁に二、三個の小黒點を並列す。後翅及び腹部は灰褐。開張三分



内外。これは顯著なる斑紋を有するを以て目立つ種類なるが少なし。
分布—本州、印度。

トガリトビハマキ *Placodophora imbricata* Wals. (二六五)

頭、胸及び前翅は暗赤褐。前翅は前縁に小黒點を並列し、後縁は稍廣く黒褐を呈し、其中に淡色の斑紋あれども餘り判然せず。後翅及び腹部は暗褐。開張六



分内外。これは雜草間にて捕獲せるが、如何なる植物を食するや不明なり。
分布—本州、九州、印度。

フェルナルドハマキ *Placodophora fernaldiana* Wals. (三六六)

頭部赤褐。胸部は暗褐にして、紋條は灰褐。後翅は暗色。腹部は灰褐。開張八分内外。これは大形の葉捲蛾にして、燈火に飛來するも、その食



草は判然せず。
分布—本州、朝鮮。

クサビホソハマキ *Phalonia juchana* Snell. (三六七)

頭部白色、少しく暗色を帯ぶ。胸部白色。前翅は白色にして、前縁及び外縁は少しく暗色を帯び、後縁の中央に存する楔状紋は黒褐。後翅は白色、外半は少しく暗色を帯ぶ。腹部は白色。開張六分内外。これは餘り多からず。
分布—本州、ウスリ。



オホウンモンハマキ *Semustia hastata* Hb. (三六八)

シバリ等の葉及び果實を食す。
分布—樺太、北海道。

チチコハマキ *Semustia hastata* Hb. (三七一)

體翅は暗褐。前翅は中央に一白條を斜走し、前縁に多數の短灰白線を並列すれども、餘り判然せず。縁毛の基部は白色。開張六分五厘内外。幼蟲はチチコグサ、マツムシ



サウ、タンボポ等の葉を食す。
分布—北海道、歐洲。

イヌゴマハマキ *Sparganthis pallieriana* Schiff. et Den. (三七二)

頭部は暗黄色。胸部は暗黄褐色。前翅は黄色。翅脈及び多數の細き横線は暗褐、中央の斜帯及び翅端に近き前縁の一紋も亦暗褐。後翅及び腹部は暗色。腹部の末端は淡黄色。開張六分五厘内外。幼蟲は百合科植物に寄生す。餘り多からず。



一〇七五

キツギカガシ *Phalonia vulturnata* Zell. (三六九)

頭胸部は暗褐色。前翅も亦暗褐にして、處々に濃色の雲紋を装ひ、中央には廣き淡色帯あり。後翅は暗色、外縁は少しく黄色を帯ぶ。腹部は暗褐。開張一寸内外。これは大形の葉捲蛾の一種にして、燈火に飛來するも、其食草は判然せず。
分布—北海道、本州。



キンミスチハマキ *Phalaris arenella* Olf. (三七〇)

頭部は暗黄色。胸部及び前翅は橙黄色。前翅の翅底に存する三條の短縦線、前横線、後横線及び外縁に近き二横線は何れも光澤ある銅青色、翅の中央は廣く淡黄、細き黒色の短黄線及び小黒點を密布し、此部の翅脈は黒色、更に此部の中央には稍々大なる黒色部ありて、其中に若干の青色點を藏す。後翅は暗色。開張六



分五厘内外。幼蟲はテツセン、ブドウ、オニ

は灰白、黒鱗を交ゆ。後翅は灰色。第二節の下唇
體外側にて、觸角は基部にて暗色。開張七分
八分。これは七月下旬何れの地方にも少なから
ざるが如し。

分布 北海道、本州、四國、九州、歐洲。

ツグロコカ

Holophorodes nigripes Mats. (三三二)

體翅灰白。頭及び胸部は暗褐、灰白鱗を裝ふ。
觸角は白色と暗色の斑をなす。下唇頗長く、上
反す。前翅前縁の基
部、中央の一縦線(前
縁に沿ひ)、縦線の一縦
條、横脈上の一紋、そ
の内側の一短縦條及び



子
後翅は暗色。後翅は灰白。縁毛は兩翅共に灰色。
腹部は灰褐、各節の後縁は細く灰白。脚は灰色、
前中兩跗節は暗色、灰白の斑あり、後肢の距は
暗色。開張四分五厘。これは四月下旬札幌に捕
獲せられたり。

分布 北海道。

クロフタボシコカ

Fata manohurica Mats. (三三三)

黒點を列ね、尙ほ全面にも若干の黒點を散在
す。後翅は灰白。開張五分五厘。これは何れの
地方にも普通なる種類にして、幼蟲は苹果を害
す。

分布 北海道、本州、四國、九州、滿洲。

ホシナラビコカ

Pseuda serripunctata Mats. (三三七)

體及び前翅は白色。前翅の中央には黒鱗を縦列
し、全面に多數
の暗色及び黒色
の小紋を散在
す。後翅は白
色、暗色を帯
び、縁毛は白



色。開張一寸内外。八月上旬乃至下旬に日光及
び信州にて捕獲せられたるも餘り多からず。

分布 本州。

トホシコカ

Pseuda
decompunctata
Mats. (三三八)



體翅暗灰色。前翅に黒色の

第六 鱗翅目(蛾亞目)

にも多し。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮。

シタキゴマタラコカ

Pseuda apicalis Mats. (三三五)

頭及び胸部は暗色、前翅は白色。前翅は暗灰色
にして、黒點を散在
し、尙ほ外縁にも黒點
を列ぬ。後翅は黄色、
翅端は暗色。腹部は橙
黄色、背面の中央に黒
點の一行、腹面に一雙



の同様點列を縦走す。開張九分内外。九月上旬
始めて臺南にて捕獲せられたるも、その後沖縄
にも發見せられたり。

分布 沖縄、臺灣。

イツシキフタモンコカ

Pseuda ishiki Takahashi (三三六)

體は灰白色、胸部は少
しく暗色を帯ぶ。前翅
は白色、少しく暗色を
帯び、中央に大小の二
黒紋を具へ、外縁には



ウストヒコカ

Pseudaichia aspersus Hirtl. (三四〇)

頭及び胸部は白色、後者の前方は黒色。前翅の
大部分は黒色、白色の斑紋を具へ、後縁及び外
縁は稍々廣く白色、そ
の中に黒點を散在す。



後翅は暗色、少しく紫
褐色を帯び、翅脈は稍
々濃色、縁毛は淡色、
細線の光澤強し。開張六分一分。七月及び九
月に捕獲せられたる所より見れば、年二回の發
生なるべし。

分布 北海道、本州。

ナミハクカ(麥蛾)

Sitotrogus cerealis Oliv. (三三三)

體翅黄褐、頭黄白。前翅の外縁に近く暗褐色を
裝ひ、翅底に同色の
縦條あり。後翅は暗
色、細線の光澤を裝
ふ。開張五分内外。



幼蟲は大小麥の害蟲
にして、麥粒を食
し、時に米、玉蜀黍、粟、稗等をも加害す。

分布—世界共有。

クロモンシロコガ

Synmoca maculifera Mats.



頭部は暗褐色、頭頂は白色。胸部は白色、中央部は暗褐色。腹部は黄白、終りの四節兩側に黒紋を列ぬ。前翅灰白にして、約十五個の黒紋を具ふ。後翅は灰色、細光を放つ。脚は灰白、後跗節に黒褐色の一縦條あり。開張八分内外。これは始めて九州柳河にて發見せられたれども、最近臺灣にても捕獲せられたり。

分布—九州、臺灣。

オキナハゴマダラコガ

Synmoca okinawana Mats.



ゴマダラコガに酷似すれども、その異なる所は、觸角の基節、頭頂の一枚は黒色、腹部、前翅の基部及び前縁に黒紋

Cherok

サカリネンシス形 *E. sachalinensis* Mats.



頭部及び頸板は暗灰色。胸部は黒色。腹部の第二乃至第四節は橙黄色。前翅は暗灰色、黒鱗を密布し、翅底、翅の中央及び外縁に大黒紋あり。後翅は暗褐色、基部及び縁毛は淡色。開張六分内外。幼蟲はドロノキ、ヤナギ、カバ等の葉を捲きて、其中に棲息す。八月下旬樺太大泊地方には普通なり。札幌にも産するが少なし。

分布—樺太、北海道。

モモツツリガ

Tachypitula (Anacampsis) subaequalis Ill.



體翅暗色、光線の具合により紫色を現はす。前翅の外半に判然せざる黒色の一斜條を具へ、其外側は少しく灰黄を帯ぶ。開張五分五厘内外。幼蟲は桃、櫻、梅、杏、李、柳等の葉を横に捲き、千巻状となして、食害す。燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、四國、九州、歐洲。

シモフリツツリガ

Tachypitula Canacampsis japonella

三七 房蛾科

Cosmopterigidae

頭は滑澤。口吻は發達す。觸角は前翅の四分の三若くは同長、基節に少しく齒毛を裝ふ。下唇鬚は長く、鎌狀に曲る。後脛節には粗毛あり。前翅の第七、八脈は分支若くは相接し、第七脈は前縁に開口す。後翅は前翅と稍同長、長尖狀にして、細く、第二乃至第四脈は相平行し、第五、六脈は時に分支し、第六、七脈は分支若くは基部にて相接す。幼蟲は十脚を具へ、葉、莖、種子等に蠢入す。本邦に産するもの三十數種ありて、學名を有するもの僅に四種あり。

エゾフサガ

Ashibusa jezoensis Mats.



頭、胸は白色。腹部は黒色にして、白鱗を混じ、尾端の簇毛は白色。前翅は灰白色、前縁を除き黒鱗を交へ、これは後縁に於て顯著なり、外縁及び縁毛は少しく橙黄色を帯ぶ。後翅は暗色、縁毛は長く、淡色。脚は白色にして、後肢の脛節に

第六 鱗翅目(蛾亞目)

分布—北海道。

リンゴフサガ

Chrysoletia lasihavehla Mats.



體翅橙黄色。前翅の基部に近き前縁の一枚、中央の廣帯及び翅端は灰褐色、縁毛は長く灰黄、翅端にあるものは灰褐色。後翅は灰色、縁毛は灰黄、末端にあるものは灰褐色。下唇鬚、頭、觸角及び脚は灰黄、絹様の光澤あり。脚は灰褐色、各節の後縁は黄色。開張四分内外。この幼蟲は苹果を食害す。何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、九州。

タイワンハンキフサガ

Chrysoletia bicolorata Mats.



前種に酷似すれども、頭、胸(後狀部黄色)は暗色、前翅前縁の基部、外半の暗色なるにより容易に區

別し得べし。開張四分五厘。これは四月中旬恒春にて捕獲せられたるが、少なきが如し。

分布—臺灣。

カキフサガ

Kakivoria flavofusata Nag.



體翅灰褐色。頭、觸角、下唇鬚及び脚は金光ある灰黄。前翅は細長にして、稍々尖り、末端に近く黄色の一横紋あり。後翅の縁毛は翅幅の約四倍長あり。後脛節に筆様の長毛束を裝ふ。開張五分内外。幼蟲は柿の蒂の間より蠢入して、果肉を食す。五月中旬岐阜地方に多し。

分布—本州、九州。



近く三個あり、尙、縦線上の三紋及び横脈上には一紋を具へ、縦脈上にも数紋を装ふものあり、脈は明瞭に隆起す。後翅は前翅と同色、縁毛は淡色。下唇鬚は灰黄、背部は暗色。後脛節に暗色の二紋あり。雌の産卵管は長し。開長八分内外。これは七月伊豫及び福岡にて捕獲せられたり。
分布—四國、九州。



頭部は暗褐色。胸部は黒色。腹部は褐色。前翅は暗黄褐色、翅底は黒色、中室、前縁及び外縁に黒點若くは黒紋を装ふ。後翅は灰褐色、内半及び縁毛は少しく淡色。開長五分内外。この幼蟲は柑橘の害蟲なり。歐洲産のものは菊科植物の葉を食すと云ふ。九州にては六月中旬羽化する。
分布—本州、九州、歐洲。



これはクロミヤクカマカガに類似すれども、その異なる所は、前翅全面に凹凸多く、脈は暗褐色にして、断續し、前縁の基部に近く淡き橙黄色の一紋を具へ、下唇鬚の第三節は全部白色を呈し、後翅第五脈の第三、四脈と相接せざるにあり。開長八分。これは京都にて捕獲せられたるが少なし。
分布—本州。

マヘモンカマカガ……………(三三九)

Depressaria costaeuethella Christ.



頭及び胸部は黒色。腹部は灰褐色。前翅は白色、少しく黄色を帯び、翅底は黒色、前縁に三角形の大黒紋を具へ、尙ほ中室にも黒色の一小紋あり。後翅は暗色、翅脈は少しく濃色。開長七分内外。これは五月中旬日光地方に少なからず。
分布—本州、ウスリ。



體は灰白、少しく褐色を帯ぶ。前翅は暗褐色、黒鱗を交へ、中央に近く二小黒點ありて、其中央に白點を藏す、翅底は灰白、少しく褐色を帯ぶ。後翅は白色、外方は少しく暗色を装ふ。開長七分内外。これは廣く分布せる種類にして、幼蟲はハクセンの葉を食す。成蟲にて越年する。

キヤウトカマカガ……………(三四三)

Depressaria kyotensis Mats.



體翅暗灰色、少しく褐色を帯ぶ。前翅の縦脈間は溝狀に凹陥せるを以て暗色の縦條を有するが如し、中室の中央

ゴマタラカマカガ……………(三四七)

Depressaria nomia Inat.



體翅は暗灰色。前翅前縁の外半に四個の小黒紋を斜列し、翅底の二紋、中室の一紋及び横脈紋は暗色、但し後者の中央は淡色。後翅は白色、外方は少しく暗色を帯ぶ。開長七分五厘内外。これは九月上旬札幌にて捕獲せられたるが少なし。
分布—北海道。

エルモンカマカガ……………(三四四)

Depressaria Inigruna Mats.



體は白色。前翅は茶褐色、黒鱗を交え、前縁は翅端を除き廣く白鱗を密布し、中室には黒色の工字形状を具ふ。後翅は暗灰色、内半は稍々淡色、縁毛は灰白、判然せざる二暗色線を貫通す。開長七分内外。六月及び九月札幌地方にて捕獲せるも少なし。
分布—北海道。

クロミヤクカマカガ……………(三四六)

Depressaria nervosa Hw.



體及び前翅は灰褐色、白鱗を混ず。眼の周囲は黒色。第三下唇鬚節の兩端は黒色、極端は白色。前翅の翅脈は凹陥せる爲め暗色を呈し、前縁の基部に一褐色紋、翅底に近く一黒紋ありて、後者は數個の黒鱗より成る。後翅は暗色、内半は淡色、第五脈は第三、四脈と基部にて相接す。開長八分内外。幼蟲は歐洲にてはセリの葉を食す。
分布—本州、歐洲、北米。



頭及び前胸は黒色、中胸背は灰白。前翅は灰白、少しく黄色を帯び、前縁及び後縁に黒點を列ね、後縁には半楕圓形の大黒紋あり。後翅は縁毛の基部に淡色線を貫通す。開長六分内外。七月中旬東京地方に稀ならず。
分布—北海道、本州。

シロホンカマカガ……………(三四五)

Depressaria multiplicata Ersch.

頭胸及び前翅は暗灰色。前翅の前縁には約二十個の黒紋ありて外半のものは大、中室の基部には二黒紋を具へ、その外方に暗色長紋を装ひ、

四〇 根蛾科 Teliodinidae

頭は滑澤。口吻は發達す。觸角基部に櫛齒状毛を缺く。小腮鬚退化す。下唇鬚は長く、鎌状に彎曲し、第三節は尖る。後脛節には長毛を缺き、各跗節端には棘毛あり。前翅は滑澤、第七、八脈は分支若くは分離す。後翅の第三、四脈は普通相合す。幼蟲は十脚を具へ、新芽若くは果實に潜入す。本邦學名を有するもの二種あり。

スミレネガ (三五六)

Paralbia leonwanhookella Tr.

イツシキイ形 ♂



體翅暗褐。少しく紫色を帯ぶ。前翅に六個の銀色紋ありて、前横線の處にあるものは帯狀を呈し、縦線の處にて遮斷せられ、第二紋は後縁の中央、第三紋は前縁の中央にありて、少しく外方に曲り、第四紋は後角上に位し、第五紋は四分の三の前縁にありて、長く内方に斜走す。後翅の縁毛は翅幅よりも遙に長し。後肢には白紋を缺く。開張四分。これは六月中旬札幌にて捕獲

四一 絹蛾科 Teythridae

せられたるも、小形なる爲め捕獲困難なり。
分布—北海道、歐洲。

ナカキンネガ (三五七)

Ascalophora superstitis Mats.

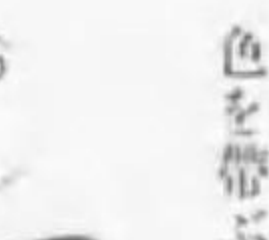
♀



體翅天鵝絨様の黒褐。觸角の末端に近き二紋及び末端は白色。前翅の中央は黄金色、翅底の黒褐色と相俾する所に淡青帯を具へ、その中央に一黒點あり、後角に黒環ありて、その中は淡青色、翅端四分の一は黒色、その基部の前縁に白紋を具へ、後縁は細く白色、縁毛は長く、黒色。後翅は暗色、縁毛は長し。脚は暗色、灰白紋あり。開張三分五厘。これは八月下旬札幌にて捕獲せるが少なきが如し。
分布—北海道。

キバラキヌガ (三五八)

Zythis kibarae Mats.



體翅暗色。前翅は絹様の光澤を放ち、少しく紫色を帯ぶ。後翅は前翅よりも少しく淡色。腹節は橙黄色、太き縦條は黒色。これはミタケキヌガに酷似するも、前翅に黄紋を缺くを以て容易に區別し得べし。開張五分。これは五月下旬札幌に稀ならず。晝飛性なり。
分布—北海道。

四一 巢蛾科 Iypnomenitidae

頭は綿狀の細毛を密生す。觸角は絲狀、前翅の半以上に達す。下唇鬚及び口吻は長く、前者は細く、中庸長、上向す。小腮鬚は退化す。單眼を缺く。前翅は細長く、翅端は三角形若くは劍狀を呈す。後翅は細く、縁毛の長きものあり。後肢には普通滑澤を具ふ。前翅の七脈は普通外縁に開口し、第十一脈末端にある縁紋は稍々發達す。幼蟲は八双の脚を具へ、巢を張りて新葉を食害するもの及び果實内若くは新芽に蠢入するものとあり。本邦産するもの數十種に達するも、學名を有するもの十數種あるに過ぎず。

ミタケキヌガ (三五九)

Zythis nakakeana Mats.

♂



體翅は絹様の光澤ある暗色。前翅に三黄紋ありて、翅底に近きものは大、翅端にあるものは少しく小なり。後翅は暗灰色。觸角は太く、黒色。下唇鬚は絲狀、上向し、末端は尖る。脚は黒色。腹部は橙黄色、基部の二節は黒色、各節に黒帯あり。脚は黒色。開張四分五厘。これは五月武州御嶽にて發見せられたり。
分布—本州。

四二 巢蛾科 Iypnomenitidae

クハヤマヒメシンクヒガ (三六〇)

Argyroshia andereggiella Dup.

クハヤメエラ形 ♀

體翅は銀白。觸角は白色と暗色の斑。前翅に前縁に達せざる銅褐の帯ありて、その兩側は黒線にて縁取られ、その前縁角より翅端に向つて同色の一弓狀

線は具合により黒色を現はす。後翅の外縁線は

キガシラキヌガ (三六〇)

Zythis senescens Zitt.

♂



體翅暗色、絹様の光澤を帯ぶ。頭、下唇鬚及び觸角の基部は灰黄、後者には細毛多し。前翅の基部、中央部、約三分の二の處及び翅端紋は光線

第六 鱗翅目(蛾亞目)

一種なり。七月下旬乃至八月下旬何れの地方にも多し。

分布—北海道、本州、歐洲。

コマユミスガ *Hyponomeuta mayanivorella* Mats. (三三三)

體翅灰白、前翅に四列の黒紋を具へ、第一列には四個、第二、三、四列には各六個あり、尙、外縁に近く三紋を横列し、

♀



縁毛の中央にも四黒紋あり。後翅及び腹部は暗色。觸角は暗灰色。脚

は灰白、絹光を放つ。開張六分五厘内外。この幼蟲はマユミに巢を張りその内に集合して食害すること前種に異ならず。幼蟲は暗黄色を帯ぶ。これは五月下旬札幌地方に普通なり。

分布—北海道。

メグロスガ *Hyponomeuta megronis* Mats. (三三七)

體翅暗灰色。前翅に六列の黒紋を散在し、第一列に八個、第二列に十個、第三列に九個、第四列に八個、第五列に十個、第六列に九個あれど

も、その紋数を異にするものあり、尙、翅端に同様の三、四紋を横列するも判然せず、縁毛に黒紋を缺く。後翅

分布—本州。

ウスグロスガ *Hyponomeuta usugronis* Mats. (三三七)

體翅暗色。前翅に六列の黒紋ありて、第一列(前縁より)には約七個、第二列には八個、第三、四列には各五個、第五、六列には各三個ありて、

♂



この外、中室外にある一

大紋、外縁に近き横列の四紋及び外縁の紋列は黒色。後翅は暗色、絹様の光澤を帯ぶ。後肢は灰黄、跗節の末端に黒白の斑あり。開張四分。これは京都にて捕獲せられたるも少なし。

分布—本州。

ヤナガハスガ *Hyponomeuta yanagawana* Mats. (三三七)

體翅暗灰色。前翅に五列の黒紋ありて、第一、二、三列に各五個、第四列に十個、第五列に十一個を具へ、

も、その紋数を異にするものあり、尙、翅端に同様の三、四紋を横列するも判然せず、縁毛に黒紋を缺く。後翅

分布—本州。

トウキヤウスガ *Hyponomeuta tokyonella* Mats. (三三四)

は前翅よりも少しく濃色、縁毛は絹光を放つ。開張五分五厘。これは六月下旬東京目黒地方に普通なり。

♀



紋列あり、前縁

の末端は一層弓状に曲り、後翅の前縁は白色、縁毛は全部雪白色、裏面の縁毛は長く、後跗節の末端に黒紋を缺くにあり。開張(雌)九分五厘。これは七月下旬東京にて一色周知氏の採集

分布—本州、四國、九州。

ホシホシシロスガ *Xythyroptodes seritopunctata* Mats. (三三七)

體翅白色。前翅に黒紋を散在し、横脈上に一個、中室の基部に一個、縦線の中央及び末端に各一個、前縁の基部に一個、同中央に近く二個、亞外縁部にはバラ

四三 筒蛾科 (Coleophoridae)

筒蛾科 (Coleophoridae)

頭は滑澤。口吻は發達す。觸角は前翅の五分の四長、柄節に粗鱗毛を裝ふ。下唇鬚は中庸長、上向し、第二節に粗毛を裝ひ、第三節は短かく、尖る。小腮鬚は判然せず。前翅の第六、七脈は分支若くは接觸し、第七脈は前縁にあり。後翅は前翅の三分の二長、長尖状、第五、六脈は分支す。幼蟲は初め葉中に潜り後筒様の巢内に住し、これを葉面に接觸して食葉す。本邦に産するもの數十種に達するも、學名を有するもの僅に五種あるに過ぎず。

キミヤクツツガ *Coleophora flavoviridis* Mats. (三三九)

體翅白色。前翅の脈は何れも黄褐色にして、第一脈は最も顯著なり。後翅は灰色、縁毛は白色。觸角は白色なるも、末端の半部は灰色と白色との斑をなす。胸背にも黄褐色の縦條あり。開張四分七厘。これは八月札幌地方に稀ならず。

分布—北海道。

ヒトテンシロスガ *Sxythyroptodes himantidata* Mats. (三三七)

體翅白色。前翅に黒紋を散在し、横脈上に一個、中室の基部に一個、縦線の中央及び末端に各一個、前縁の基部に一個、同中央に近く二個、亞外縁部にはバラ

分布—北海道、本州。

カラマツツツカ(カラマツツツミノムシ).....(三六〇)

Coleophora laricella Hb.

頭は灰色。觸角は灰色と暗色の斑をなす。前翅は網様の灰色。後翅は灰色。縁毛は兩翅共灰色にして、頗る長し。開張三分五厘。これは青森岩手地方の落葉松に普通なり。定めて落葉松と共に歐米より移殖せられたるものなるべし。成蟲は六月中旬に現はる。



分布—北海道、本州、歐洲、北米。

ヒストルツツカ(ヒストルミノムシ).....(三三八)

Coleophora multivorella Kiley

體翅は白色、内縁の中央より翅端迄灰色の長縁毛を裝ひ、翅端の前縁にも縁毛あり。後翅及び腹部は灰白。觸角は少しく黄色を帯ぶ。開張四分五厘内外。幼蟲は常にヒストル形の黒筒を造りて其内に住し、桧樹、李の新芽に集り食害す。札幌地方にありては何れの果樹園にも普通なり。



分布—北海道、米國。

リンゴツツカ(ツツミノムシ).....(三六一)

Coleophora nigricella Zangl

體暗色。觸角白色。末端に至る迄暗色の輪環を具へ、柄節は黄色。前翅暗色、多少網様の光澤あり。後翅は暗灰色。開張四分内外。幼蟲は栗樹、櫻桃等の害蟲にして、常に圓柱形の筒内にありて、新芽、蕾、新葉を食害す。札幌地方にては時に栗樹に大害を加ふることあり。



分布—北海道、本州、歐洲。

四四 細蛾科

Gracillariidae

頭は滑澤若くは頭頂にて少しく粗毛を有す。口吻は發達す。觸角は前翅と同長若くは以上。下唇鬚は中庸長、細長、上向き、末端は稍々尖る。小腮鬚は絲狀にして、判然す。後脛節滑澤、毛を缺く。前翅の第七脈は前縁に出で、第八脈は分支し、時にこれを缺く。後翅は前翅の二分の一若くは三分の二、長尖狀、第四脈と第五脈間の横脈を缺き、第五、六脈は分支す。これは細長の翅を具へ、長縁毛を裝ひ、小腮鬚を有す。幼蟲は七双の脚を具へ、第十節にこれを缺く。初めは葉中に潜入し、後、葉を圓錐形に捲く。本邦學名を有するもの約十種あり。

キンモンホソガ.....(三六二)

Gracillaria alchimilla Scop.

體翅銅褐色、前翅は少しく紫色を帯び、中央に大なる三角形の金色紋を具へ、この中には何等の斑紋なきも、全面には暗褐色を散在す。後翅は前翅よりも暗色、縁毛は長く、兩翅共暗



灰色。觸角及び脚は灰白。顔及び下唇鬚は白色、但し後者の末端は暗色。開張四分五厘。これは札幌及び京都にて捕獲せるも少なし。

分布—北海道、本州、歐洲。

チャイロホソガ.....(三六四)

Gracillaria elongella L.

體翅は褐色。前翅は暗褐色を散在し、前縁の中央黄色なる爲め暗褐色判然せり、翅底に近く判然せざる暗色帯あり、縁毛は長く、外縁にあるものは暗褐色を混ず。後翅暗灰色。縁毛は兩翅共灰色。觸角は前翅より少しく長く、暗色と灰白の斑をなす。下唇鬚及び頭頂は黄色、前者の末端は暗色。胸部は褐色。跗節は灰白と暗色の斑をなす。開張五分。これは京都地方には少なからざるが如し。



分布—本州、歐洲。

ハスオビホソガ.....(三六五)

Gracillaria obliquatella Mats.

體翅黄褐。前翅の中央に近く黒色の斜帯ありて、外半に四黒褐紋を縦列す、翅底の後縁にも

暗褐色あり。後翅は暗灰色、縁毛は同色。觸角は前翅よりも少しく長く、灰黄と黒色の斑をなす。下唇鬚は銀白、末端に暗色紋あり。頭頂は白色。脚は黒色と白色の斑をなす。開張四分五厘。これは京都にて捕獲せられたるが、少なからず。

分布—本州。

サツボロホソガ.....(三六六)

Gracillaria saiporella Mats.

體翅は金光ある淡黄色。前翅の基部(縦線上)、外縁、これに連続せる中央紋等は淡黄褐、少しく紫色を帯び、前縁の中央には約七個の暗色点を連ぬ。後翅は暗色、縁毛は灰褐。下唇鬚は灰白。末端は暗色、脚は灰白、脛節及び跗節の末端に暗色紋あり。開張四分五厘。これは六月中旬札幌には少なからず。



分布—北海道。

シロモンホソガ.....(三六七)

Gracillaria strimaticella P.

體は銅褐。觸角は前翅より少しく短、暗色と灰色の斑をなす。前翅の中央に三角形の黄白紋ありて、その中に黄褐色を散在し、前縁には暗色点を列ぬ。後翅は暗灰色、縁毛は後翅幅の約三倍長あり。跗節は灰白、各節の末端に暗色点を裝ふ。開張四分五厘内外。これは札幌地方に普通にして、何れの時にも捕獲し得べし。成蟲にて越冬す。



分布—北海道、本州、歐洲。

フタスチキンホソガ.....(三六八)

Lithocolletia bivenetella Mats.

體翅金黄色。前翅に黒色の二帯ありて、稍翅面を三分分し、翅底に白縦線を具へ、黒帯の外側は銀色帯にて縁取られ、外方のもものは前縁の處にて内方に曲る、外縁の中央に黒色の一縦線ありて、その前方に白斜線を具へ、外縁線は暗褐、縁毛は灰白。後翅は暗灰色。顔は白色。觸角は暗色と灰白の斑。脚は灰白、跗節に黒斑を具



へ、後跗節の末端に近く一黒紋あり。開張二分五厘。これは札幌地方に普通なり。

分布—北海道。

シロスチキンホソカ

Lithocolletis lantanella Zeller.

頭は白色。體翅黄褐、金光を放つ。前翅に白紋條を裝ひ、前縁の中央に近く細線ありて、その



末端より一斜線を外方に送る、中央に長き一縦線を具へ、その外側にも短線あり、前後兩縁の外半に三白紋ありて、その内側に暗色線を裝ひ、外縁に近き末端に暗褐の一縦紋を有す。後翅は暗色、縁毛は翅幅の約五倍長あり。脚は暗色、絹光を帯ぶ。開張三分。これは札幌地方に普通なるも、微小なるが爲め捕へ難し。

分布—北海道。

キンモンリンゴホソカ

Lithocolletis ringoniella Mats.

前翅は金色、翅底の二縦條は銀色、中央に銀色の斜線を横走し、其内側黒褐、前縁の中央に銀色の短斜線を具ふ。胸背金色、其中央に一黒縦

四五 菜蛾科 Plutellidae

條あり。腹部黄褐。體下及び脚は銀色の光澤を放つ。開張二分内外。幼蟲は菜樹、梨、櫻、桃、李等の葉の下面の葉縁層を食し、其葉脈を網狀に残し、自己は葉皮下にありて食害す。札幌地方には普通なり。



分布—北海道、本州、歐洲。

エゾキンモンホソカ

Lithocolletis jenzoniella Mats.

體翅淡黄褐、金光を放つ。前翅の中央前に一白帶ありて、その内側は細き黒線にて縁取られ、その外縁の前縁には三白紋ありて、後縁には一白紋を



裝ひ、その内側に黒短線あり、外縁に近く黒色の短かき縦條を具へ、外縁線は黒色。頭は白色。觸角は灰白と暗灰色と斑をなす。胸背は灰黄白、兩側は白色。腹部は灰白、腹背には淡褐帶あり。脚は灰白。開張二分五厘。これも六月頃札幌地方に普通なり。

分布—北海道。

頭は臥伏せる細鱗毛を密生す。口吻は發達せり。觸角は體の五分の三乃至四分の三長、柄節には普通鱗塊を裝ふ。下唇鬚は中庸大、上向き、第三節は尖る。小腮鬚は細狀。後脛節には滑澤なる鱗毛あり。前翅の第七脈は外縁に出づ。後翅は長卵形若くは廣き長尖狀。幼蟲は八双の脚を具へ、葉裏にありて絲を吐き、その巢の中にありて食害す、時には葉中若くは新條中に潛入するものあり。蛹は普通、網狀の繭内にあり。本邦學名を有するもの十數種あり。

アイノカギバコカ

Cerostoma atno Mats.

體及び前翅は灰白色。前翅には前縁及び後縁を除き少しく黒褐鱗を



交え、翅底に近き後縁には一個、中室には三、四個の小黒點ありて、外縁にも赤小黒點を裝ひ、縁毛は白色。後翅白色にして、半透明に近し。開張七分内外。これは札幌地方に少からず。

分布—北海道。

ネホンカギバコカ

Cerostoma hesperometellum Mats.

體及び前翅は灰白色。前翅には褐色鱗を混じ、翅底の前縁には一小黒點を裝ひ、外縁には小黒點列あれども餘り判然せず。後翅白色にして、半透明。開張八分五厘内外。

分布—北海道。



メノコカキバコカ

Cerostoma menoko Mats.

體及び前翅は白色。前翅後縁の約三分の二は廣く黒色、前縁には翅底に近く短黒線を裝ひ、中室後角の附近にも一



黒點を具へ、尙ほ全面にも判然せざる小黒點を散在す。後翅は暗色。開張六分内外。札幌地方に少なからず。

分布—北海道。

ナツメカギバコカ

Cerostoma sasakii Mats.

體翅灰褐。前翅の後半は濃褐、翅底より外縁に

向ひ、白線を横走し、前後の兩縁に沿ふて黒褐の點紋を列ね、翅端の下部は少しく刻らる。後翅は灰白。開張五分内外。幼蟲は菓の果肉中に蠶入して食害し、常に小孔を穿ち、これより褐色の蟲糞を出す。何れの地方にも多からず。



分布—本州、四國、九州。

ササヤマカギバコカ

Cerostoma sasayamumatsui Mats.

前翅は黄色、前縁の基部より中央に白色の半楕圓形紋を具へ、これは基部にて細まる、尙、外半の中央より外縁に向へ



る縦條及び後縁は白色、縁毛は黄色。後翅は暗灰色。下唇鬚は白色、其外側は橙黄色。觸角は暗色と白色の斑。頭及び胸背は白色、後者の兩側は橙黄色。腹部は暗灰色。脚は暗褐、白鱗を密布す。開張五分五厘。これは七月下旬四國笹山にて捕獲せられたり。

分布—四國。

タカムクカギバコカ

分布—四國。

アトグロカギバコカ

Cerostoma vitellinum L.

頭部は灰白、胸部は暗褐、灰白鱗を混ず。腹部は暗褐、各節の後縁は灰白。前翅は灰白、暗褐鱗を密布し、後縁の中央に近く大なる黒色部ありて、其上方は灰



白、外縁の中央に黒鱗を交ゆ。後翅は暗色、内半淡色。開張六分五厘内外。幼蟲は樹、樅等に寄生す。

分布—九州。

分布 北海道、歐洲、亞細亞。

コナガ *Phalaena maculipennis* Curt. (三九九)

體翅暗色。頭及び胸背は白色。前翅後縁の太き

波状縦線は少しく黄色を帯びたる白色。觸角は淡黄。

開張四分内外。幼蟲は蔬菜、莖苔其他十字花科植物の葉を食害す。何れの地方にも普通なり。

分布 樺太、北海道、本州、九州、沖縄、臺灣、歐洲。



♀

は暗色、半透明、翅脈は少しく濃色、縁毛は長く、淡色。開張九分五厘内外。これは燈火に飛來するも多からず。

分布 北海道、本州。

キンスチトガリコガ *Theristis argenteola* Mats. (三〇一)

頭部は淡褐、胸部は暗紫褐色、腹部は暗灰色。

前翅は葉色、後縁は廣く紫色を帯び、前縁の下方には太き白條を縦走し、此條の外方の翅脈は黒色、

後縁には黒鱗を散在す。後翅は暗色、縁毛は淡色。開張八分五厘内外。これは八月下旬始めて確水時にて発見せられたるも、その後札幌にて捕獲せられたり。

分布 本州。



♂

毛あり。開張三分。これは東京駒場地方に稀ならず。

分布 本州。

キイロトガリコガ *Theristis blanchella* Chrst. (三〇二)

頭及び胸部は白色、後者の兩側縁黄色、腹部は白色。前翅は綠黄色、中央及び後縁の上方に白條を縦走し、後者は中央に近く一小黒點を裝ひ、翅脈は淡色なり。後翅は白色、少しく暗色を帯び、翅端及び外縁は稍々濃色。開張八分内外。七月上旬札幌にて捕獲せらるるが少なきが如し。



♂

分布 北海道、本州。

シロスチトガリコガ *Theristis strigosa* Hult. (三〇三)

體翅は暗色。前翅少しく褐色を帯び、前縁及び外縁は紫色を現はし、前縁の下方に廣き白條を縦走し、上縁は黒色、外縁及び後縁に黒鱗を散在す。後翅は白色、少しく暗色を帯び、翅端及び外縁は稍々濃色。開張八分内外。七月上旬札幌にて捕獲せらるるが少なきが如し。

分布 北海道、本州。



♂

四六 潜蛾科 Lyonetidae

頭は粗糙若くは光澤あり。口吻は短。觸角は前翅の五分の四乃至同長、柄節は眼蓋をなす。下唇鬚は中庸長、時に短かきものあり。小腮鬚は時に發達せるも、亦退化するものもあり。後脛節に長毛を裝ひ、時に刺毛を有するものあり。前翅の末端は上方若くは後方に曲り、第七脈は前縁に開口す。後翅は長尖狀。何れも微小の種類にして、本邦に産するもの少なからざるも、學名の確定せるもの數種あるに過ぎず。幼蟲は八双の脚を具へ、時に無脚なるものあり。普通は葉中に潜入するも、時に樹皮下にあり。

キンボンモグリガ *Inconlatrix auriflata* Mats. (三〇四)

體翅は暗色、胡蝶の光澤を帯ぶ。前翅は紫色を帯び、後縁に黄色の一紋ありて、顯著なり、縁毛は暗灰色、基部は少しく紫褐色を帯ぶ。後翅は暗灰色、少しく銅色を帯び、縁毛は翅幅の約三倍長あり。

頭は鉛色。下唇鬚は灰白。觸角は暗灰色。脚は灰色、後脛節には暗色の長毛を裝ひ、距にも鱗



♂

第六 鱗翅目 (蛾亞目)

アイノモグリガ *Dryanula ainonella* Mats. (三〇五)

體翅は白色。前翅に四黒條を斜走し、何れも相平行し、最も外方にあるものは稍々圓紋となり、前縁に達せず、外縁に至るに隨ひ白色部を減じ、外縁の縁毛に一黒帶あり。後翅は暗灰色。觸角は灰白と暗色の斑。下唇鬚は白色、各節の末端には黒色の毛塊あり。前中肢は黒色、但し跗節は銀白、後肢は白色、脛節及び跗節に黒紋あり。開張二分五厘。これは八月中旬札幌にて捕獲せられたり。微小なるを以て捕獲困難なり。

分布 北海道。



♀

エゾモグリガ *Lyoneta jezonella* Mats. (三〇六)

體翅銀白色、少しく灰色を帯ぶ。前翅の中央に暗灰色の二帯を具へ、これは後縁にて少しく太し、その外方の前縁に長黒紋ありて、この前縁

に二白紋あり、外縁に近く黒色の二斜條ありて、稍々相平行し、その外側は何れも三角形の白紋となり、翅端には暗褐鱗多く、金色の光澤を帯ぶ。後後は暗灰色。脚は灰白、跗節の末端及び爪は黒色。開張三分。これは八月中旬札幌にて捕獲せり。

分布 北海道。



♀

ギンモンモグリガ *Lyoneta malivorella* Mats. (三〇七)

前翅は黒色、後縁には電光様の白紋を現はす、故に兩翅を疊む時は上面に三角形の三紋を見得べし、前縁の末端は白色、これに黒色の三短線を具へ、外縁には黒色の一紋ありて、その外方の縁毛は灰白、これに一黒線を貫く、末端の縁毛は鉤狀をなして下方に曲る。後翅は暗灰色、縁毛は翅幅の約三倍長あり。頭は白色、中央に暗灰色、跗節に白斑あり。開張三分内外。この幼蟲は草樹の葉中に潜入して有害なり。成蟲にて

分布 北海道。



♀

越年す。札幌地方には普通なり。

分布 北海道、本州。

ホシホシモグリガ

Lyoneta multimaculata Mats.

翅は暗灰色。前翅の前縁に約十個の黒紋ありて、その間室は白色、中央より外縁迄は何れも斜傾す、末端に黒色の一回紋を具へ、後縁には白色の二紋を装ひ、これに少しく暗色鱗を



交ゆ、外半は少しく金光を放つ、縁毛は暗色。後翅は暗色。觸角は暗色と灰白の斑。頭胸の前方には白毛あり。脚は銀白、前中の腿脛節に黒褐紋あり。開張三分。これは七月下旬札幌にて捕獲せるが少なし。幼蟲は草樹に寄生す。

分布 北海道。

リンゴモグリガ

Lyoneta ringonella Mats.

翅は暗灰色。前翅の中央にV字形の暗色紋ありて、その外方に稍々これと相平行せる同色の二短線を具へ、外縁の大部は橙黄色を帯び、その外方には黒色の一回紋を装ふ、外縁に近き前縁

♀



貫する一線は暗色。頭、胸は白色。腹部は灰色。前中肢は暗色、白斑あり、後肢は灰黄、長毛多し。開張五分内外。これは何れの地方にも多し。

分布 北海道、本州、歐洲。

ヘリクロベニコクガ

Coryphellum formosannum Mats.

翅は朱色、外縁は廣く黒色。前翅の中央に黄白の一大紋あり、縫線及びその上方も少しく黒色、縦脈上及び外縁に藍色鱗を散在す。後翅には黄白紋を缺く。縁毛は兩翅共



黒色、短かし。開張一寸三四分。著者はこれを六月中旬、埔里、南投及び北埔にて捕獲せるが少なきが如し。

分布 臺灣。

附言 此の蛾を獨逸ダーレム博物館にては

♀



の縁毛には三個の暗色紋、後縁には同色の二紋、外縁には同色の一帯ありて、末端にある鈎状の縁毛は暗褐。後翅は縁毛と共に暗灰色。後脛節に黒斑あり。開張三分。この幼蟲は草樹の葉中に潛入して有害なり。

分布 北海道。

Diphodoma Wlk. と同定せり、然れどもモリスカ氏の記載は全く異なるなり。

アトモンコクガ

Diphodoma marginipunctella Zeyher.

♀ サツボレンシス形

體翅暗褐。前翅の縁には灰黄紋を列ね、中央に近く白色紋を装ひ、その中には暗色紋あり、外縁の三分の一には小白紋を散在す、後縁の中央に白紋ありて、その中央に更に一暗色紋を具へ、尙、後角の前方にも白紋あり、縫線の終點に白色の長縁毛を装ふ。後翅は暗灰色、縁毛は淡色。頭は灰色。脚は灰黄色。前中兩脛節は暗色、これに灰黄斑あり。開張三分七厘。四月中旬札幌にて捕獲せらる。



分布 北海道、歐洲。

ツマジロコクガ

Lathrolepis apicalis Mats.

前翅は黒色、前縁の三紋、後縁の大部及び翅端は白色、翅端に黒色の二紋列を装ひ、尙、後縁にも暗色鱗を散在す。後翅は暗灰色、縁毛は灰

四七 蛾科 Tricidae

頭には普通粗毛あり。口吻は短小。觸角は前翅の半長若くは同長、柄節に櫛齒毛あるもの多し。下唇鬚は中庸長、斜向し、第二節の兩側に小唇鬚は小形なるも、時に發達して數節を有するものあり。後脛節には長毛を有するを常とす。前翅には十二脈を具へ、其内一、二脈の分支するものありて、副中室を装ふ。後翅は前翅と同長、長卵形、時に細長尖状を呈し、前翅同様に分支する場合、又時に脈上に少數の小刺を有するものあり。本邦學名を有するもの未だ少なく、僅に十數種あるに過ぎず。幼蟲は八双の脚を具へ、普通乾燥せる動植物を食し、時に筒状の巢内に住するものあり。蛹殼は羽化の時藪より半ば露出せり。

マヘモンコクガ

Blatophanus monachella Hb.

前翅は暗褐、前縁の中央に半楕圓形の黄白紋ありて、その前縁に接する所に暗灰色の一紋を具へ、この大紋を穿する後縁線及び翅底の前縁は黒色。後翅は灰色、外縁線及び縁毛の基部を横

♂



白。頭胸は白色、頭頂は灰黄、前胸の前縁に暗色紋あり。觸角は黒色、兩櫛齒状、柄節は太く、白色。下唇鬚は白色、基部暗色。腹部及び脚は暗灰色。開張六分五厘。これは札幌にて捕獲せるが少なし。

分布 北海道。

ヒロツコクガ

Naryctodes posticatus Mats.

前翅は暗灰色、少しく紫褐を帯ぶ、後角の内側に大なる三角形の灰黄紋を具へ、翅底にも小形なる同色紋あり、外縁に沿ひ暗褐紋を列ね、横脈紋は灰黄、その周圍は黒色、縫線は他より濃色、縁毛は灰黄、少しく暗色毛を混ず。後翅は暗灰色なるも、前翅より少しく淡色、頭、觸角、下唇鬚及び脚は灰黄、但し前肢の内側は黒色。腹部は暗灰色。開張五分六分。これは京都地方に少なからず。



分布 本州、九州。

オホコクガ *Zanthis joletti* E. (三二五)

體翅は淡暗褐色。前翅の前縁は灰黄、多数の暗褐色を列ね、其内、三分の二の處にあるものは最も大、外縁の第三、四、五縦脈上に黒褐色ありて、灰黄點を交け、翅底及び中央には顆粒状の暗褐色を散在す、後縁の中央に暗褐色の一枚を具へ、縁毛は灰白と暗褐色の斑をなし、後角にあるものは大部灰白。後翅は暗色、少しく紫色を帯び、縁毛は淡色。開張九分一寸。これは五六月頃、何れの地方にも稀ならず。幼蟲は草を食す。



分布 本州、歐洲。

アトキコクガ *Tinea flavicornalis* Mats. (三二六)

前翅は暗灰色、黒褐色を散在す、前縁には紋列ありて、基部にあるもの大、翅底の中央に一縦條ありて判然す、中央及び外縁に近き紋は大なり、



後縁は橙黄色、外縁にも黄色の部分あり。後翅は灰白。頭及び觸角は灰色、後者の基部は黒色。下唇鬚に黒鱗に装ふ。胸背は橙黄色、側方は黒褐色。腹部及び脚は灰色。開張四分。これは八月札幌にて捕獲せられたり。

ナミコクガ(穀蛾) *Tinea scannelia* L. (三二七)

頭は灰黄白、前翅は灰白、暗褐色を散在し、前縁の基部に三黒紋を具へ、外半には數個の黒紋ありて、その内三番目の紋は大、尙翅端に近く長形の黒紋を具へ、後角の處にも黒紋を列ぬ、縦線の中央に大黒紋を装ひ、これは前縁の二紋と合して稍々四角形紋を現はす、後縁の基部に近く一黒紋あり。後翅は暗色、前翅より細し。脚は灰白、跗節は暗色と灰白の斑をなす。開張四分。この幼蟲は穀物に大害を加ふ。



分布 世界共有。

イカ(衣蛾) *Tinea trichialis* L. (三二八)

具へ、外半は灰白、これに暗褐色を散在し、翅端の一枚及びその内側の二小紋は黒褐色。後翅は暗色、縁毛は淡色、基部に近く暗褐色の一線を貫通す。頭は灰白。胸部は暗褐色。腹部は暗褐色、黒帯あり。後肢は灰色。開張五分七分内外。この幼蟲は毛氈、絨氈の害蟲なり。嘗て札幌地方に多かりしも、目下これを捕獲せしことなし。



分布 世界共有。

Tinea pellionella L.

前翅は褐色、前縁は灰黄、これに多数の黒紋を列ね、外半の六紋は大にして、判然す、後縁は淡色、少しく赤味を帯び、これに四個の暗褐色を列ね、全面に暗褐色を散在するも、一定せず、縁毛は暗灰色、これに黒褐色を混す。後翅は灰色、細光を帯び、縁毛は少しく濃色。頭に黄褐色を密生す。胸部は前翅と、腹部は後翅と同色。脚は灰色、前中脛節は暗色、灰黄紋あり。開張八分九分。この幼蟲は衣服の害蟲なり。



分布 世界共有。

スチコクガ *Tinea striolella* Mats. (三二九)

頭は黄褐色、頭板は暗褐色。前翅は灰色、暗褐色を密布するを以て暗色なるが如し、前縁の基部に判然せる數個の黒紋を具へ、その後方は舟形に凹陥す、縦線は太く黒色、末端に達せず、横脈の外側に黒紋あり、縦脈上及び外縁に沿へる紋列は黒色、縁毛は暗



四八 長角蛾科 Adelidae

頭頂に疎毛多し。單眼を缺く。口吻發達す。雄にては複眼大。觸角は翅の二倍長以上、雌にては前翅よりも少しく長し。後脛節には雄に限り長毛を具へ、雌にては鱗毛を装ふ。前翅は長形、三内縁脈を具へ、第二脈は中室の後角より出で、第七脈は前縁に出で、第十一脈は中室の基部に近接して出づ。後翅の縁毛は翅幅の半長乃至四分の三長、三内縁脈あり。これは翅より長き觸角を有するを以て容易に區別し得。普通金屬性の光澤を有す。多く瓢箪形の扁たき巢中に住す。本邦學名を有するもの十七種あり。一種固有の飛方をなし、晝飛行にして、時に花上に捕へ得べし。燈火に飛來せず。

テウセンヒゲナガ(ガ) *Adela coreana* Mats. (三三三)

觸角黒色にして、末端は白色。頭は暗黄色。體暗色にして、胸背は少しく金屬性の光澤を現はす。前翅は黄色にして、翅底半に存する縦條及び中央



色、その中央に暗褐色を貫通す。後翅は灰色。腹部及び脚は灰白、開張四分。これは札幌地方に普通なり。この幼蟲は恐らく藁を食するものなるべし。

コイガ(小衣蛾) *Minocla laschella* Hum. (三三〇)

體翅灰黄、細光を帯ぶ。頭部は黄褐色の鱗毛を密生す。觸角に暗色環あり。前翅に斑紋を缺き、光線の工合により少しく紫色を帯び、前縁の基部は暗色。後翅は前翅と稍々同幅、前縁は前翅と同色なるも、他



は少しく淡色。後脛節に長毛を装ふ。腹部の末端は暗褐色を帯ぶ。開張五分内外。この幼蟲は毛氈、絨氈その他毛織の衣服を食害す。これは主として暖地に多し。

モウセンガ *Trichoplaga tayetella* L. (三三二)

前翅は基半部にて暗褐色、これに不明なる黒條を

し。
分布 臺灣。

チビヒゲナガ
Nemotois eihimana Mats. (三三四)

觸角及び體は暗色。前翅は黄色、紋條は鉛色にして、何れも暗色線にて縁取らる。後翅暗色、少しく紫色を帯ぶ。開張三分五厘外。これは本邦最小の長角蛾にして、札幌地方に産するも、その數多からず。



分布 北海道。

キンオビヒゲナガ
Nemotois degeerella L. (三三五)

觸角は白色、基部に至るに随ひ暗色となる。體は稍々黒色、胸部は少しく青銅色の光澤を表はす。前翅は黄色乃至橙黄色にして、翅脈は暗褐色、中央に横帯ありて、兩側には黒縁を有する紫鉛色條を具ふ。後翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ。開張六分内外。



分布 北海道、本州、臺灣、ウスリ。



色、紫褐色を帯ぶ。前翅は暗褐色、少しく紫色の光澤を表はし、中央に廣き紅色の帯を具ふ。後翅は暗褐色、少しく紫色を帯ぶ。開張六分内外。
分布 北海道、本州、臺灣、ウスリ。
附言 臺灣蕃署寮に産するものは變形 *N. formosicola Mats.* にして、前翅の帯は後方にて細し。

サカキヒゲナガ
Nemotois sakaii Mats. (三三六)

頭部は赤褐色、體は暗褐色。前翅も赤褐色にして紅色の廣帯を裝ひ、内外の兩側は黒線にて縁取らる、此翅は全面特に外半は光線の具合に依り美麗なる金屬性の光澤を現はす。後翅暗褐色にして、内半及び縁毛は淡色。開張五分五厘内外。少なからず。



分布 臺灣(蕃署寮)。

張七分内外。これは餘り多からず。
分布 北海道、本州、歐洲。

ホソオビヒゲナガ
Nemotois limentis Meyr. (三三七)

觸角は暗色、基部に至るに随ひ紫色を帯ぶ。體は黒紫色。前後兩翅は暗褐色、光線の具合により美麗なる青藍色及び紫色の光澤を表はし、中央には黄色の帯あり。開張六分内外。これは臺南及び埔里に捕獲せられたるも少なし。



分布 臺灣。

ギンスチヒゲナガ
Nemotois paraisca Butl. (三三八)

觸角は白色、基部に近き三分の一は黒色、基部は褐色。前翅の基半部は暗褐色、少しく紫色を帯び、中央に近く橙黄色の帯ありて兩側は鉛



色、紫褐色を帯ぶ。前翅は暗褐色、少しく紫色の光澤を表はし、中央に廣き紅色の帯を具ふ。後翅は暗褐色、少しく紫色を帯ぶ。開張六分内外。
分布 北海道、本州、臺灣、ウスリ。

サツホロヒゲナガ
Nemotois sapporensis Mats. (三三九)

觸角は白色、基部は黒色。前翅は暗黄色、翅底半に青灰色の五縱條及び二黒線ありて、前者は何れも黒線にて縁取られ、中央より少しく外方に黒縁を有する青灰色の二横條を裝ひ、兩條の間は黄色、外縁は黒色、少しく紫色を帯び、内側は鋸齒狀を呈す。後翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ。開張六分五厘内外。これは六月上旬札幌地方に普通なり。



分布 北海道。

ワカヤマヒゲナガ
Nemotois wakayamensis Mats. (三四〇)

體は黒褐色、少しく金屬性の光澤あり。前翅は橙黄色、縦條及び横條は青灰色、何れも黒線にて縁取らる、翅端は廣く黒色。後翅は暗色、紫色の光澤を表はす。開張七分内外。これは和歌山地方にて捕獲せられたるも少なし。



分布 本州。

色を帯ぶ、外半は暗褐色、光線の具合により美麗なる黄金色及び紫色の光澤を表はす。後翅は暗褐色、少しく紫色を帯ぶ。開張五分五厘内外。これは和歌山にて捕獲せり。

タイワンオホヒゲナガ
Nemotois polychorda Meyr. (三四一)

觸角は白色、基部に至るに随ひて暗褐色となる。體は暗褐色。前翅は淡黄色、翅脈は暗褐色、少しく紫色を帯ぶ、中央に黄色の帯ありて、暗褐色にて縁取られ、更に其兩側は鉛色を帯ぶ。後翅は半透明、暗褐色、少しく紫色を帯び、翅脈は多少濃色。開張九分内外。これは臺灣の高山地帯に捕獲せらるるも、その數多からず。



分布 臺灣。

ベニスチヒゲナガ
Nemotois rubrofascia Christ. (三四二)

觸角は白色、基部は黒色。體は黒色。複眼は黒

れたるも少なし。
分布 本州。

四九 微蛾科

Nepitichidae

胸は太く、頭には直立せる粗毛あり。口吻は退化す。觸角は前翅の半長若しくは四分の三長、柄節は肥大して複眼を蔽ふ(複蓋をなす)。下唇鬚は短、絲狀、垂下するもの多し、小腮鬚は長し。後脛節の背部には剛毛列あり。前翅の徑脈は中脈と相合し、下方に彎曲す、第七脈は前縁にあり、第七、八脈は分支若しくは相合し、第三及び九脈を缺く。後翅は長尖狀、前翅の半長若しくは三分の二長、抱刺は雄にては發達す。雌には前縁の基部に剛毛列を具へ、横脈を缺く、徑脈と中脈は相合し、第三、四脈を缺く。幼蟲の脚は退化し、第三、四並に第六節乃至十一節に各一対の突起を有するも、時に全くその突起を缺くものあり。葉中に潜入し、稀に樹皮下に潜るものあり。蛹殻は羽化の時繭外に出づ。本邦學名を有するもの僅に三種あるに過ぎず。何れも微小なるを以て注意せざれば捕獲困難なり。

オホイシチビカ……………(三三三)

Trifreneta oshibiki Mats.



♀

頭は橙黄色、兩側毛は灰白。觸角は灰色、基部の數節に暗色環あり。體翅は暗褐、少しく紫色を帯び、絹光を放つ、鱗毛は大、翅端には杓子狀の鱗毛と長毛を裝ふ。後翅は暗色。脚は褐色、後脛節の背部に半臥せる剛毛を連ぬ。開張二分。幼蟲は櫻桃の枝に蠢入して、瘤狀突起を構成す。これは六月中旬福島地方に少なからず。
分布 本州。

ギンモンチビカ……………(三四四)

Nepitichia gimmonochia Mats.



♀

體翅は銅褐色。頭には白色の直立せる鱗毛を裝ふ。觸角は暗灰色、基部は灰白。前翅の中央に銀白色の二帯ありて、これは前縁にて少しく細まる。後翅は暗色。脚は灰色、後脛節には灰白の長毛塊あり。開張二分内外。これは微小なるが爲め捕獲し損ふものなり。燈火に飛來すれば、注意すれば捕獲困難ならず。四月上旬札幌にて捕獲せられたり。



♀

體翅絹様の光澤ある灰黄白。頭は橙黄色、兩側は銀白色。觸角は灰白。前翅に暗色の三帯ありて、一は翅底に近接し、他は中央より少しく外側に、他の一帯は翅端に位す、縁毛は外縁及び後縁にて灰黄白、前縁にては暗色。後翅は暗色。脚は暗灰色。開張一分七厘。これは恐らくは本邦産最小の蛾なるべし。九月上旬札幌にて捕獲せられたり。
分布 北海道。

ミスチチビカ……………(三四五)

Nepitichia trifasciata Mats.

五〇 昔蛾科

Micropterygidae

頭には多少粗毛を裝ふ。單眼を有す。小腮鬚は發達し、普通腕狀に屈曲す。後脛節に二対の距あり。前翅内縁の基部には小形なる翅垂あり。後翅に抱刺を缺き、十脈ありて、脈相は稍々前翅に似たり。これは一見毛翅目に似て、翅に細毛を裝ひ、毛翅目と鱗翅目との連鎖と稱すべきものなるが故、蛾の祖先形と想像せらる。本邦學名を有するもの唯だ一種あるに過ぎず。

タカムクムカシガ……………(三四六)

Pornopsenus takamukai Mats.



♀

體は暗褐。翅は半透明にして暗色、翅脈は稍々濃色。前翅の半部に濃色紋を散在し、翅端の近くに大なる白紋を裝ふ。後翅には外縁に近く兩端にて細まれる白帯あり。開張七分九厘内外。これは一見毛翅目に似たれば、注意せざれば蛾と認むることを得ず。埔里には少なからざるが如し。
分布 臺灣(埔里)。

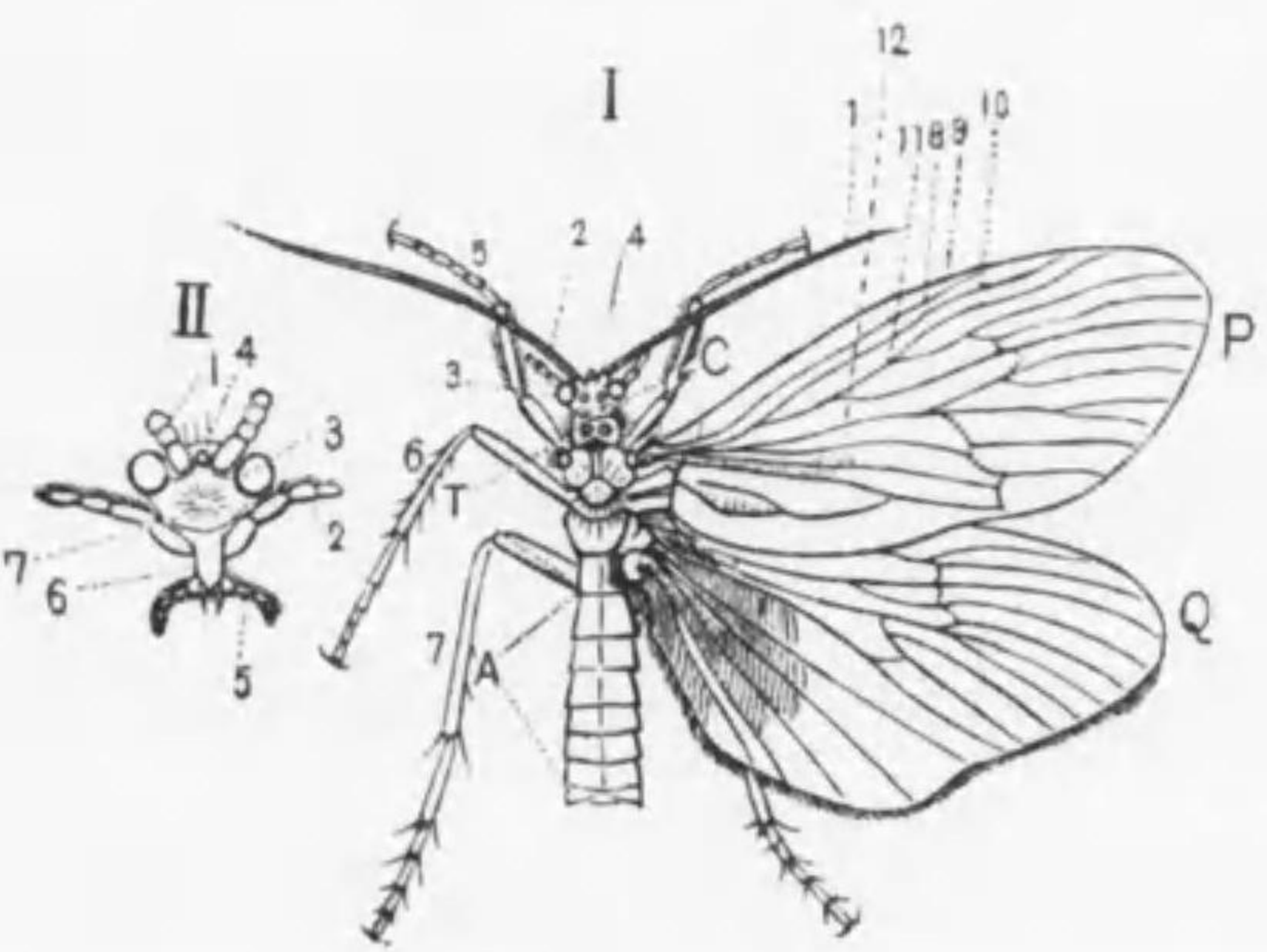
第七 毛翅目 TRICHOPTERA

第七 毛翅目

Trichoptera

二双の翅はその形を異にし、前翅には細毛若くは細鱗を装ひ、後翅は廣くして縦疊し得べく、静止の時は屋斜狀をなしてこれを腹上に置く。口部は退化し、咀嚼に適せず。小腮と下唇と相癒着して短かき口吻を構成す。普通三個の單眼あり。變態は完全なり。成蟲の静止する時は普通頭部を下方に向くるを以て一名チムキカゲロウとも云ふ。幼蟲は水中に住し、常に葉片、草片、砂石若くは木片を集めて管狀の巢を造り、その内に住す、これを俗にゴミカツギと稱す。本邦に産するもの十一科あり。

ムラサキトビケラ



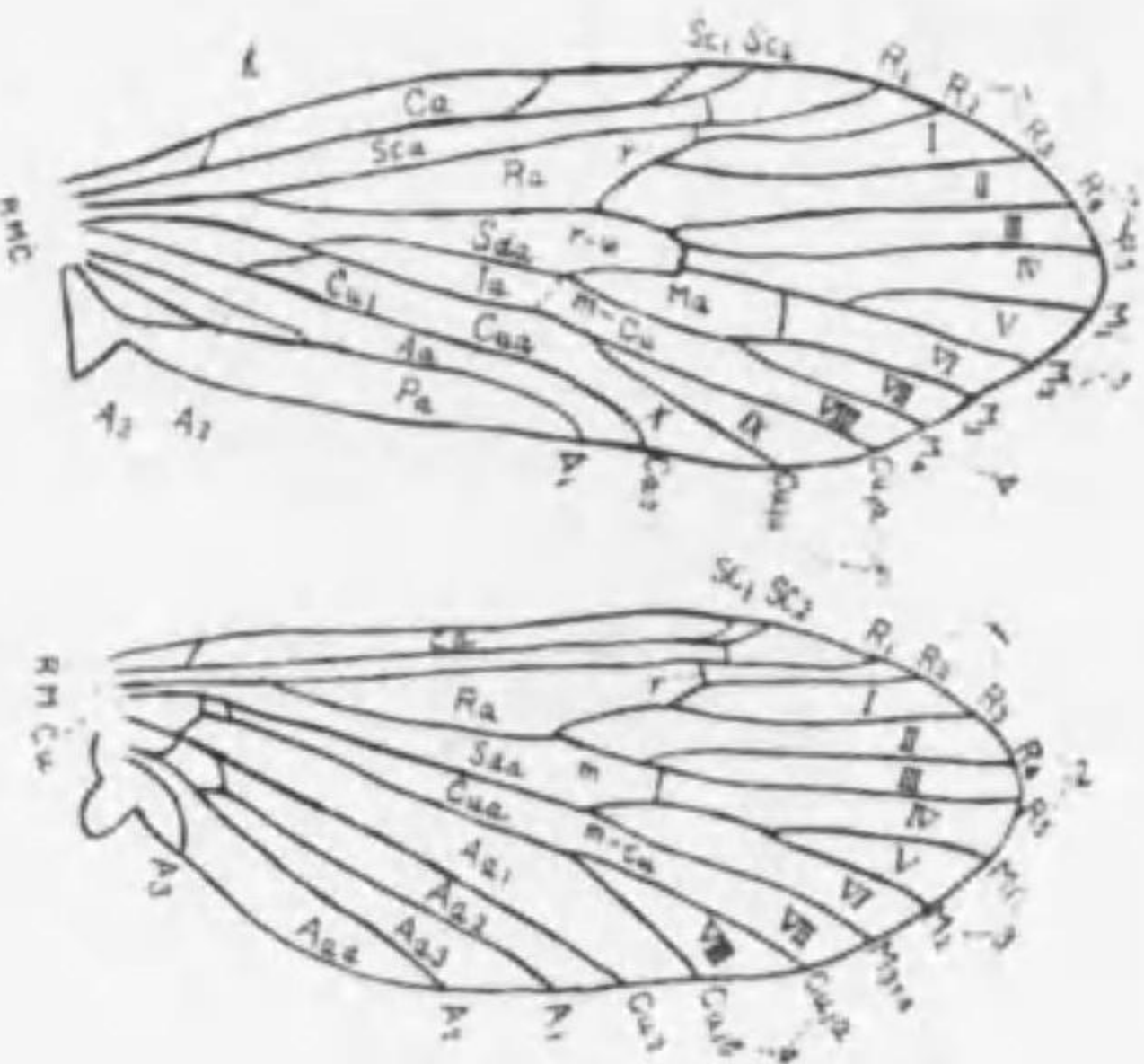
Eubasilissa regina M'L.

- (I) 背面
 - (C) 頭部
 - (1) 觸角
 - (2) 小腮
 - (3) 複眼
 - (4) 單眼
 - (5) 前肢
 - (6) 中肢
 - (7) 後肢
 - (T) 胸部
 - (A) 腹部
 - (P) 前翅
 - (Q) 後翅
- (II) 頭部の下面
 - (8) 副前緣脈
 - (9) 前緣脈
 - (10) 徑脈
 - (11) 中脈
 - (12) 肘脈
 - (5) 下唇
 - (6) 口吻
 - (7) 額

一 石蠅科 Trichoptera

雄の小腮は四節、雌には五節、細毛少し。單眼を有す。觸角稍々太く、基節短大。翅は不透明なるもの多く、前翅には細毛多く、後翅は幅廣くして、縦疊す。前中後肢の脛節にある距は2.4.4なり。幼蟲は普通静水若くは緩流中に住し、圓筒狀の巢を造り、その内にあり。本邦に産するもの約十六種あり。

石蠅の說明 (模範圖)



第七 毛翅目

- R 脈徑 (Radial)
- M 中脈 (Media)
- Cu 肘脈 (Cubitus)
- Sc1, Sc2 副前緣脈 (Subcosta)
- Ca 前脈室 (Costal area)
- Scu 副前緣室 (Subcostal area)
- Ra 徑室 (Radial area)
- Sca 副中室 (Subradial area)
- Ma 中室 (Medial area)
- Ta 鏡室 (Thoracic area)
- Cua 肘室 (Cubital area)
- An 腎室 (Anal area)
- Pa 後緣室 (Post costal area)
- I 第一室
- x 第二室
- 第十室
- 1 第一又
- 第五又
- r 徑橫脈
- r-m 徑中橫脈
- m-cu 肘中橫脈

ムラサキトビケラ Eubasilissa regina M'L.

體暗褐。頭部稍々卵形。單眼黃白。顔及び兩額は黃褐。前翅黃色、黒褐紋を散在す、外縁は黒褐、黄紋を散在す。後翅黒紫色、外縁に近く黄色の大紋を装ふ。胸面及び脚は黃褐、脛節及び附節は黒色。腹部は光澤ある灰黒。體長七分内外。開張二寸二分内外。これは七八月の頃北海道及び本州に於て普通なり。



♀

分布 樺太、北海道、本州、九州、臺灣、支那、印度。
附言 インベリアアイリス形の原種と異なる所は主として前翅の斑紋は判然せざること及び後翅末端の黒紫紋を缺くにあり。これは京都及び日光にて捕獲せらる。

インペリアリス形 ♀ *H. imperialis* Nak.



分布—本州。

ヒメアミメトビケラ……………(三)

Hagenella apicalis Mats.



體黑色。頭頂及び前胸背に金色の剛毛を密生す。小腮黄褐色。前翅黄色、半透明、黑色の網状紋を装へども、外縁黑色、其縁に黄色縁を並列す。後翅は黄色、外縁黑色。前縁の二紋黑色。脚黒褐、脛節及び跗節は黄褐。體長三分内

外。開張九分内外。札幌地方にては山間の小川に捕へ得べきも多からず。
分布—樺太、北海道。

カラフトアミメトビケラ……………(三)

Hagenella chahrata Kol.



體黑色。頭頂及び前胸背に黄色毛を密生す。觸角黑色。兩腮は暗黄。前翅黄色、半透明、これに黒褐の網状紋を装ふ。後翅黄色、内外縁に二、三の小黒紋を装ふ。脚黄褐。體長三分内外。開張八、九分。これは樺太には稀ならず。

分布—樺太、歐洲。

カラフトゴマフトビケラ……………(四)

Holostomis plehenokles L.

體黑色。前翅乳白色、半透明。黒紋を散在す。後翅白色、半透明、後縁及び外縁は黑色、前縁に數個の黒紋を装ふ、翅脈黄白。脚黒褐、光澤ある黄褐毛を密生す。腹部黒褐、白粉を散布す。體長八分内外。開張二寸内外。これは樺太



分布—樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

ゴマフトビケラ……………(五)

Holostomis melaleuca M.L.

體黑色、黄褐毛を生ず。兩腮黑色。前翅は淡黄色、半透明、黒褐紋を散在す。後翅白色、前縁に長楕圓形の黒褐紋を具へ、外縁には廣き黒褐

♀



帶あり。體長六分。開張一寸八分。本州の山地に稀ならず。
分布—北海道、本州。

アミメトビケラ……………(六)

Oligostomis flavipes Mats.



體黑色。單眼黄色。小腮黄褐。前翅には微小の細毛を粗生し、半透明、少しく黄色を帯び、黒褐の網状紋を具へ、内縁翅底の縦脈は黒

第七 毛翅目

分布—本州。

ヒラヤマトビケラ……………(七)

Oligostomis hirayamae Mats.

色。後翅は前翅と同色、翅脈は黄色、外縁に近く判然せざる暗色紋を具へ、前縁の中央に暗色線を装ふ。脚暗黄、刺毛は黑色。體長四分五厘内外。開張一寸三分内外。東京地方に稀ならずが如し。

雌、觸角及び兩腮暗褐。前翅は半透明、暗色を帯び、前縁の外半は不透明、顆粒突起を散在し、基部部に暗色の六點あり、副前縁脈は三分の二の處にて弓状に曲る、各室



に暗色の短線を并列し、稍々網目状を呈し、外方の三分の一には網目紋を缺く、中央に近く白紋を具へ、後縁横脈の兩側も白色、脛脈及び肘脈の基部は暗褐。後翅は前翅より淡色、前縁は

分布—本州。

ツマグロトビケラ……………(八)

Phryganea japonica M.L.

頭胸は暗褐。單眼黄色、其基部黑色。觸角の基部及び末端は黄色、中央黒褐。兩腮の基部は黄



色。頭頂及び前胸背に白色及び黄色の剛毛を密生す。中胸背の両面に黒褐紋あり。前翅不透明短毛を密生し、前縁黄褐、小褐紋を散在す、中央の縦條は黒色、前、後兩縁は灰褐、褐色の綾様紋を装ふ。後翅濃黄、外縁暗色。胸部の下方、腹部及び脚は黄色、脛節及び跗節の大部は黒褐。體長六分内外。開張一寸八分内外。これは中國には稀ならず。

分布 北海道、本州、九州、朝鮮。

マルハネトビケラ……………(九)

Phryganopsis latipennis Banks

頭黄色。胸腹は黒褐、黄褐毛を密生す。兩翅は褐色。觸角は灰黄、基節長大にして、褐色。前翅は雄にては卵形、雌にては稍々長し、灰褐にして、微毛を密生し、中央並に外縁に灰白帯を具へ、翅底に近



き外縁、縁紋並に中室の外下方に黒紋あり。後翅は暗色、半透明、縁紋は黒褐。脚は黄褐色、前、中肢の脛節はその外側にて黒褐。體長三、

四分。開張(雄)一寸、(雌)一寸三分。これは四、五月頃山地に捕獲せらる。

分布 本州。

ウンモントビケラ……………(一〇)

Trophiganea serotida M.L.

頭胸は黒褐、黄褐毛を具へ、中後兩胸に赤褐の中條あり。兩翅黒褐。觸角黒褐、各節端は黄褐。前翅は灰褐、稍々不透明、黒褐の綾様紋を具へ、處々に大形紋あり。後翅透明、暗色、翅端より外縁に互



り少しく黒褐。腹部褐色。脚は黄褐、前、中脛節に三、四の黒褐環紋を具へ、跗節端は黒色。體長五分。開張一寸四分。八月頃捕獲し得べし。稀ならず。

分布 北海道、本州。

ハヒマダラトビケラ……………(一一)

Trophiganea varia F.

體黒褐、頭胸に灰色毛多し。觸角は暗黄褐、各

二 列石蠅科

Tinnophilidae

雄の小腮は三節、雌にては五節、細毛少なし。單眼を有す。觸角は稍々太く、基節大なり。前翅細長にして、細毛少なし。後翅は透明、幅廣し。脛節の距は種類により異り、前肢にてはこれを缺けども、時に一本を有するものあり、中肢にては三本以下なり。前翅外縁の柱々列れたるの觀あるを以てこの名あり。本邦に産するもの約二十種あり。

エンモンエグリトビケラ……………(一二)

Astania fuscostigma Mats.

雌、頭胸は黒褐。腹部は黄褐、白粉を裝ひ、天鵞絨様の光澤を帯び、各節の後縁は淡色。觸角灰黄、褐色環を具へ、基節は黒褐、同色毛を簇生す。前胸は黄褐。前翅は半透明、少しく灰黄を帯び、翅底半



第七 毛翅目

後翅は幅廣く、透明、少しく灰黄色を帯ぶ。脚



トビモンエグリトビケラ……………(一三)
Astrophyta serminivus M.L.
體暗褐。顔は黄褐。兩翅及び觸角は褐色。前翅は稍々長く、翅端は圓く、淡褐、周縁は稍々濃色。各端室の基部、中室並にその後方に褐色の短條を具へ、翅底並に後縁に近く褐色條あり。

節端は黒色。兩翅は黒褐。前翅は灰黄、不定なる暗褐の網狀紋を裝ふ。黒色、灰色又は黄色の短毛を密生し、第三及び第六端室に明瞭なる白紋あり。後翅は灰白、半透明、翅端より外縁に互り暗色線あり。後翅汚黄色。前肢黒褐、中肢淡褐、脛節及び跗節端は黒色。體長四分。開張一寸。これは樺太に稀ならず。

分布 樺太、歐洲。



黄褐。體長三分五厘。開張一寸。札幌附近に稀ならず。

分布 北海道、西比利亞。

ナミエグリトビケラ……………(一四)

Glyptoclelus adnorsus M.L.

體黄色。頭頂黄褐、白色の短毛を粗生す。觸角の基部は黒褐、その下部は黄色。前胸背の中央に白色の短毛を裝ふ、中胸は赤褐、兩側は黒褐。

前翅は黄褐、半透明、外縁は列らる、中央の斜條は白色、内縁脈及び副内縁脈に沿ふて黒紋を列ぬ。後翅透明、翅脈及び外縁は黄色。體長六分五厘内外。開張二寸内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布 樺太、北海道、本州、九州。

ヒメモンエグリトビケラ……………(一五)

Limnophilus affinis M.L.

體暗褐。觸角に黄色の輪環あり。頭頂及び前胸には黒褐の剛毛を装ふ。前翅は灰色、小黒點を散在し、中央に透明の大紋あり、縁紋は暗色。後翅は少々透明、少しく灰色を帯ぶ。脚は黄褐、刺毛は黒



色。腹部黒褐、兩側に淡色の縦條あり。體長三分内外。開張一寸内外。これは普通なる種類にして、早春河畔に捕獲し得べし。

分布 北海道。

アムールエグリトビケラ……………(一六)

Limnophilus amurensis Umer

頭胸は黒褐、同色毛を密生す。觸角は褐色、基部黒褐。中胸側は黒色。前翅は半透明、暗褐、淡色不明の縦條紋を散布し、前縁は淡褐、中室附近に大なる三角形の淡褐紋を具へ、外縁にも同様の淡褐紋あり。後翅は幅廣く、透明、少しく暗色を帯ぶ。腹部は暗褐、側線は赤褐。脚は褐色、距刺は黒色。體長三分。開張一寸。札幌地



方に普通なり。

分布 樺太、北海道、本州、西比利亞。

ウスハキエグリトビケラ……………(一七)

Limnophilus corcepinus M.L.

體は赤褐。頭頂には白色の短毛を粗生す。觸角には不明なる淡色の輪環あり。前胸

セクロエグリトビケラ……………(一八)

Limnophilus fuscovittatus Mats.

體は暗褐、中胸中央の縦條は黒褐。觸角は黒褐、末端は黄褐、黄色輪あり。前翅褐色、半透明、内縁及び後縁の大部は黒褐、其上に黄色の小點を散在す。翅脈は黒褐及び灰色の斑をなし、縁紋は少しく濃色、中央の透明紋は不明。後翅透明、少しく暗色を帯ぶ。胸下及び脚は黄褐、後者の距刺は黒色、各跗節端は黒褐。腹部は黒褐、兩側は黄色。體長五分内外。

開張一寸二分内外。中國地方に普通にして、晩秋多く羽化するを見る。

分布 北海道、本州。

スチエグリトビケラ……………(一九)

Nemotaulius brevilinea M.L.

體黄褐。顔黄色。前胸背には黄白毛を粗生し、中央には一縦溝を具へ、中胸背の縦溝は其兩側



にて黒褐。前翅は淡黄褐、灰色紋を散在し、内縁脈に沿ふて基部に黒條を装ひ、副内縁脈に沿ふて二短黒條あり。後翅は透明、翅脈黄色。胸面、脚及び腹面は黄色。體長五分内外。開張一寸四分内外。札幌地方に稀ならざる種類にして、九月頃に出づるもの多し。

分布 北海道、本州。

トビイロエグリトビケラ……………(二〇)

Nothosyche pallipes Banks

頭胸は黄褐。頭頂黒色、黒褐毛を密生す。觸角は黒褐なるも、末端黄褐。中胸側は黒褐。前翅端は圓く、半透明、黄褐、周縁は少々濃色、黄



褐の微毛を生ず。後翅は少々透明、少しく暗色を帯び、縁紋より外縁に亘りて暗黄。腹部は灰褐。脚は黄褐、距刺は黒色。體長四分内外。開張一寸一分内外。これは札幌地方に稀ならず。分布 樺太、北海道、本州。

ホタルエグリトビケラ……………(二一)

Nothosyche rubicollis Umer

頭は黒色、同色毛を密生す。前胸は橙赤色、中後の兩胸は黒褐。觸角は黒色、前翅よりも長し。前翅端は圓く、半透明、暗黄褐を帯び、脈



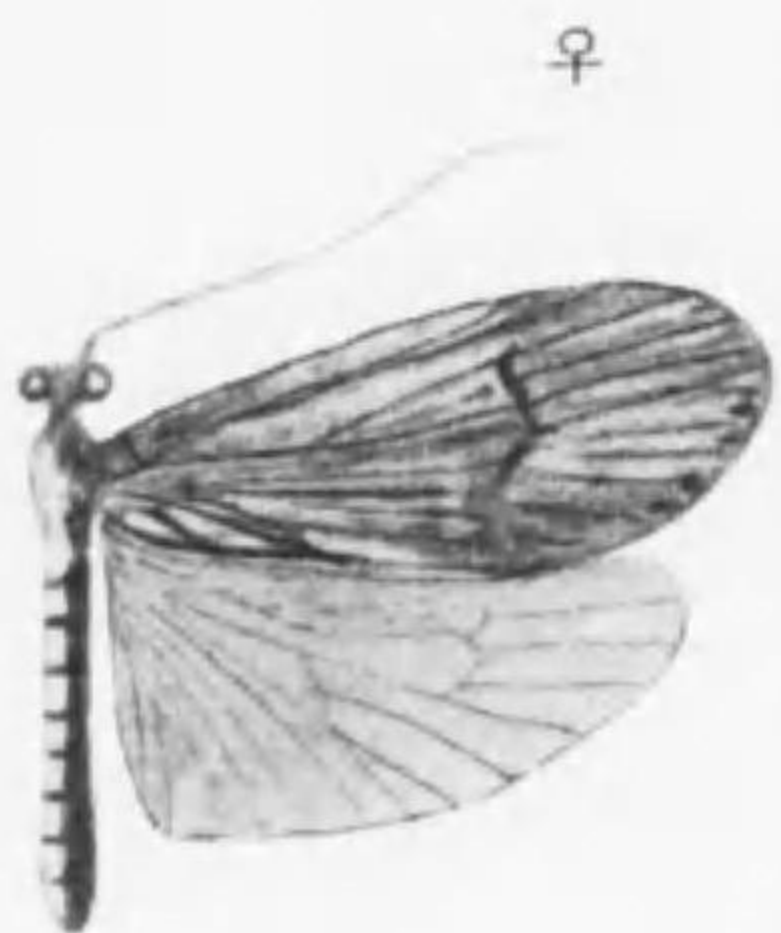
は暗褐。後翅は幅廣く、透明、少しく灰褐を帯ぶ。腹部は黄褐。脚は黒褐乃至黒色。體長三分。開張一寸内外。本州及び九州にては晩秋比較的普通なり。分布 本州、四國、九州。

ユミモントビケラ……………(二三)

Phaenopteryx jugensis Mats.

雌、體翅淡褐、前翅は全面に顆粒突起を散在

し、横脈は何れも四陥し、その兩側は濃色なるを以て恰もら狀帯あるが如し、縦脈に沿へる一線及び各室の中央條並びに周縁は濃色。後翅は前翅より少しく淡色、光線の具合にて虹色を帯ぶ。觸角は赤褐、暗色環ありて、其基部にて判然す。後頭及び前胸背に顆粒を裝ふ。中胸背の兩側に各一褐紋あり。脚に黒色の剛毛多し。體長五分五厘。開張一寸六分内外。これは九、十月頃札幌地方に少なからず。



散在し、金色短毛を密生し、絹光を放つ。後翅は前翅よりも少しく淡色。腹背は少しく暗色を帯び、各節の後縁は淡色、尾端の下附器は大、弓状、基部太く、末端は鉤狀に終る。跗節は暗褐、黒毛多し。體長五分。開張一寸五分。これは九月中旬定山溪にて捕獲せらる。



雄の小腮鬚は三節、雌の小腮鬚と大にその趣きを異にし、長毛を密生す。前翅は廣く、細毛を密生し、一見蛾の如し。觸角は太く、翅より短かく、其節は長大にして、細毛を密生す。本邦學名を有するもの四種あり。

三 毛石蠶科 Fericostomidae

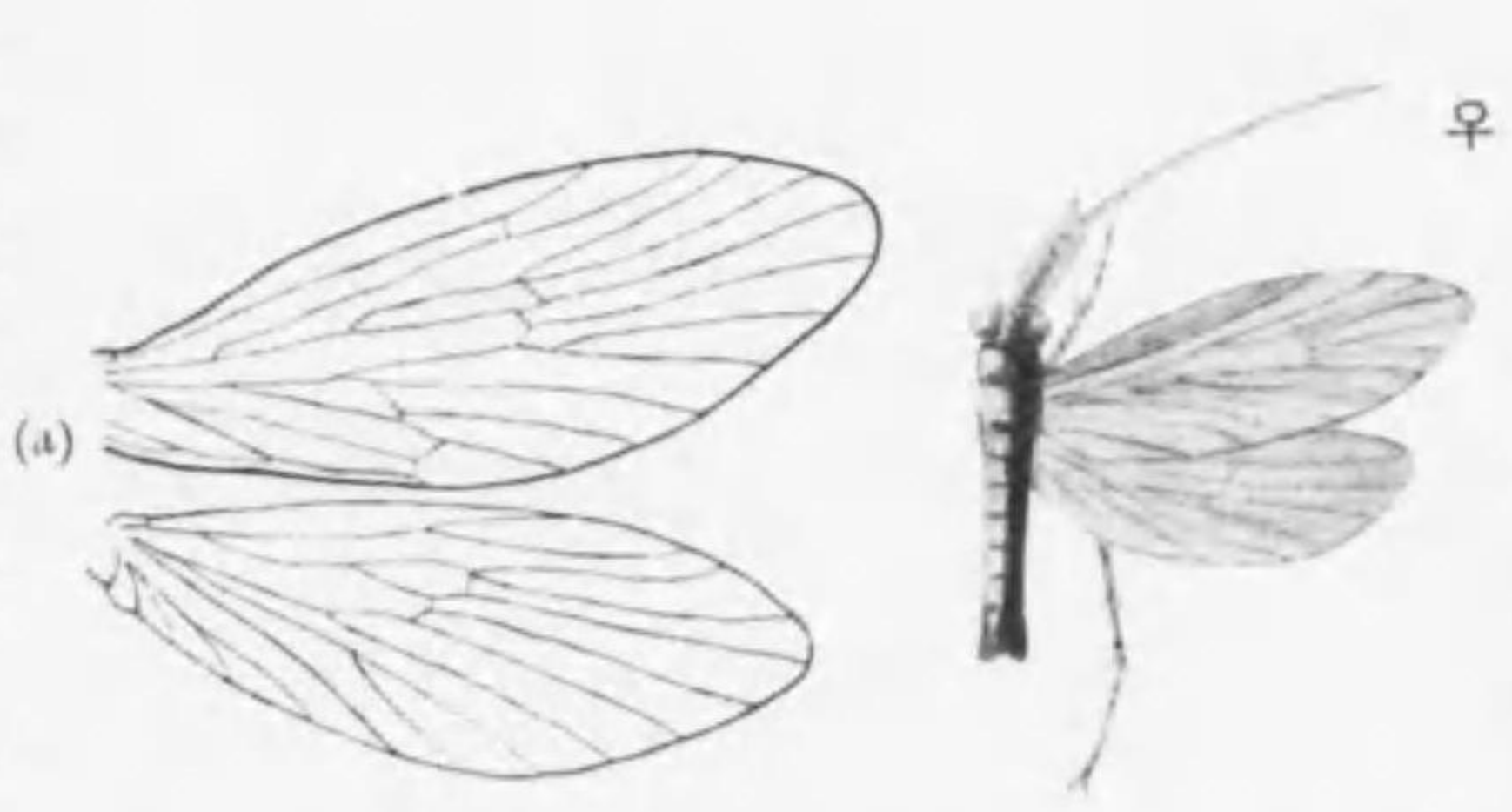
ヒゲフトケトビケラ (Coera japonica Banks) 體翅灰黄。觸角は太く、第一節は長く、次ぎの七節を合したるものと約同長、長毛多く、前翅とその長さを等しくす。前翅には金色の光澤ある黄褐の短毛を密生し、光線の具合により紫紅色を現はす。後翅は前翅よりも少しく暗色を帯び、初めの三脈は何れも分叉す。雄の尾節少しく暗色、各腹節の後縁は淡色。體長二分五厘。開張六分。これは何れの地方にも普通なり。



オホヒゲフトケトビケラ (Neosaveria crassicornis Umer) 體翅暗色。觸角黒褐、稍々鋸齒狀を呈し、基部黒色。頭頂の兩側及び中後兩胸背の各二紋は黒褐。前翅は半透明、脈は黒褐、各室には顆粒を

四 枝石蠶科 Calamoceratidae

クオアシエタトビケラ (Asiolecerus nigripennis Kuway) 頭胸は黒色、頭に黄瘤を具へ、黒褐毛を生ず。觸角黒褐、雄にては長く、前翅の約二倍半長、雌にては僅に前翅端を越ゆ。翅は雄にては細長、



分。これはその觸角の異狀なるが爲め顯著なり。



翅端尖り、雌にては幅廣く、翅端尖らず、兩翅

共半透明、黒褐、黒毛を密生し、前翅の全面に不明瞭なる淡色紋を散在す。腹部黒褐。脚、雌にては暗黄、雌にては暗褐。體長四分五厘。開張一寸二分内外。これは京都附近に稀ならず。
分布 本州、朝鮮。

五 齒石蠶科

Odontoceridae

雌雄小腮鬚は五節、末節は長からず、短毛を密生す。單眼を缺く。觸角は稍々太し。兩翅中室を有するも、副中室を缺く、脛脈と第一脈又は横脈によりて連絡するか若くは相合す。常に前翅に第二脈又を有す。脛節の距は不定なり。幼蟲は普通流水に住し、移動性の巢を有す。本邦學名を有するもの三種あり。

生し、不透明、雌にては兩翅の外方に卵形の白紋を有す(この紋の黄色を呈するものあり)。雌にては翅稍々長く、前翅の紋は不明瞭なる暗色、後翅には紋を缺く。腹部黒色、兩側黄褐。翅は雌にては暗灰色乃至黄灰色、雌にては黒褐。體長五分内外。開張一寸二分内外。これは一見蛾の如き觀をなす。中國地方には少なからず。
分布 本州。

ヨツメハトビケラ

Perisoneura paradoxa MT.

頭胸は黒色、同色毛多し。觸角は太く、黒色。兩鬚は暗黄。兩翅大、黒色乃至黒褐、短毛を密



六 角石蠶科

Leptoceridae

雌雄の小腮鬚は五節、末節は延長せず、短毛を密生す。單眼を缺く、觸角は甚だ長し。前翅の副中室及び後翅の中室を缺き、脛脈と第一脈又と相結合することなし。前翅の第二脈又を缺く。前肢に距を缺くか若くは二個、中、後兩肢には各二個あり。幼蟲は静水乃至緩流中に住し、移動性の巢を有す。本邦學名を有するもの約十種あり。

ミサキツノトビケラ

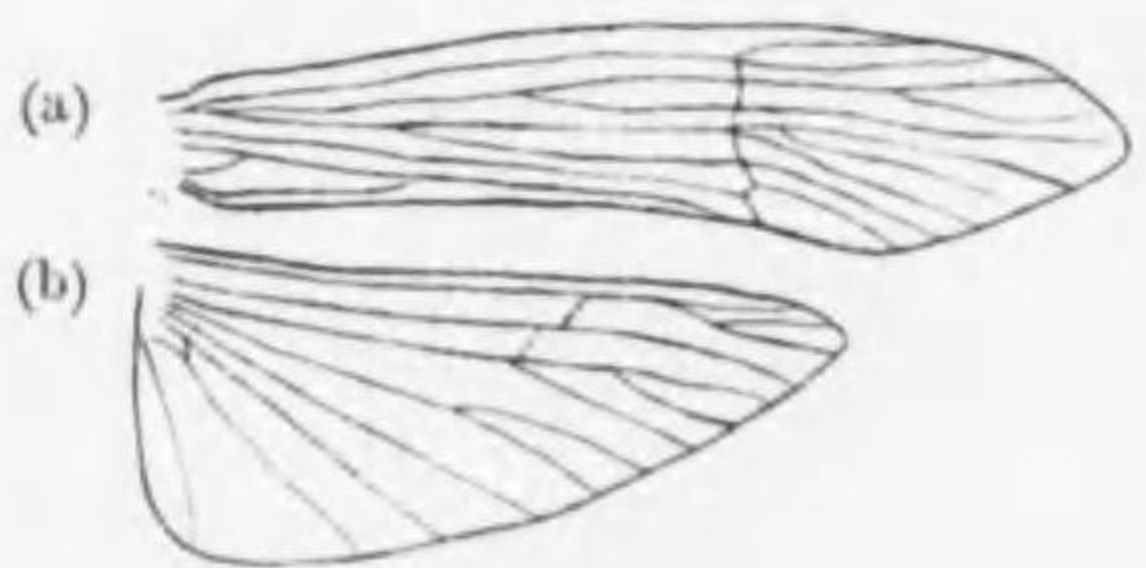
Toliera misakiana Mats.

(二八)



雌、體翅灰黄、少しく紫褐色を帯ぶ。觸角は灰黄白、環節は黒色、下唇鬚は少しく暗

第七 毛翅目



(a) 前翅 (b) 後翅(廓大) (c) 頭部(羽状毛を有する小腮鬚を示す)

附言 下唇鬚の羽状を呈することは *Mystacides*

に酷似するも、その翅脈は全く異なりて、前翅に第一及び第三又を具へ、中室近くの横脈は何れも稍々一直線上に位し、後翅の第一又の下方に更に一枝を分出す。

アヲツノトビケラ

Mystacides azurea L.

(二九)

頭胸は黒色。觸角長く、前翅の二倍長あり、灰白、各節端は黒色。前翅は細長、黒色、銅青色の光澤を帯び、縁紋の位置に一截痕を具へ、翅



を疊む時は、これより屈折す。後翅は暗灰色、半透明。腹部は黒褐。脚灰白、基節黒色。體長一分五厘。開張五分。これは池沼の叢間に普通

なり。

分布 北海道、本州、四國、歐洲。

ゴマダラツノトビケラ *Oecetis nigropunctata* Uhner (三〇)

頭胸は褐色、同色毛多し。觸角は長く、前翅の二倍長に達す、暗黄、各節に黒褐輪あり。前翅は細長、半透明、暗灰色、横脈上、翅脈の分岐



點並に外縁の脈端に黒褐點を有す。後翅は細長、前翅より短く、透明、暗色。兩翅の縁毛は黒褐。腹部青綠色。脚は灰黄色。體長二分。開張五六分。これは本邦何れの地方にも普通にして、燈火に飛來す。

分布 北海道、本州、四國、朝鮮。

キンボシツノトビケラ (キンボシツツトビケラ) *Setolus iris* Hal. (三一)

頭胸は濃褐、これに銀白の三條を具へ、同色毛多し。觸角長く、銀白色、各節に暗色輪あり。翅は細長、前翅には短毛を密生し、黄褐、これに約二十一個の銀白紋を具へ、各紋の周圍は黒



色。後翅は半透明、暗灰色。腹部は黄緑乃至暗黄。脚は黄褐。體長一分五厘。開張四分。この幼蟲は泥巻蟲と稱し、稻の種苗を咬食し、時に大害を加ふ。

分布 北海道、本州(青森)。

七 細石蠶科 *Molannidae*

雌雄の小腮鬚は五節、末節は延長せず、短毛を密生す。單眼を缺く。觸角は前翅と稍々等し。兩翅共に中室、副中室を缺く。脛節距は前肢二、中室二又は四、後肢四なり。幼蟲は静水又は緩流中に住し、移動性の巢を有す。本邦に學名を有するもの約四種あり。

カスリホソトビケラ *Molanna falceata* Uhner (三三)

頭は黒色、胸腹部黒褐、同色毛を疎生す。觸角黒褐、前翅は細長、半透明、灰褐、脈は褐色、外半に不明瞭なる圓形の灰色紋數個を裝ふ。後



翅は細く、灰色、脈黄褐、内縁に黒褐の長縁毛

八 縞石蠶科 *Hydropsychidae*

雌雄の小腮鬚は五節、毛少く、第五節は延長し、これに環節様の輪環多し。單眼を缺く。觸角は細長、前翅長に等しきか又は甚だ長し。翅脈には變化多きも、前翅に第一脈又を有するを常とす。脛節距にも變化多きも、前肢のものは二を越ゆることなし。幼蟲は急流に住し、巢を固定す。本邦學名を有するもの十數種あり。

ヒラヤマシマトビケラ *Arctopsyche hirayamai* Mats. (三二)

前翅は暗色、黄白紋を散在す、前縁に八紋ありて、第四紋は大、第二脈又の柄節に達す、第五



紋は次で大なり、外縁及び後縁に小紋を列ぬ、

シロフシマトビケラ *Arctopsyche maculata* Uhner (三四)

頭は黒褐、これに黄褐の瘤起あり。觸角は稍々太く、黄褐。胸部は光澤ある黒色。前翅稍々透



明、暗褐を帯び、光澤あり、前縁は濃褐、灰黄の圓紋を散在す、この紋數は個體によりて異

を密生す。體長三分。開張八分。これは京都附近に普通なり。

分布 本州。

る。後翅は透明、暗色を帯び、外縁及び縁紋部は稍々黒褐。腹部黒色。脚は暗黄、基節暗色。體長三分。開張一寸。これは本州に稀ならず。
分布—北海道、本州。

アミメシマトビケラ

Arctomyia spinigera Thunb.

前翅は暗黄、灰黄の短毛にて網状の斑紋を形成すれども判然せず、外縁脈の末端に暗色紋を具へ、暗色の判然せざる多数帯を并走す、縁毛は



♀

灰白、縦脈の末端には暗色毛あり、初めの五脈は何れも分支す。後翅灰色、初めの一、二、三、五脈は分支す。觸角は灰黄、各節に判然せざる暗色環あり。脚は灰黄。體は暗褐。體長二

分五厘。開張八分。これは八月中旬何れの地方にも多し。
分布—北海道、本州。

キマダラシマトビケラ

Diphetron japonica Banks

前翅は黄色、翅端の環状紋、前縁及び後縁のく字形状は黒色、但し後縁にある紋は太くして環状紋と相連続す。後翅は灰白、中央帯及び外



♂

縁は暗灰色、末端に二灰白紋を有するが如き觀あり。觸角及び脚は黄色。體は黒色。腹背線は黄色。體長二分。開張六分。信州に稀ならず。
分布—本州。

カロアシマトビケラ

(三七)

端は暗褐、末端に至るに暗い淡色となり、暗褐の環は判然せず。前翅半透明、脈は黄色、金色の短毛を密生す、中央に暗褐の三紋ありて、稍々三角形に排列し、尙前縁の末端に近く同色の一紋あり。後翅の末端は少しく暗色を帯び、前縁は黄色。腹部の末半部は黒褐。尾端の下附器は黄色、前種の夫れに似たり。體長三分。開張七分。これは六月沖縄にて捕獲せられたり。
分布—沖縄。

イツボシシマトビケラ

Macronema quinquepunctatum Mats.

體は暗黄、觸角は黄褐。各觸角節の末



♂

す。後翅は半透明、少しく灰黄を帯び、前縁の外方四分の一は黄色。觸角は黄褐。各觸角節の末

Hydromantis rufipes Mats.
體は黒褐。觸角は灰黄、各節の末端は暗褐。翅は暗色、前翅に三白帯ありて、翅底にあるもの最も廣く、



♀

前縁にて細まる、中央のものは二紋となり、上方のものは圓形、下方のものは稍々三角形を呈す、翅端に近きものは前縁にありて稍々圓形、脈及び縁毛は暗褐。後翅は前翅よりも淡色。脚は栗色。體長一分三厘。開張三分二厘。これは阿波にてガロア氏の採集せるものなり。
分布—四國。

タイワンシマトビケラ

Macronema formosicolum Mats.

體翅淡黄褐。前翅の外方四分の一は暗色を帯び、前縁は黄色、その境界に暗褐の太き一帯を具へ、翅底四分の三の處に暗褐の五紋ありて、前縁に近き中央にあるもの最大、他の三紋は横脈上に位し、後縁の中央に近き一紋は卵形を呈

體翅灰黄。觸角は基部を除き褐色、環節は細く暗褐。中胸背は少しく暗色を帯ぶ。前翅は體よりも淡色、暗色の五紋ありて、徑室の中央にあるもの最大、肘室内にあるものは相近接し、徑室の中央にあるものは小、中室下にあるものは横脈上にあり、全面に灰黄の短毛を密生す。後翅は前翅と同色。前脛節の末端は少しく暗色を帯ぶ。尾端の下附器は前種の夫れに似たり。體長三分。開張一寸。これは臺灣にて捕獲せられたり。
分布—臺灣。

クロシマトビケラ

Macronema radiatum M.L.

體黒色。顔黄色。觸角長く、その大部褐色、基部に近き部分は黒褐、基節黄色、この後方に存する瘤状突起には黄褐毛を粗生す。小腿鬚は黄色。前胸黄色、黄毛を密生す。前翅灰黄、多数の黒紋を有す。後翅は透明、暗色を帯ぶ。脚淡黄、基節は黒色。體長五分内外。開張一寸二分内外。東京地方に稀ならず。
分布—本州、西比利亞。



♂

褐、各節に暗色紋あり。尾端の下附器は長く、彎曲して末端にて相接す。體長三分。開張九分。これは臺灣に産するも少なし。
分布—臺灣。

オキナハホシシマトビケラ

(三九)



♂

體は黄褐。各觸角節の末

九 河石蠶科 カトビケラ科

Stenopsychidae

雄の小腮鬚は五節、末節は長く延びて彎曲し、多数の輪環を有す。單眼普通三個あり。觸角は前翅より遙に長し。前翅には中室及び副中室を具へ、五脈又を有す。後翅は前翅に比して幅廣く、普通第四脈又を缺くも、他は前翅に相似なり。脛節距は不定。幼蟲は急流に住し、巢を固定す。本邦に學名を有するもの五種あり。

ヒゲカハトビケラ(ヒゲナガトビケラ)(四二)

Zenopsische griseipennis M.L.

雌 體灰褐。單眼黄色、其基部黑色。觸角黄色、各



節の末端褐色。頭頂及び前胸背に白毛を密生す。中胸背の兩側は黒褐。前翅灰色、半透明、微小の短毛を裝ひ、灰褐及び黑色の小紋並に綾様紋を散在す。脚黄色、中肢の脛節に黒褐紋を具へ、第一跗節の大部も亦黒褐。腹部は光澤ある灰色。體長五分内外。開張一寸六分内外。札幌地方に最も普通なる石蠶にして、暗んで燈火に飛來す。

分布 樺太、北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、ヒマラヤ、印度。

カラフトカハトビケラ(四三)

Zenopsische schalensis Mats.

これはヒゲカハトビケラに酷似すれども、其異



なる所は、前翅は廣く、前縁に十四、五個の黒褐紋を列ね、其半部にある紋列は約同大、第二

一〇 流石蠶科

Rhyacophiliidae

肘脈上の黒縦條は端直にして、S字形に彎曲せず、外縁に近き前縁紋は大、黒褐にして、判然と、後翅は一層淡色にして、廣し。體長六分五厘。開張一寸七分。これは八月中旬樺太にて捕獲せられたり。

分布 樺太。

ザウテルカハトビケラ(四四)

Parastenopsyche zauteri Umer

これはヒゲカハトビケラに酷似すれども、形小、雄にては前脛節に距を缺き、雌にては二距を有す、後翅は少しく暗色を帯び、胸背は雌にては

♂



淡褐、腹部は黑色にして、灰白粉を裝ひ、絹様の光澤を帯ぶ。體長五分。開張一寸三、四分。

第七 毛翅目

ヒメナガレトビケラ(四五)

兩性の小腮鬚は五節、毛少なく、末節は短く、環節状をなさず。單眼を有す。觸角は稍々細く、前翅を越ゆることなし。兩翅中室を有するか若くはこれを缺く、普通副中室なし。前翅に五脈又あり。前肢に脛節距を缺くか若くは二、三、中、後肢に四あり。幼蟲は急流に住し、巢を固定す。本邦學名を有するもの六種あり。



Agrietus annihicornis Mats.

體は暗褐。觸角は黄色、全部に暗色の輪環を装ふ。頭頂には金色毛あり。前翅は廣き劍狀、暗色、斑紋なし。脚は淡黄、脛節及び跗節の基部は暗色を帯ぶ。體長五厘。開張二分五厘。これは微小の種類にして、一見、小蛾に似たれば、見誤まることあり。燈火に飛來する普通種なり。

〔分布〕北海道、本州。

附言—これは拙著昆蟲分類學には *Hydrophilina annihicornis* Mats. として發表せるものなり。

ハイバラナガレトビケラ……………(四六)

Rhyacophila batharana Mats.

オホナガレトビケラに酷似すれども、其異なる

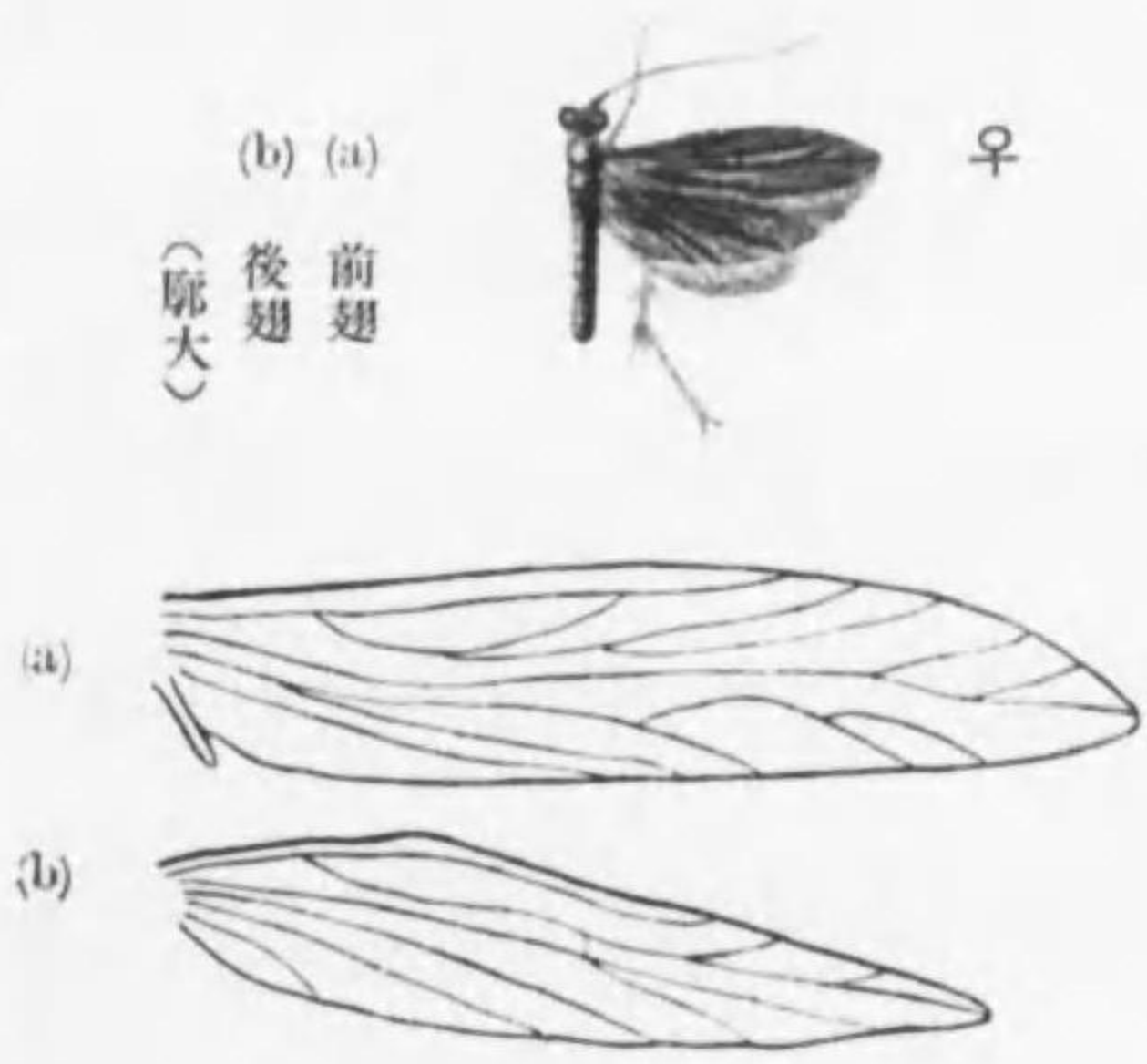


二 姫石蠶科 ヒメトビケラ

Hydrophilidae

前翅は細長、末端は普通劍狀にして、長き縁毛を装ふ。小腮鬚は甚だ細し。體は小にして、恰も小蛾に似たり。幼蟲の筒は自在に移動す。本邦に産するもの十數種あるも、學名を有するもの少なし。

ウスグロヒメトビケラ……………(四八)



オホナガレトビケラ……………(四七)

Rhyacophila japonica Mori.

頭部暗黄、同色毛を密生す。觸角は黄褐。胸腹は灰褐。前翅細長、翅端は翹にて特に尖る、灰



黄、短毛を密生し、半透明、約五條の灰褐帯を存するも、處々切斷して不明の部分あり、縁紋黄色。後翅稍々透明、少しく暗黄を帯び、縁紋黄色。脚暗黄、體長(雄)四分、(雌)五分。開張(雄)一寸二分、(雌)一寸七分。これは比較的少なし。

〔分布〕本州。

Hydrophilina ussuriensis Mats.

體翅灰黄、同色毛を装ふ。觸角は黄白、各節の中央は褐色、末端に至るに隨ひ暗色となる。前頭に縱隆を装ふ。胸背は淡褐を帯ぶ。前翅は暗色毛を密生し、光線の工合にて金色を現はし、脈には暗色毛多く、後縁の縁毛は長し。後翅は前翅よりも淡色、後縁の縁毛は小蛾類の如く長し。腹部は黄色、腹背は赤褐。脚は灰黄の短毛を密生し、脛節の距は長大。體長一分。開張三分。これは札幌地方にては普通なり。七月中旬燈火に飛來す。

〔分布〕北海道、本州。

第八 長翅目 MECOPTERA